平成３１（令和元）年度

教育委員会点検・評価報告書

令和２年１０月

登別市教育委員会

目　　次

Ⅰ 教育委員会の点検・評価について・・・・・・・・・・・・　２

Ⅱ 評価の手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

１ 点検・評価の対象
２ 実施の流れ

Ⅲ 評価結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

１ 教育委員会の活動状況の概要報告・・・・・・・・・・・・・・　３
２ 重点施策の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
３ 重点施策の評定結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６１

Ⅳ 点検・評価に関する学識経験者の意見等・・・・・・・・・　６３

Ⅴ 評価のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６４

Ⅵ 参考資料

１　平成 31（令和元）年度教育行政執行方針
２　教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

Ⅰ 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の改定により、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされ、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされました。

登別市教育委員会では、効率的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たしていくため、地教行法に基づき、平成31（令和元）年度の教育委員会の活動状況の報告と基本方針及び重点項目の主な施策（19項目）について点検・評価を行い、教育に関する学識経験を有する方々の意見を付して「教育委員会点検・評価報告書」としてまとめました。

本報告書を公表することにより、市民の皆様に教育に関する事務の管理及び評価の状況について説明するとともに、今後の施策・事業の展開に活用し、より一層効果的な教育行政の推進を図ってまいります。

Ⅱ 評価の手法

１ 点検・評価の対象

登別市教育委員会の点検・評価は、教育委員会の活動状況の他、平成31（令和元）年度の教育行政執行方針に位置づけられた施策・事業を点検・評価の対象として実施しました。

２ 実施の流れ

⑴ 教育委員会の活動状況の概要報告

教育委員会の１年間の様々な活動について

⑵ 平成31（令和元）年度の重点施策の管理及び執行状況の評価

・教育行政執行方針に位置づけられている重点施策を評価しました。

点検内容	当該年度の教育行政執行方針の重点内容
取組状況	当該年度内に実施した取組の概要
評価	取組の実施状況に対する評価
今後の方向性	今後の取組を進める上での課題や対応の方向

⑶ 教育行政執行方針における重点施策の評定結果

・４段階（Ａ～Ｄ）で、評価を実施しました。

Ａ：達成しているもの
Ｂ：おおむね達成しているもの
Ｃ：達成見込みであるが一部課題があるもの
Ｄ：達成に向け困難な課題があるもの

⑷ 点検・評価に関する学識経験者の意見等

・点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する行政外部の方からの意見、助言をいただきました。

氏名	所属等
石井憲一氏	元日本工学院北海道専門学校　参与
加藤清之氏	登別市退職校長会　会長
吉野幸広氏	前登別市郷土資料館　館長

Ⅲ 評価結果

1 教育委員会の活動状況の概要報告

(1) 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議については、毎月下旬に開催しました。必要に応じて開催する臨時会議は、平成31（令和元）年度は行いませんでした。

会議においては、登別市教育委員会教育長に対する事務委任規則に従って、教育長委任事務以外の事務における議案の提案理由や説明が行われた後、各委員からの質問・意見などの審議を経て、いずれも可決、了承されました。また、事務局からの情報提供や各種課題、事業の進捗状況、その他事項の報告について、意見交換を行いました。

(2) 平成31（令和元）年度　登別市教育委員会「定例会議」の概要

第１回 会議	4/25 16:30	議案第１号　登別市指定文化財の指定について 議案第２号　登別市スポーツ推進委員の委嘱について 情報提供１　平成31年度学校運営協議会実施状況について ２　幼小連携・接続推進リーダー活用事業について ３　平成31年4月10日時点登別市立学校児童生徒数・学級数調書について ４　平成31年度登別市立学校主要行事等予定一覧について ５　平成31年度学校施設等の工事事業計画について ６　平成31年度登別市小中学校「校長会」「教頭会」三役について ７　こいのぼりマラソンの申し込み状況について 意見交換から(委員の意見・感想) ・歴史のあるこいのぼりマラソンに登別らしいコースやイベント、内容をみんなで考えていけたらいい。結構、フルマラソンが多くなってきているように思う。もう少し走らせてほしいという声も聞いている。実行委員会の中で検討して頂ければありがたい。付加価値を付けて、継続していくことを望んでいる。
第２回 会議	5/30 16:30	議案第３号　登別市重大事案対策委員会委員の委嘱について 議案第４号　令和元年度教科用図書第10採択地区調査委員の委嘱について 議案第５号　登別市立図書館協議会委員の任命について 議案第６号　登別市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第７号　登別市社会教育委員の委嘱について 情報提供１　運動会出席者の日程調整について ２　平成30年度巡回パトロール活動及び街頭指導等状況について ３　平成30年度不審者等出没状況調書について
第３回 会議	6/27 16:30	報告第１号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について 報告第２号　令和元年第2回登別市議会定例会一般質問について 議案第８号　平成30年度教育行政事務の管理執行状況の点検・評価に係る学識経験者の活用及び選任について 情報提供１　携帯電話やスマートフォン等についてのアンケート結果について ２　公立高等学校配置計画案（令和2～4年度）について ３　第69回社会を明るくする運動メッセージ伝達式の参加について ４　令和元年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業について ５　児童生徒登校時における緊急早朝特別巡回パトロールについて

		意見交換から(委員の意見・感想) ・パトロールは2台だとこの広いエリアを網羅するのは難しい。今、本当に危険なことが次々と全国で起こっているので、できる限り3台でお願いしたい。 ・学校校舎の工事等は、生徒がいる時間帯には被害が及ばないようにしているようだが、放課後児童クラブのお子さんにも気をつかって欲しい。
第４回 会議	7/25 16:30	議案第９号　登別市立学校に係る部活動の方針について 議案第１０号　平成31年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 情報提供１　携帯・スマホに係る今後の取組について ２　令和元年度夏季休業期間中における学校図書室の開放について ３　市民プール無料開放日について ４　2019北海道コンサドーレ札幌サッカー教室について ５　国立アイヌ民族博物館ＰＲ展ついて ６　令和元年度図書館要覧について
第５回 会議	8/29 16:30	議案第１１号　令和2年度から使用する教科用図書の採択について 情報提供１　「携帯・スマホ3つのルール」乳幼児保護者への周知について ２　夏季休業期間中の学校図書室開放利用状況について ３　平成31年度全国学力・学習状況調査結果の概要について ４　市民スポーツ・健康フェスティバルについて ５　女子バレーボールチーム「トヨタ車体クインシーズ」登別市合宿受入について ６　東京2020オリパラで夢を育むスポーツ推進事業について 「瀬戸大也さんトークショー＆実技指導」について ７　平成30年度生涯学習事業「実績と点検評価」について 意見交換から(委員の意見・感想) ・学力調査の件で、自分で計画を立てて勉強しているのはいいが、やっぱり勉強時間が依然として少ない。家庭への周知など、かなり難しいと思う。 ・「携帯・スマホ3つのルール」、今回は幼稚園・保育所まで進めて啓発をしていただいているということ、親の使い方というところを重視していただいているというところがすごくいい。これで少しずつ、生まれた時からこういうことに親も子どもさんも意識をしながら生活をしていただければありがたい。
第６回 会議	9/26 16:30	報告第３号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について 報告第４号　令和元年度第３回登別市議会定例会一般質問について 情報提供１　登別市学校適正配置に係る今後のスケジュールについて ２　令和元年度登別市教育フォーラムの実施について 意見交換から(委員の意見・感想) ・子どもの環境家計簿は本当に安定していて、自分たちがこれからやるべきことを自覚していると思う。Co2の削減、ＳＤＧｓ（エスディージーズ）に結び付いていくところもたくさんあるので、私ども市民も含めて啓発に努めていきたい。
第７回 会議	10/31 16:30	報告第５号　登別市教育委員会教育長の選任報告について 報告第６号　登別市教育委員会教育委員の選任報告について 議案第１２号　平成30年度教育行政執行事務の管理執行状況の点検・評価報告について

		情報提供１　令和元年度登別市功労者表彰及び登別市表彰被表彰者の決定について ２　教育ふれあいウィークについて ３　登別版〈家族の週間〉の実施について ４　郷土資料館特別展「公文書にのこる地域の歴史」について 意見交換から(委員の意見・感想) ・例えばスマホ、食の問題等について、北海道消費者協会が全道の学校のサポートを無料でしているので、登別市も積極的に取り組んでいただければと思う。確か夏頃に案内が来ている。何か施策を各学校でとっていただければありがたい。
第８回 会議	11/28 16:30	報告第７号　登別市教育委員会教育長職務代理者の指定について 議案第１３号　登別市児童生徒就学援助規則の一部改正について 議案第１４号　登別市立学校学校医等表彰について 議案第１５号　令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 情報提供１　教育ふれあいウィーク実施状況について ２　登別市幼保小中連携協議会の取組状況について 意見交換から(委員の意見・感想) ・教育ふれあいウィーク、私が行った二つの小・中学校は、ＳＮＳ・携帯について業者の方が説明して、今の時期に相応しい内容だった。ただ、保護者の方が若干少ない感じがした。登別の場合は地域コミュニティを意識した形で、多方面の教育の場であっていい。子どもも伸び伸びやっていた。今後は取組を一層深めてほしい。 ・小中の連携に取り組んできて、今度は幼保小連携をやり始めているということで、とても良いことだと思う。引き続き盛り上げていっていただきたい。切れ目の無い形で地域との連携を軌道に乗せていただけたらと思う。
第９回 会議	12/26 16:30	報告第８号　令和元年第４回登別市議会定例会一般質問について 議案第１６号　登別市立図書館条例施行規則の一部改正について 情報提供１　令和２年度教育行政執行方針（案）概要について ２　令和元年度登別版「家族の週間」協賛団体施設利用状況について ３　令和元年度冬季休業期間中における学校図書室の開放について ４　教育長出席会議について：令和元年１２月１９日開催 ①　学校における働き方改革推進会議 ②　教育長協議会：道南ブロック教育長研修会について ５　幌別児童館の代替施設について ６　令和２年登別市成人祭について ７　令和元年度小・中学生の読書感想文・感想画コンクールの結果について 意見交換から(委員の意見・感想) ・小中一貫教育が進められて、生徒指導でかなり良い効果が出てくるのではないか。英語の指導などで、中学校の先生が小学校で指導することが盛んに進められ、さらに今度、生徒指導の部分で不登校等も少しでも改善されていけばいいと思う。 ・いじめとか不登校の情報をいただくこと、オープンにすることはできないのか。誰がどうということではなく、こういうケースがあった、こういうケースに取り組んでいるというのを、例えば毎月ではなくて半年に一回とか、この場でできないか。 ・フッ素洗口は登別小学校が先進的に進めて、教育長が替わってから、登別市全学校で行われるようになったというのは、私も実は驚きです。やるまでにはものすごい抵抗があったから。よくやれたと思う。

第10回 会議	1/23 16:30	議案第１７号　令和2年度登別市教育行政執行方針について 議案第１８号　登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 情報提供１　登別市キャリア教育懇談会の報告について ２　いじめアンケート調査 具体について ３　年末年始の休日の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について ４　教育施設長寿命化計画の策定について ５　国のＧＩＧＡスクール構想について ６　令和２年度登別明日中等教育学校の合格状況について ７　令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について ８　登別公民館の廃止方針（案）並びに登別市公民館条例の一部改正（案）に係る意見公募（パブリックコメント）の実施について ９　登別文化交流館条例の一部改正について 10　第４５回登別こいのぼりマラソンについて 11　令和元年度卒業式出席者の調整について 12　管内教育委員会委員研修会につて 意見交換から(委員の意見・感想) ・少子化が進めば、2060年頃には３分の１になる。そうすると、学校の建物も3分の1ぐらいになっていくのであれば、一生懸命長寿命化に取り組んでも無駄になるのではないかと、おそらく状況が大きく変わっていくのではないかと思う。 ・以前、ブロック塀が倒れたという事件があったが、あれは市というか、きちんとした専門家が大丈夫だと言ったにもかかわらず、事故が起きてしまったことは非常に残念という気がする。同じような事故が起きないように進めていってほしい。
第11回 会議	2/27 16:30	報告第９号　市議会定例会提出議案に関する意見に係る臨時代理について 議案第１９号　年末年始の休日の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について 情報提供１　令和2年度教育行政執行方針について ２　幼小連携接続推進事業 先進地視察報告会の概要について ３　冬季休業期間中の学校図書室開放利用状況について ４　土肥美帆トークライブ『北に生きる猫』について 意見交換から(委員の意見・感想) ・全国学力学習状況調査は全国学力学習テストではない。調査をすることでどのような間違い方をしていたか、個人の内容を十分分析しながら、今後の学習に活かしてほしい。実際に指導してきた先生とこれから指導していく先生が異なることから、きちんと引き継がれないと、今後に活かすことが難しい。子どもたちの解答のしかたというのは十分反省して、教え方が悪いのか、教科書が悪いのかを分析する。間違っても子どもたちが悪いとはならない。やはり指導の方法というか改善は絶えずされているので、過去の問題をきちんと点検するということも必要ではないか。
第12回 会議	3/26 16:30	報告第１０号　教育委員会事務局職員の人事異動に係る臨時代理について 報告第１１号　教職員人事の内申に係る臨時代理について 報告第１２号　令和2年第1回登別市議会定例会一般質問について 報告第１３号　市議会定例会追加提出議案に関する意見に係る臨時代理について 報告第１４号　市議会定例会追加提出議案に関する意見に係る臨時代理について 報告第１５号　教科用図書採択地区の変更について

		議案第２０号　「登別市立学校における働き方改革基本方針」の改定について 議案第２１号　のぼりべつ文化交流館条例施行規則の一部改正について 議案第２２号　登別市児童生徒スポーツ振興助成金交付要綱及び登別市児童、生徒文化振興助成金要綱の一部改正について 議案第２３号　登別市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 議案第２４号　登別市教育委員会事務局庶務規定の一部改正について 議案第２５号　登別市教育委員会職員の交通事故及び交通違反防止等に関する規定の一部改正について 議案第２６号　登別市立中学校部活動指導員設置規則の制定について 議案第２７号　登別市学校管理規則の一部改正について 情報提供１　令和元年度土曜授業事業実績及び令和２年度事業計画について ２　令和元年度学校運営協議会実施状況について ３　令和2年度進路状況について

(3) 調査活動の実施状況

教育委員会委員による小中学校の教育活動の視察や研修活動の概要

①公開研究会等の視察

11/14　鷲別中学校：武田教育長

2/21　鷲別中学校：武田教育長

②教育ふれあいウィーク

10/26　11/9　市内一斉学校公開日「ふれあいウィーク」土曜授業視察

11/5　「教育フォーラム」（隔年実施）

③各種会議・研修会の参加

北海道都市教育長会春季定期総会（留萌市）5/9　秋季定期総会（帯広市）11/6

全国都市教育長協議会（富山県富山市）5/23.24

胆振管内教育長会議　4/9　5/27　8/27

北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会（函館市）8/22

武田教育長・垣内委員・森口委員・赤井委員

胆振管内教育委員会委員研修会 洞爺湖万世閣　2/12　赤井委員

新型コロナウイルス感染症への対応に係るテレビ会議　3/26　3/28

④入学式出席

登別小学校(4/5)	堅田委員	鷲別小学校(4/8)	森口委員
富岸小学校(4/8)	赤井委員	青葉小学校(4/5)	垣内委員
幌別中学校(4/5)	垣内委員	鷲別中学校(4/5)	森口委員
登別中学校(4/5)	武田教育長	緑陽中学校(4/5)	赤井委員

⑤運動会参観

青葉小学校(6/1)　武田教育長・垣内委員　　富岸小学校(6/8)　武田教育長・赤井委員

登別小学校(6/15)　武田教育長・堅田委員　　幌別東小学校(6/15)　武田教育長

⑥学芸会（学習発表会）参観なし

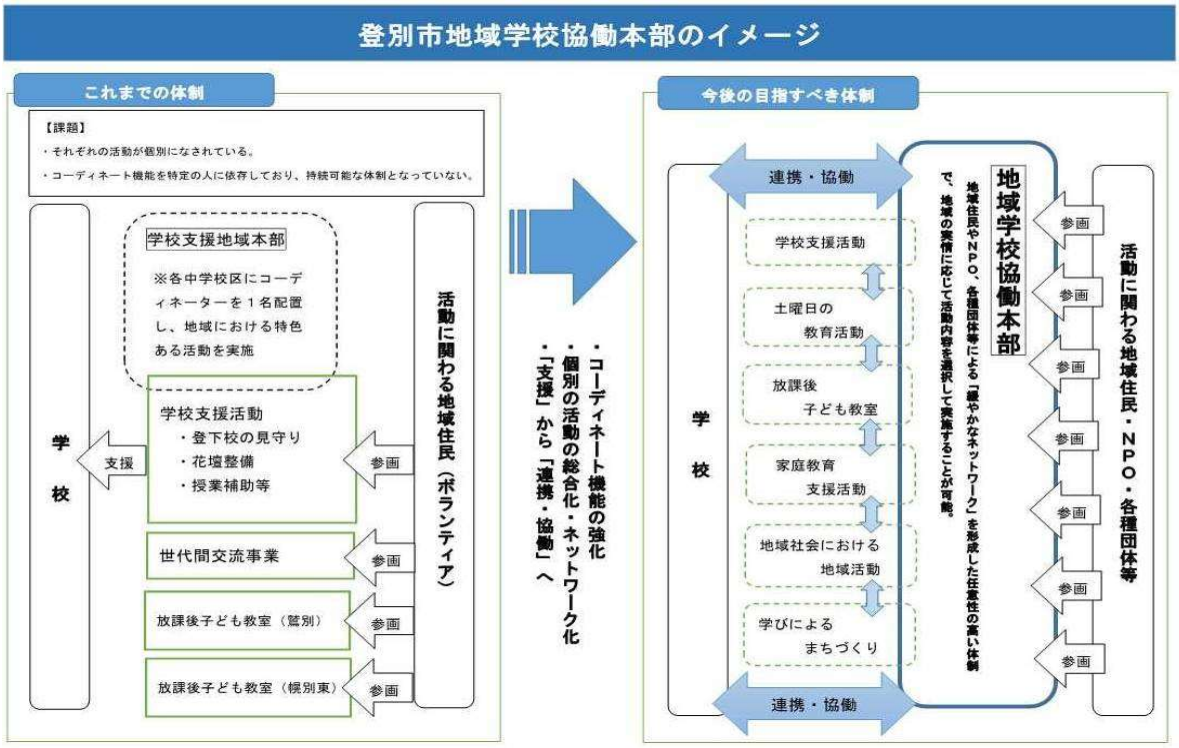
⑦卒業証書授与式出席

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加を見合わせた。

２ 重点施策の評価

項　目	１　地域とともにある学校づくり
点検内容	これまで本市においては、コミュニティ・スクールと学校支援地域本部事業を導入し、地域の教育力を活用した学校づくりを進めてきた。こうした学校支援の取組を通して、学校・家庭・地域の連携はさまざまな形で展開され、地域づくりにも大きな成果を上げている。 今後は、さらにコーディネート機能の拡充などを図り、地域と学校が連携、協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働活動に発展するよう努める。

取組状況



○学校コーディネーターの配置

幌別中・西陵中・登別中に配置済み。

【推進計画】地域の実情に応じて段階的に整備予定。

令和元年度末までに５名　令和２年度末までに３名　令和３年度末までに５名（計１３名）

○学校運営協議会の話し合いの内容

	月	日	主な議題（学校経営方針以外）	次年度の方向性
幌別小	6	27	学力向上　基本的な生活習慣の定着　豊かな心の育成	地域・家庭・学校が一体となり学力・体力向上をめざす
	11	28	いじめ防止の取組　働き方改革に伴う業務改善　学校評価	
	2	20	生活の様子（指導部長より）　学校評価集計結果　学校関係者評価	
登別小	7	25	いじめ調査結果　携帯スマホ調査結果　保健活動　すいみん表の取組	幼保小中連携を一層充実させ、地域の教育力の更なる活用を図る
	11	21	前期学校評価　全国学力調査結果概要　授業参観　給食試食	
	12	6	【幼小中合同】睡眠時間等から見える学習・生活習慣上の実態と課題	
	3	9	学校評価　学校関係者評価　**※コロナ臨休により中止**	

若草小	4	24	学力体力向上策　いじめ不登校等生徒指導状況　地域交流祭り	若草小地域交流まつりの改善・充実に努め、地域の活性化をめざす
	7	25	地域交流祭り進捗状況　三校合同学校運営協議会	
	8	22	地域交流祭り業務分担　交流会反省会　町内会との避難訓練反省	
	12	19	2学期の教育活動と学校の現状　次年度の活動　子ども100番の家	
	7	29	【小中(3校)合同】各校運営協議会の取組交流　今後の三校の連携	
	2	19	【小中(3校)合同】各校運営協議会の取組交流　地域との合同避難訓練	
	3	12	学校評価結果　コロナ臨休に係る学校の対応と近況	
鷲別小	6	27	学校運営方針･進捗状況　新校舎落成･130周年記念事業　花壇整備	社会に開かれた教育課程の実現を図る
	1	22	学校運営進捗状況　不登校･いじめ対応　学校評価　地域とのつながり	
	3	12	次年度の行事予定　**※コロナ臨休により中止**	
幌東小	6	4	教育活動･地域活動･学校関係者評価について　市民演芸会に向けて	地域と学校が一体となった駒踊りの取組を継続する
	3	11	学校評価結果と改善策 50周年の取組の報告　**※コロナ臨休により中止**	
幌西小	5	30	ＣＳ基本的考え確認　挨拶指導　地域との情報共有　メディア依存	働き方改革の推進に関する地域理解
	11	9	総合的な学力形成　70周年記念事業　小中合同避難訓練について	
	2	19	【小中合同】小中連携の取組　意見交流　合同避難訓練について	
富岸小	5	27	学力・体力向上策　いじめ防止策　安心・安全活動	次年度も合同運営協議会において、共通の話題で熟議する
	11	30	社会に開かれた教育課程と働き方改革推進具体案　特色ある教育活動	
	2	4	【小中合同】今年度の教育活動実施状況　次年度の中学校区合同の取組	
			今年度のCS事業　学校関係者評価　メール配信　挨拶　いじめ問題	
青葉小	7	9	いじめ防止基本方針　いじめ調査　携帯スマホ調査　全国学力調査	新学習指導要領実施（新しい学力を身に付けるため）
	12	5	学力調査、体力調査、スマホ調査結果に基づく取組　次年度の教育課程	
	2	4	【小中合同】今年度の教育活動実施状況　次年度の中学校区合同の取組	
			学校関係者評価　全国学力・学習状況調査　ふれあい坂の進捗状況	
幌別中	5	17	長欠･不登校･いじめ　土曜授業について　意見交流	合同学校運営協議会に向けて協議
	9	4	授業評価結果　保健室利用状況　学校評価アンケート結果	
	2	12	学校評価についての説明協議　全国体力･運動能力・生活習慣調査	
西陵中	9	18	学校運営の状況　働き方改革　全国学力調査　いじめ･不登校	学校行事の機会を生かして生徒の姿を見ていただく
	11	28	部活動の募集停止　教員定数減　男女混合名簿　いじめ･不登校	
	2	19	【小中合同】小中連携の取組　意見交流　合同避難訓練について	
鷲別中	6	6	保健環境/安全支援/学習支援コミュニティ活動内容　リーダー選出	今年度の活動を継続実施、ふるさと学習へ支援する
	10	30	3コミュニティ活動反省と次年度の展望　不登校･全国学力調査結果	
	2	5	学校評価分析結果　読み聞かせ･職業体験･下校パトロールについて	
登別中	6	6	学校行事実施状況と今後の予定　土曜授業の日程と内容	幼保との連携を深めていく中で、学校運営協議会が要の役割を担う
	10	28	グランドデザイン数値目標と目標達成率　10年後の社会で生きる力	
	12	6	【幼小中合同】睡眠時間等から見える学習・生活習慣上の実態と課題	
	2	13	学校経営反省　学校評価（アンケート）分析結果　次年度の行事予定	
緑陽中	9	11	スマホ･携帯　いじめ･不登校対策の取組　全国学力調査　学力向上	5月中旬に第1回の運営協議会を実施する
	2	4	【小中合同】今年度の教育活動実施状況　次年度の中学校区合同の取組	
			今年度の教育活動　不登校･いじめ指導　全国体力調査　学校評価	
	3	7	**※コロナ臨休により中止**	

○各校の土曜授業取組状況　※道の指定を受けて６年目　平成29年度より全13校が協力校として取り組む。

	月	日	1校時	2校時	3校時	授業	行事	振　替	備　考
幌別中	4	13	授業（担任）	学級懇談会	学校説明会	1	0	夏季休業	全学級公開
	5	25	授業	田植え・地域清掃・花壇整備		1	2	夏季休業	CS事業　花壇整備・ふれあい農園田植体験・地域清掃
	7	13	授業	授業	学級懇談会	2	0	夏季休業	授業参観日
	9	28	避難訓練準備	避難訓練	避難訓練	0	3	冬季休業	CS事業　合同避難訓練(幌東小と)
	11	9	授業	授業（全校道徳）	授業（全校道徳）	3	0	冬季休業	全校道徳※命を大切にする教室
	12	14	1年授業・3年授業 ・2年認知症サポーター養成講座	1年授業・3年授業 ・2年認知症サポーター養成講座	3年授業	2 3	2	冬季休業	3校時　1・2年学級懇談の予定が中止
幌別小	4	20	授業	授業	学校説明会	2	0	夏季休業	参観日・学校説明会・PTA総会
	7	20	授業	授業	長縄記録会	3	1	夏季休業	長縄記録会　4校時～通常授業
	8	24	授業	授業	携帯スマホ安全教室4～6年	4	0	夏季休業	4校時～通常授業
	11	9	授業	授業・道徳	授業・道徳	3	0	冬季休業	ふれあいウィーク　全校一斉道徳公開
	12	14	授業(5・6年オリパラ食育授業)	授業(5・6年オリパラ食育授業)	長縄記録会	3	1	冬季休業	長縄記録会　4校時～通常授業
	1	18	授業	冬休み作品発表	冬休み作品発表	3	0	冬季休業	冬休み作品発表会
幌東小	4	13	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	参観日、学校説明、PTA総会
	6	22	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	
	9	28		地域避難訓練	地域避難訓練	0	2	夏季休業	CS事業　地域合同避難訓練（幌中と合同）
	10	26	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	外部講師活用授業　（駒踊り練習・生活習慣の定着等）
	11	9	授業	「東っ子タイム」発表会		3	0	冬季休業	総合的な学習の時間・生活科の発表会
	12	7	市民演芸会参加	市民演芸会参加	市民演芸会参加	0	3	冬季休業	CS事業　駒踊り発表（市民演芸会）

	月	日	1校時	2校時	3校時	授業	行事	振　替	備　考
西陵中	7	13	授業	地域清掃	地域清掃	1	2	夏季休業	地域清掃
	9	28	避難訓練	避難訓練	避難訓練	1	2	夏季休業	学校地域合同避難訓練(西連町・幌西小と)
	11	9	英語（全校）	授業	道徳（学級）	3	0	冬季休業	デンマーク帰国報告会（全校）・職場体験発表（2年）
	12	14	1・2年授業 3年餅つき	1・2年授業 3年餅つき	1・2年授業 3年餅つき	1・2年3	3年3	冬季休業	保護者・地域住民と協働の合格祈願餅つき（3年）
幌西小	7	6	授業	全校体力テスト	全校体力テスト	4	0	夏季休業	4校時:全校体力テスト
	9	28	授業	津波避難訓練	津波避難訓練	1	2	冬季休業	連合町会・西陵中学校と合同実施
	11	9	授業	授業	授業	4	0	冬季休業	4校時：授業　ケータイスマホ安全教室（3～6年）
	12	7	授業	長縄記録会	短縄記録会	2	2	冬季休業	4校時：授業　長縄短縄記録会のみ公開

	月	日	1校時	2校時	3校時	授業	行事	振　替	備　考
鷲別中	7	20	チャレンジテスト	チャレンジテスト	1年防災訓練 2年道徳 3年進路説明会	3	0	夏季休業	チャレンジテスト、行事、道徳、総合　※鷲別小防災訓練ため
	9	14	学活	学校祭部門活動	学校祭部門活動	3	0	夏季休業	学校祭部門活動
	10	26	教科・総合	教科	道徳 教科	3	0	冬季休業	ふれあいデー（地域参観日）教科、道徳、総合
	12	14	道徳	教科	学活	3	0	冬季休業	道徳、教科、新入生保護者説明会
鷲別小	4	20	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	保護者参観　4校時にPTA総会及び学級懇談
	7	20	防災関連授業	防災関連授業	防災関連授業	3	0	夏季休業	一日防災学校（総合防災訓練）　保護者参観
	10	26	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	地域住民・保護者参観（ひなわしデー）外部講師活用
	12	7	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	保護者参観
若草小	4	13	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	保護者参観
	8	24	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	＊地域合同避難訓練は悪天候のため26日（月）に実施
	10	26	授業　道徳	授業　道徳	授業　道徳	3	0	冬季休業	ふれあいDAY　全学級道徳　携帯・スマホ教室、火育3h
	12	14	授業　国語	授業　算数	集団下校	2	1	冬季休業	標準学力調査（CRT）、集団下校

	月	日	1校時	2校時	3校時	授業	行事	振　替	備　考
登別中	4	13	授業	授業	懇談会	2	0	夏季休業	参観日・懇談会・PTA総会
	7	20	地獄祭ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	地域貢献について（道徳）	町内クリーン作戦	3	0	夏季休業	熊舞保存会による講話（温泉観光の歴史、郷土愛）・熊舞披露・校区内清掃
	10	26	授業　道徳	授業　道徳	授業	3	0	冬季休業	生き方、人との関わり方（職業講話、認知症）、総合
	12	14	授業　3年餅つき	授業　3年餅つき	授業　3年餅つき	3(1・2)	3(3年)	冬季休業	保護者・地域住民と協働の合格祈願餅つき（3年）
登別小	4	20	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	PTA総会　学校運営説明会　学級懇談会
	8	24	授業・2年収穫祭	授業・2年収穫祭 行事5.6年（OMB）	授業・2年収穫祭 行事5.6年（OMB）	3・(1)	0・(2)	夏季休業	OMB練習　OMB地獄祭り参加（時数外） 2年ふるさと農園収穫祭
	11	9	授業	授業	スマホ安全教室（低） 道徳（高）	3	1	冬季休業	ふれあいDAY（地域参観日）　全学級道徳科公開 4校時：スマホ安全教室（高）道徳（低）
	12	7	授業	授業	OMB定期演奏会	2	1	冬季休業	OMB定期演奏会

	月	日	1校時	2校時	3校時	授業	行事	振　替	備　考
緑陽中	4	20	授業	授業	PTA総会	2	1	夏季休業	PTA総会　学年懇談会
	8	31	避難訓練	避難訓練	避難訓練	2	1	冬季休業	小中一貫　避難訓練
	10	26	授業	授業	防止教室	3	0	冬季休業	スマホ、携帯にかかわる防止教室
	2	1	授業	授業	学級・学年懇談会	2	1	年度末休	学級・学年懇談会　修学旅行説明会
青葉小	4	13	授業	授業（全体懇談会）	授業（PTA総会）	3	0	夏季休業	
	5	11	授業	授業	授業	3	0	夏季休業	キウシト自然体験教室、ふれあい農園
	8	31	授業	避難訓練（地震津波）	授業	2	1	冬季休業	地域連携避難訓練（青葉地区連合町内会と）三校同時日
	10	26	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	ふれあいデー
富岸小	5	11	授業	防犯安全教室	集団下校	3	1	夏季休業	防犯教室　4時間対応
	8	31	津波対策避難訓練	津波対策避難訓練	学級活動	2	2	夏季休業	小中一貫・地域連携避難訓練　4時間対応
	10	26	授業	授業	授業	3	0	冬季休業	3時間対応　各学級とも3時間中1時間を道徳
	11	30	長縄跳記録会・授業	長縄跳記録会・授業	学級活動	3	1	冬季休業	縄跳び記録会（各学年1時間）　4時間対応

○ふれあいウィーク（10/26～11/9の2週間）

11/1「北海道教育の日」に合わせて、平成16年から「ふれあいデー」として市民に市内の小中学校を公開してきたが、その取組をさらに発展させ、平成23年からは「ふれあいウィーク」として、その時期に学校公開のほかに講演会や懇談会など各種事業の取組を進めている。学校や地域、保護者が、登別の教育のあり方について考えを深め合う期間として位置付ける。

・学校公開（保護者や地域の方、市民への公開）10/26か11/9のどちらかで実施
　来校者：保護者1,367名（1,301名）　地域の方119名（104名）　合計1,486名（1,405名）　※（　）は昨年度
　※公開の内容は「土曜授業取組状況」を参照。
・中学校吹奏楽部定期演奏会　　10/22 登別中　10/29 幌別中　11/5 緑陽中
・特別支援学級作品展　10/14～20　市民会館１F廊下

○教育フォーラム　11/5　18:00～19:40　市民会館中ホール　参加者数85名（H29年度：80名）

地域とともにある学校づくりに取り組んでいただいている、学校運営協議会委員の方々や学校関係者、ＰＴＡの方々、希望する市民の方に呼びかけて実施。

・ねらい：これからの社会を創り出していく子どもたちに必要な資質・能力を学校と社会が連携・協働して育むことの重要性を認識することを通して、「社会に開かれた教育課程」の充実を図る。
・基調提言「今の子どもたちに求められる資質・能力とは～社会に開かれた教育課程の実現に向けて～
　登別市教育委員会　教育部参与　中島　英治
・実践発表　幌別中学校区：幌別中学校　教頭　石崎　和昌　氏
　地域教育協議会コーディネーター　村上　　誠　氏
　鷲別中学校区：若草小学校　教頭　横山　慎二　氏
　若草小学校　学校運営協議会　会長　村山　一彦　氏
・グループ討議・テーマ「社会全体で子どもたちを育むためには」
・助言者：北海道教育庁胆振教育局義務教育指導監　渋川　賢一　氏
・成果：学校・地域・家庭の三者の絆を深める、一体感を深めるためには、分かりやすく取り組みやすいテーマ、地域としての目標を設定すると、子ども達の育てたい資質や能力が見えてくる。持続可能な取組にするには、子どもの安全・見守り、災害時の対応が大切である、などの意見が出された。

評　価	コミュニティ・スクールを導入し６年が経過した。各学校では、放課後や長期休業中の学習サポート、交通安全の見守り活動、地域合同避難訓練、地域の方を招いての授業、地域交流まつりなど、これまでの学校支援地域本部事業を継続、発展させ、地域の実情に応じた特色ある教育活動を進めている。また、小中合同あるいは幼保小中合同で学校運営協議会を開催する地区が増え、コミュニティ・スクールと小中一貫教育の親和性を生かした学校づくりがみられている。

今後の方向性	本市においては、地域と学校が連携・協働体制を構築し、地域全体で子供たちの育成を図る「地域学校協働本部事業」に取り組んできた。 今後は、よりきめ細やかに地域の実情を把握し、将来を見据えて持続可能な取組とするため、学校コーディネーターの配置を段階的に進め、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進により、登別らしい特色ある教育活動を展開していく。

項　目	**2　幼保・小・中連携　小中一貫教育**
点検内容	幼保・小・中連携については、引き続き相互参観や合同研修などを通してそれぞれの教育活動への理解を深めるとともに、子ども一人一人が安心して学校生活を始めることできるよう、幼保・小協働による小学校からのスタートカリキュラムの作成、修正を目指す。 また、小中一貫教育については、登別市小中一貫教育基本方針を踏まえ、系統的、継続的な指導が推進されるよう促していく。

取組状況

○平成31（令和元）年度の幼稚園・保育所と小・中学校の連携事業

事　　案	発 信 元	内　　容
流行性疾病による学級閉鎖	学教G	・学校名・学年・罹患率・欠席者数
気象警報等による緊急対応	学教G･学校	・暴風雨雪警報・注意報発令時：市、学校区の対応
不審者情報・凶悪事件	社教G･学校	・警察・胆振教育局からの情報：市、学校区の対応
行事案内	学校	・年間行事予定・学芸会･運動会･卒入学式案内
学校だより	学校	・月１回作成　１部配布
教育ふれあいウィーク案内	学教G	・事業一覧(掲示用)　10/26～11/6
教育委員会広報	学教G	・教育行政全般の活動報告

・日常の情報交流、指導者・子どもの交流について

幼保･小･中連携協議会	幼保小中	8/5　登別市幼保小中連携協議会 出席：幼稚園代表･保育所代表･校長会代表･教育委員会 内容：今年度の取組と今後の推進について（学務主幹より説明） 今年度の取り組み事例 （幼小連携・接続推進リーダー　登別小　柳瀬珠美　教諭より紹介）
	幼保小	11/11 実務担当者会議 出席：幼稚園教諭7名 保育士9名 各小学校教頭1名 教諭13名 子ども育成G2名 教育委員会7名 内容：「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と幼小接続の推進 ～スタートカリキュラムの協働作成～（学務主幹より説明） 就学前、就学後の実態や課題について情報交流・意見交換を実施。 2/10 先進地視察報告会 「幼児教育と小学校教育の接続の円滑化モデル事業」により、コロポックルの森・登別保育所　杉本めぐみ所長、幼小連携・接続推進リーダー・登別小　柳瀬珠美教諭が、高知市の幼児教育施設を視察（1/8～10）。 3/26「幼･保･小」実務担当者会議(合同引き継ぎ会) ※新型コロナウイルス感染症対策のため、書面引継ぎとした。 個々における就学前の実態やアレルギー等配慮が必要な事柄､就学後予想される課題について、情報や意見の交換を実施（予定）。

１日体験入学	小学校	1～2月　新1年生と現1年生の交流を生活科の授業体験などを通して実施
	登別中	11/13　小6年生対象で体験授業と授業見学、吹奏楽鑑賞
	幌別中	2/3　　小6年生対象で体験授業・生徒会による学校紹介
	西陵中	2/3　　小6年生対象で体験授業とオリエンテーション実施
	緑陽中	11/6　小6年生対象で授業参観と学校の概要説明
	鷲別中	10/29　新入生体験入学　授業参観と学校の概要説明
交流活動	西陵中校区	7/9～12　10/21～25　小中合同挨拶運動（朝、本校生徒会と幌西児童会）
		2/26（新型コロナのため中止）　出前授業（英語・数学：西小６年対象）
		8/23　小中交流会（両校教員による授業参観と研究協議）
		11/13 西陵中公開研（全教員参加）　1/29 幌別西小公開研（全教員参加）
		年4回定期テスト前、小中同時に家庭学習強化週間設定
		年間、授業参観や校内研修に合わせた相互の授業見学
	幌西小	9/17.24 登別明日生徒による英語学習サポート
		10/19 カトリック幼稚園園児　学習発表会観覧
	鷲別中校区	8/27 小中教員交流会（互助会レク前）
		11/30 幼児児童生徒交流(餅つき 消防署見学 ギター・マンドリン部演奏)
		1/10 鷲別中学校区教頭・教務主任会議
		2/21 鷲別中公開研究会（研修交流）年間 校内研修に合わせた授業交流
	鷲別小	10/12 鷲別保育所とリリー文化幼稚園児、学芸会観覧
	若草小	2/25・26 6年生出前授業（理科・英語）
		10/10 リリー文化幼稚園児、学芸会観覧
	幌別中校区	7/23 小中連携研修（会場：幌東小、授業参観、研究協議）
	幌別中	9/24 幌東小・幌別小での吹奏楽部の演奏　児童との交流
	幌別小	10/30 カトリック幼稚園年長児と一年生の交流（ハロウィン）
		11/13 カトリック幼稚園年長児と一年生の交流（秋のたからものランド）
		1/30 出前授業（音楽歌唱指導　幌中教諭来校）
	幌東小	運動会総練習時、幌東保育所の幼児と登別地獄囃子を舞踊
		10/10 学習発表会に東保育所幼児招待
		11/26 1年生生活科「秋の宝物ランド」東保育所幼児招待
	登別中	9/24 登別小での吹奏楽部の演奏　ＯＭＢの楽器指導
	登別小	10/17.18 登別中生徒の職業体験受け入れ
		11/19 コロポックル年長　１、２年生活科に参加
	緑陽中	2/13.14 青葉小・富岸小で6年生対象に「国語科」「社会科」「数学科」「理科」の出前授業実施
	富岸小	11/24 富岸小学校公開研究会（三校授業交流）
		11/27 緑陽中学校区三校交流会（分科会）
		2/14 出前授業(理科・数学)
		3月 6年生合唱指導（予定していたがコロナのためなし）
小中合同避難訓練	幌別中地区	9/28 幌東小･幌別中合同で津波対策避難訓練実施 小学生は中学生や地域の方に見守られながら避難所に向かう。東小児童はその後鉄南連合町内会の炊き出し訓練に参加。
	西陵中校区	9/28 幌別西地区連合町内会と小中の合同訓練、市防災担当職員の講話
	緑陽中校区	8/31 小中一貫・地域連携津波避難訓練
	鷲別中校区	6/21 鷲中・鷲小で避難訓練同日開催(雨天のため小中合同避難訓練中止)

		10/31 鷲別保育所避難訓練（鷲別小屋上へ避難）
	登別中地区	9/19 登別小・コロポックルの森と避難訓練同日開催
家庭科～保育体験	鷲別中	9/26～10/11 3年生 鷲別保育所で保育体験
	登別中	10/24 3年 コロポックルの森 美術で製作の絵本披露
	緑陽中	10/16～11/5 3年生 保育実習
総合的な学習の時間	登別中	10/18.19 職業体験 2年生 コロポックルの森・登別小他、校区内事業所
	幌別中	10/16 職業体験 2年生 幌別東小、白雪幼稚園（コロポックルの森）、幌別東保育所にて実施　直接幼児や児童と交流
	西陵中	10/29 職業体験 2年生　市内幼稚園・保育所で体験
	鷲別中	10/23 職業体験 2年生　登別温泉地区　職場訪問 1年生 校区内事業所
	緑陽中	10/11 職業体験 2年生　校区事業所中心
幼稚園・保育所視察	幌別小	5/9 白菊幼稚園教員による学校視察（一年生）受入
		7/12 一年担任2名カトリック幼稚園視察
	幌西小	教頭・教務主任・特別支援教育コーディネーターで、2/21白菊幼稚園を視察
		12/14 白菊幼稚園発表会を教頭のみ参観、カトリック幼稚園及び富士保育所の視察・懇談については、令和元年度は未実施
	幌東小	11/21 校長が東保育所発表会を参観
	登別小	コロポックルの森　入学式、発表会、参観日に視察
	鷲別小	保育所参観時に視察　　保育所発表会（鷲別・栄町）参観
	富岸小	4/22 白菊幼稚園学校訪問（浅井先生来校）
	登別中	その他　幼稚園や保育所職員が小学校参観日に参観
		保育や職業体験の時に合わせてコロポックルの森を視察
	鷲別中	保育体験の時に合わせて鷲別保育所を視察
	緑陽中	保育体験の時に合わせて富岸子育て広場を視察
	幌別中	職業体験に合わせて白雪幼稚園、幌別東保育所を視察
	西陵中	職業体験に合わせて市内幼稚園や保育所を視察

○小中一貫した教育の推進

・4月の校長会議～平成30年2月策定の登別市小中一貫教育基本方針を受け、単なる連携に留まらず、成果を実感できる取組を進めるよう確認。
・市内全中学校区で推進協議会の立ち上げ～めざす子ども像の検討、取組内容の検討、企画、実行。
・中学校区内で合同研修会開催～校区内の教職員で目的や課題の共有。具体的な取組内容の確認。
・西陵中校区では、学校評価の項目を一部統一。成果と課題の共有化を図る。
・11月の校長会教頭会合同研修会～各校の実践交流。

評　価	幼保・小・中連携協議会の発足から７年が経過した。従前の授業参観や実務者による協議・研修、今年度からの北海道教育委員会の幼小連携事業の活用により、各施設における教育活動についての相互理解や情報交流が一層進んでいる。これは、担当者同士が何度も顔を合わせ、言葉を交わすことで関係が強化されている証である。さらに、連携協議会のロードマップどおり、全小学校でスタート・カリキュラムを整備することができた。 小中一貫の取組については、各校区での好事例の共有により、全中学校区で取組を発展させることができた。市内全中学校区で推進協議会を設置し、めざす子ども像を共有することで、より効果的な取組を進めることができた。とくに、小中合同研修会の開催や学校評価の項目を統一したり評価を共有したりするなど、校区独自の取組が一層推進された

今後の方向性	幼保・小・中連携については、今年度より北海道教育委員会による「幼児教育と小学校教育の接続の円滑化モデル事業」の指定を受け、相互参観や合同研修、スタートカリキュラムの作成などの取組を進めてきたので、推進リーダーを中心にこれまでの取組を効果的に反映させ、引き続き事業の推進に努めていく。 小中一貫教育については、各中学校区において、義務教育九年間の系統性・連続性に配慮した創意ある教育活動が展開されているので、取組の成果と課題を検証するとともに、実践交流の充実が図られるよう支援していく。

項　目	**3　確かな学力の向上**
点検内容	学力の向上については、全国学力・学習状況調査の結果から算数・数学などに課題が見られるので、引き続き教育課程課題検討委員会を中心に、学習指導の工夫・改善を図っていく。また、プログラミング教育では、登別市情報教育推進協議会や日本工学院北海道専門学校と連携し、各学校における具体的な取組が進められるよう支援していく。

取組状況

○全国学力･学習状況調査（対象：市内小６年生・中３年生）の結果分析と課題の明確化

【調査の概要】

本調査は、義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力・学習状況を把握し、教育施策の成果と課題の検証により改善を図るとともに、学校での児童生徒への学習指導の充実や改善等に役立てること、加えて教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、全国の小学６年生と中学３年生を対象に平成１９年度から継続実施されてきた。

今年度は、国語と算数・数学、初の導入となった中学校の英語を併せた３教科に関する調査と、生活習慣や学習習慣等についての質問紙調査が行われ、登別市では、小学校376名、中学校321名が参加した。

また、従前より知識・活用をＡ・Ｂと分けて見る出題形式であったものが、新学習指導要領の実施を見据え、今回より一体的に問う形式の問題となった。いわゆるＢ問題の要素は、ほぼ全ての設問に取り入れられている。

【教科に関する調査】

・小学校では、国語で全国及び北海道の平均正答率をやや下回っているが同程度。算数は北海道と同値で全国をやや下回っている。
・中学校では、国語で全国及び北海道の平均正答率をやや下回っているが同程度。数学と英語は全国及び北海道を下回っている。
・無解答率は、小学校では２教科とも全国及び北海道と同程度か下回っている設問が多い。中学校では３教科とも全国及び北海道を下回っている設問もあるが、特に記述式の設問で大きく上回っている。
・正答率と無解答率がともに高い設問があり、学力の二極化も一部でうかがえる。
・教科ごとの傾向は、以下の通り。

［国語］

・小学校では、資料を使う目的を捉えること、接続語を使って１文を２文に書き分けること、自分の考えをまとめて書くことなどに課題がある。
・中学校では、文章の情報を整理し内容を捉えることはよくできている。一方、自分の考えをもち根拠を明確に書くことなどに課題がある。

［算数・数学］

・小学校では、面積の求め方を説明すること、資料から分かることを選びその理由を説明することなどに

課題がある。

・中学校では、反比例の表から関係を式で表すこと、資料から判断した理由を数学的な表現を用いて説明することなどに課題がある。

［英語］

・簡単な文で書かれた内容を正確に読み取ることはよくできている。一方、話の内容や書き手の意見を捉え自分の考えを書くことなどに課題がある。

【児童・生徒質問紙調査】

［自分について］

・「いじめは、どんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」など、公正さを大切に自分の力を役に立てたいと考えている小学生の割合が、全国平均を上回っている。また、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」など、自己のよさを理解し、向上心をもって生活する中学生の割合が、全国平均を上回っている。

［地域や人との関わりについて］

・「地域行事に参加している」「日本や住んでいる地域のことを外国の人に知ってほしい」と回答した小学生の割合が、全国平均を上回っている。また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」と回答した中学生の割合は、全国平均をやや下回っている。

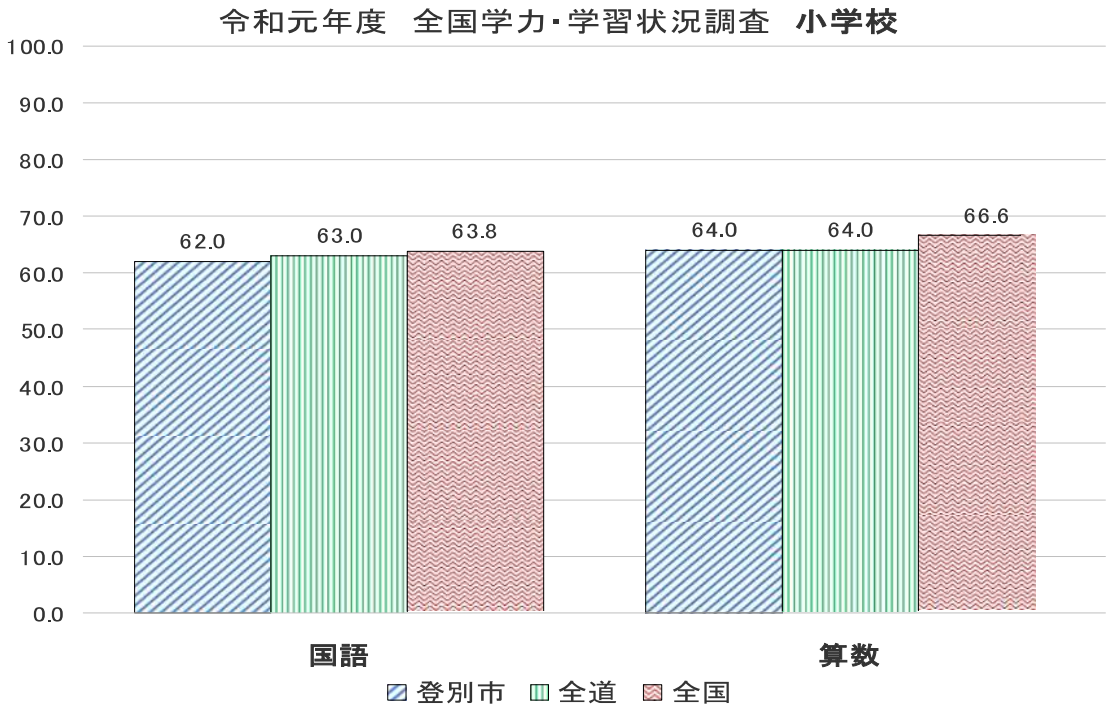
［家庭生活・家庭学習について］

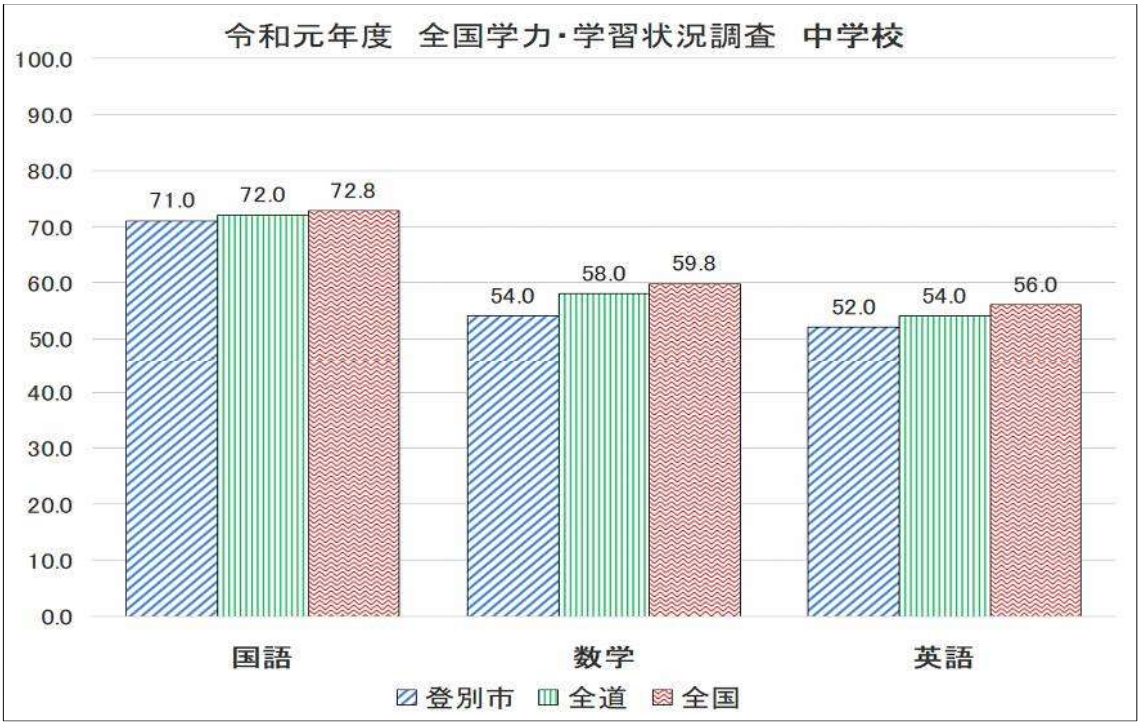
・「毎日、同じくらいの時刻に寝る・起きる」「家で自分で計画を立てて勉強する」など、基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けている小・中学生の割合が、全国平均を上回っている。

［学校での学習について］

・「これまでに受けた授業では、課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組んだ」「学級で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」など、主体的・対話的で協働的な学習活動に取り組む小・中学生の割合が、全国平均を上回っている。

○全道・全国との比較





○各学校の取組に対する支援

①教育課程課題検討委員会

参加者：校長会研修担当、全小中学校教頭、教務主任、学力向上・研修担当等の教諭

第１回～6 月 24 日

前半は、市教委指導室学習指導員より「登別市における児童生徒の学力向上について」と題して、児童生徒の放課後学習の状況、小学校共通のつまずきについて説明後、中学校区ごとに以下のテーマでグループ別の協議・発表・交流を行った。

1　本年度の学力・学習状況調査の結果(自校採点の分析結果など)

2　自校の児童生徒の算数・数学の学力面の課題や傾向

3　児童生徒の課題解決を図る学校全体の取組

第２回～12 月 20 日

前半は、市教委より「学力向上に係る調査結果活用の在り方」「プログラミング教育の実際」について説明し、後半は、学力向上の取組について中学校区ごとに交流・協議を行った。

②学習支援専門員の配置と学校支援

・配置　教育指導室に主任学習指導員・学習指導員の2名を配置。

・取組　４月　　全国学力・学習状況調査に向け「心構え」「鬼っ子チャレンジテストはじまり号・復習問題（算数・数学）」作成と各小中学校への配布

全国学力・学習状況調査に向けた放課後学習の実施（登別小・西陵中）

放課後学習教材「鬼っこチャレンジテスト」小学校用の改善と、ドリルの作成等

５～３月　放課後学習実施　　実施状況に応じ、ヒントカード、ドリルや繰り返し問題の作成

７月　　夏休み学習用「鬼っこチャレンジテスト夏休み号（小学校用・中学校用）」の作成配布

２学期　全国学力・学習状況調査結果の分析等　　チャレンジ問題への反映

12月　　冬休み学習用「鬼っこチャレンジテスト冬休み号」の作成配布

３月　　登別市児童生徒の課題を踏まえた次年度に向けた教材の改善等

全国学力・学習状況調査に向けた鬼っ子チャレンジはじまり号の作成

・放課後学習の推進状況　※人数はのべ人数　（　）は昨年度

学校名	登録児童生徒数	取組の状況	指導員数
幌別小	5年9名 6年11名	11回実施 5年93名 6年115名　計216(208)名	7(6)名
幌西小	4年12名 5年13名 6年6名	15回実施 4年126名 5年133名 6年71名　計328(330)名	12(10)名
富岸小	5年32名 6年19名	7回実施 5年138名 6年130名　計718(268)名	15(12)名
登別小	5年18名 6年13名	12回実施 5年201名 6年151名　計404(352)名	8(8)名
若草小	4年16名 5年10名 6年4名	12回実施 4年174名 5年94名 6年33名　計312(301)名	8(8)名
幌東小	全学年	9回実施　計450(未確認)名	35(24)名
鷲別小	5年16名 6年16名	9回実施 5年115名 6年102名　計258(217)名	11(11)名
青葉小	5年23名 6年29名	11回実施 5年249名 6年257名　計501(506)名	10(8)名
登別中	1年～3年	44回実施(1回15～20名程度)　計802名	3(3)名
西陵中	2年9名 3年11名	2年2回 3年33回実施 2年18名 3年193名　計177(211)名	2(2)名

※　実施回数は当初予定であり、暴風雨等の気象状況による臨時休校、インフルエンザ流行による学級閉鎖、新型コロナウイルス感染予防のための一斉臨時休校により、各学校１～２回が中止となった。

※　幌別東小学校及び登別中学校については、実施形態が他校と異なる。

成果と課題

・自ら希望して参加している児童生徒においては、短時間であってもじっくり考えたり他と競争することなく自分らしい学びを実現する機会となっており、個々の充実感や達成感を高めている。

・教室における学習の発展(延長)として、教室で作成したノートや教科書を傍らに置いて問題解決に臨む姿も見られる。

・中学生については、小学校の学習内容に遡って学び直す機会は、教室ではほとんど確保されないと思われる。個々のつまずきに対応した指導で成果を上げるためには、小学校の学習内容の定着に大きな課題のある生徒が他を気にしない個別の指導の場が必要である。

・コース分けをせず、希望する児童すべてを指導することになった学校では、登録児童数が大幅に増加したことで、指導員の人数が間に合わず、これまでの半数以下で指導せざるを得ない状況になり、個別指導が十分に行き届かない場面が見られた。

評　価	全国学力調査は、各教科で一体的に問う形となり、小学校は国語で全国の平均正答率をやや下回っているもの同程度、算数は全国をやや下回った。中学校は国語で全国をやや下回っているものの同程度、数学と今回初の英語は全国の平均を下回った。中学校数学と英語で課題がある。 学習状況調査において、1時間以上学習する割合では、中学校で全国を上回ったが、小学校で全国を下回っている。小・中学校ともに、家で計画的な学習をしている割合が高いので、学校での質の高い授業を基盤に、予習・復習を中心とした家庭学習の充実と保護者の協力を得ながら習慣化することを目指し、算数・数学の学力向上に向けた取組のさらなる充実を図る必要がある。
今後の方向性	全国学力・学習状況調査の結果から、引き続き算数・数学に課題がみられるので、登別市教育課程課題検討委員会における無回答率や誤答の実態把握、分析結果を活用し、個に応じた指導や授業改善など、各学校における教育実践の充実が図られるよう支援していく。

項　目	4　英語教育
点検内容	引き続き登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、ＡＬＴの活用を図りコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進に努める。 また、小学校4年生全員に英検ジュニアを実施するとともに、英検三級を受験する中学生生徒に対し検定料の半額を補助し、児童・生徒の英語学習に対する意欲を支える。

取組状況

・「登別市小中学校英語教育推進プログラム」の内容を基に、小学校では新学習指導要領の全面実施を見据えて取り組んだ北海道教育委員会の小学校外国語活動巡回指導教員研修事業の成果を踏まえ、教員個々が努力を重ねて継続して授業実践に取り組み、授業力を高めることができた。
中学校においても、円滑な学校間接続の観点から、中学校の外国語科教員の系統的指導に対する意識化が図られるとともに、従前より本市で取り組む小中一貫教育の機能を最大限活用し、専門性を発揮した授業が行われ、義務教育9年間を見通した英語教育が一体的に展開された。

・ＡＬＴの派遣（4名配置）～ネイティブな英語に触れる機会を創出するため、各学校に週1回以上派遣
小学校の外国語活動(全学年)、中学校の英語の授業で教員とのＴＴ形態による指導を行った。
小学校1・2年では、生活科等で年間10時間程度、国際理解教育を行った。
小学校への年間派遣回数～439回(昨年度372回)　中学校への年間派遣回数～272回(昨年度372回)

・地域の特性を生かした取組
登別小～地獄まつりで外国人観光客に自作の観光案内を配布、登別中～熊舞を英語で紹介し披露

評　価	小学校外国語科が本格実施となる2020年度に備え、小学校教員の英語力・指導力向上を図るため、引き続き各校の校内研修や小中一貫教育を生かした中学校区での教育課程や指導法の交流など、指導力向上につながる機会を設定することができた。今後も、学校の組織的な研修体制の構築、ＡＬＴとの積極的な指導経験の蓄積など、取組の充実を図る必要がある。
今後の方向性	小学校学習指導要領における外国語活動や外国語科に対応するため、これまでの移行期間中に標準時数の確保や教員の指導力の向上に取り組んできた。 今後も、児童・生徒の英語学習に対する関心・意欲が向上するよう、小学校四年生全員の英検ジュニア受験、中学校生徒に対する英検三級検定料の半額補助を実施するとともに、外国語指導助手の活用や環境整備に努め、コミュニケーションの素地・基礎となる資質・能力の育成を図っていく。

項　目	5　教職員の指導力の向上
点検内容	教育実践研究奨励校を指定し、各校の研究・研修活動を支援するとともに、幌別小学校と幌別西小学校が取り組む学校力向上に関する総合実践事業の成果が、市内各学校に還元されるよう促す。 また、登別市立学校における働き方改革基本方針に基づき、部活動指導に関わる負担の軽減や、勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実を促し、教職員が健康でやりがいを持って働くことができる環境整備に努める。

取組状況

○登別市教育実践研究奨励校

学校名	領域･教科	研　究　主　題	年度
幌別東小	道徳教育	豊かな心を育む道徳教育の充実 ～主体的に考え、議論する道徳科の授業改善～	30･1
富岸小	学習指導	学習指導要領の改訂に基づいた授業改善 ～「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組～	30･1
西陵中	学習指導	一人ひとりが主体的に学ぶ生徒の育成 ～生徒同士の関わり合いを大切にした小集団での協同(働)的な学習を取り入れた授業を通して～	30･1
鷲別中	道徳教育	自他を尊重し、より良く生きようとする生徒の育成 ～道徳の時間における主体的・協働的な学びを通して～	30･1
幌別小	学習指導	自ら問いかけ、考えを深める子の育成 ～数学的な見方・考え方を働かせ、主体的に考える算数科の授業の在り方～	1･2
幌別西小	学習指導	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり ～児童が学びを実感できる学習活動の工夫をとおして～	1･2
青葉小	学習指導	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり ～対話を通して考えを深め、伝え合う力をはぐくむ～	1･2
鷲別小	学習指導	意欲をもち、進んで学び続ける子の育成 ～一人一人が学びを実感できる授業づくり～	1･2

取組状況

○地域連携研修事業１

主体校：幌別小学校・幌別西小学校　連携校：胆振管内全小中学校

主体校が取り組んだ研修・研究課題

授業力向上と人材育成を両輪にして、校内研修及びメンター研修の充実を通して学校改善に取り組んだ。

校内研修では、今年度から 2 か年の研修の窓口となる教科を「算数科」に絞り、主体的、対話的で深い学びを実現する授業改善を目指し、低・中・高・特支のチーム研修を主体とした実践を積み重ねてきた。また、「学習の基礎基本の定着」「学習意欲の向上」に主眼を置き、少人数指導を軸とした個に応じた指導方法の工夫改善に取り組んできた。

若手教員を中心とした人材育成では、初任者指導教諭を中心とし、学級づくりを基盤に、教材研究や発問、板書等の指導技術を土台にした授業力向上を推進するとともに、若手教員自らが課題をもちミドル層教員に学ぶ、メンター研修のさらなる充実を図った。

視察研修

7/23　令和元年度胆振管内算数・数学授業改善研修会参加（板垣教諭・波多野教諭）

11/20　苫小牧市立拓勇小学校　学校公開参加（板垣教諭）

11/21～22　神奈川県横浜市立緑園西小学校視察（若林教諭・太田教諭）

連携校への還元

【学校公開】

1/29　登別市立幌別西小学校・幌別小学校合同学校公開　場所：幌別西小

参加者：管内外教諭138名　教育関係者8名

・道外視察報告（若林教諭・太田教諭）

・人材育成部会開催　テーマ「若手教員や将来のスクールリーダーの計画的な育成」

【学校公開以外】

11/7　小中連携校（幌別中・幌別東小）や近隣校（幌別西小）にチーム研究授業（初任段階教員）を公開

11/18　初任段階２年次研修において、本校の全学級の授業公開と若手教員育成の取組（メンター研修やミニ研修）を説明。

○学校力向上に関する総合実践事業実施報告書(概要)　実践指定校～幌別小学校

	具体的取組内容	実施内容及び成果	到達目標の結果
学校マネジメント	○SMARTに基づく目標を設定し達成度の基準を明確化・可視化した取組の推進 ①知・徳・体のバランスのとれた教育活動の改善・充実 ②学校力向上に関する総合実践事業の推進 ・人材育成 ・チーム学校づくり ③学校経営方針の明示 ・学校経営のグランドデザインを配布し、家庭や地域と目指す子ども像の共有を図る ・経営方針の周知(PTA 総会・学校運営協議会・学校だより等) ④学校経営の方針を学年学級経営案の重点とリンク ⑤短期スパンによる課題検証改善活動の充実 ・学校評価年２回実施（前後期） ・月１回をベースとする各分掌におけるＰＤＣＡサイクルによる業務改善の推進	○学校経営方針を意識した学年学級経営案を作成し、日常的に意識した取組を行うことができた。また、学期ごとに状況を確認して改善策を明らかにし、取組を進めた。 ○初任者指導教諭を中心とした日常的な初任段階教員に対する指導を充実させることができた。	○学校評価　AB 評価 ・授業が分かり意欲的に学んでいる 94.0% ・あいさつがよい 82.1% ・好ましい人間関係を育てる学級経営 91.7% ・学校は教育活動の様子をわかりやすく伝えている 96.2% ○内部評価　AB 評価 ・チーム力で効果的な人材育成を実践 84.6% ○内部評価　AB 評価 ・教師用日常業務チェックシート達成度 79.4%
	○業務改善推進チームによる校務の明確化や適正化、効率化の推進 ○PC（エクセルファイル）による出退勤管理を通しての勤務時間の客観的把握と見直し ○事務職員の主体的な校務運営への参画（ミッション加配事務職員の活用） ○ミドルリーダーを活用した組織の活性化	○エクセルファイルによる出退勤時刻の管理や業務改善推進チームによる改善策の実行を通して、業務改善の取組が前進した。 ○各種調査データ入力等に係るミッション加配事務職員の活用を通して業務改善が図られた。	○1か月の勤務時間が 60 時間を越える職員　平均4人 ○業務改善推進チーム設置 ・検討会議３回実施 ・職員アンケート実施
人材育	○OJTを基盤としたメンターチームの構成及びメンター研修の推進 ○各ステージに応じた「教員育成指標」における目標の具体化とメンター研修への反映	○メンターチームで学級経営や授業力向上に係る研修を実施し、若手教員の力量を高めることができた。	○各メンターチーム面談 年３回実施 ○メンター研修 年7回実施 ○メンター研修充実に向けたミドル・ベテラン層教員対象の協議年1回実施

成	○管理職による毎日の授業参観と指導 ○校長との授業研究・協議（校長が学級担任全員の授業を参観。学級担任は、学習指導案を作成。授業後にその授業について指導・助言） ○年代別(ミドル･ベテラン層教員によるメンター研修)、学年･ブロック別等によるテーマ別研修の実施 ○「教員育成指標」を踏まえたメンター研修の実施	○初任段階教員７学級において通年で実施した。授業を通し、事後、校長室にて個別で指導を受け授業改善、授業力向上につながっている。 ○年3回の算数科公開授業研究とそれにかかわるチーム研修、学年研修で教材研究を行い、個々の授業力が向上した。 ○全職員を対象に、特別支援教育を始め、多岐に渡るテーマ別研修を実施し、個々の指導スキルが向上した。	○保護者アンケート「授業が分かりやすい」の項目上位2段階の評価94.0%。 ○全ての授業者について１時間の授業参観を行い、放課後、校長と協議、指導を行った。 ○年間で、校内全体研修９回、学年ブロックによるチーム研修１５回以上実施。またテーマ別研修学期２回以上。学年研修はほぼ毎週 1 回行った。
教育課程・指導方法等	○主体的･対話的で深い学びを実現する授業づくりの推進及びチャレンジテストや全国学力･学習状況調査の問題への取組 ○「本時の目標」「学習課題」「学習活動」「まとめ」等が一貫された授業づくり ○教師一人一人の授業力を高める校内研修の充実(教師の授業力向上、授業改善に特化した校内研修)	○日常の朝学習の取組や授業改善が成果となって表れてきた。全国学力・学習状況調査では、国語科・算数科ともに全国平均以上となった。 ○2～5 年については学力向上に関わり改善の兆しが見えてきているので、引き続きチャレンジテストを授業で活用するなどして、客観的なデータに基づいたさらなる授業改善を図っていく。	○全国学力･学習状況調査（全国比） 国語　＋2．2 算数　＋1．4 ○標準学力検査(教研式CRT)得点率平均全国比 国語 +3P　算数 －1P ○チャレンジテスト 国語+0.2P 算数-0.1P ○児童学習状況アンケート 「授業が分かりやすい」 94.0% ○保護者アンケート・学校評価 指導充実に関する項目 保護者～96.6%
	○児童の実態に基づいたTT指導の推進 ○重点指導単元の設定、習熟度別学習指導の実施	○算数科の習熟度別指導やTT指導を計画より多く実施したことで、個に応じた指導が充実し、単元テスト得点率が向上した。 ○保護者の少人数指導に対する肯定的評価が95%以上となり、効果が認められた。	○算数科および理科の少人数指導時間 算数 TT：322H 習熟度別少人数：502H 理科 TT：607H ○保護者アンケート「TT の授業が子ども学力向上へ」上位 2 段階の評価は96.6%。
	○幌別中学校区内での9年間を見通した教育課程の確立と実行 ○幼・小･中学校間の授業参観･交流 ○合同研修会の実施 ○幌別西小との連携 ○幼保・小・中連携の取組の充実	○ミニ研修は初任段階層教員の資質向上につながった。 ○教務を中心に、次年度に向けたスタートカリキュラム作成することができた。 ○回数は目標に及ばなかったが、幌別中学校区内の小中学校相互の授業交流等が行えた。次年度も教員間の交流、研修が充実できるよう計画する。	○幌別中学校区内の連携強化 幌別中学校区内情報交流 年１回実施 授業交流年3回実施 ○幌別中教員による幌別東小との合同体験授業 年１回
地域・家庭との連携	○地域代表者、ＰＴＡ役員、教職員による学校運営協議会を組織 ○学校運営協議会（コミュニティ･スクール）による学校課題の共有化と支援体制の構築	○学校運営協議会の中で学校運営の在り方と地域連携について熟議し、農園活動・放課後学習・見守り活動等を円滑に進めることができた。 ○交通安全ボランティアの毎日の交通安全街頭指導等や声掛けにより児童の安全意識とともにあいさつへの意識も向上した。	○学校運営協議会年 3 回開催 6/27　11/28　2/20 ○保護者評価　AB 評価 「ＰＴＡ・地域行事に積極的に参加している」 60.5% 「学校は行きやすい雰囲気」 99.6%

○地域連携研修事業２

主体校：幌別西小学校・幌別小学校　　連携校：胆振管内の小中学校

主体校が取り組んだ研修・研究課題

学校マネジメントや人材育成の取組の継続と成果の創出を通して、包括的で持続的な学校改善を目指すために、

①　子供が実感を伴う学びの日常化に向けた校内研修推進による授業づくり

②　「北海道における教員育成指標」を踏まえた人材育成の取組

の２点を中心として実践を重ね、１月29日に午後日程で「登別市立幌別西小学校・幌別小学校　合同学校公開」を開催し、特設授業３本、公開授業12本を公開した。授業公開後に実施した「課題別分科会」では「授業改善部会」（低学年・高学年・特別支援教育の３分科会）「人材育成部会」（１分科会）の合計４分科会を開催し、北海道教育庁胆振教育局義務教育指導班より指導助言をいただいた。

視察研修

7/ 5　北海道教育大学附属小学校公開研究会参加（中野教諭）
11/22　苫小牧市立明徳小学校公開研究会参加（佐藤教諭）
12/ 6　石狩市立紅南小学校公開研究会参加（田原教諭）
1/30　室蘭市立みなと小学校学校公開参加（大西教諭・泉澤教諭）
1/31　伊達市立伊達小学校学校公開参加（佐藤教諭・田中教諭）

連携校への還元

1/29　登別市立幌別西小学校・幌別小学校　合同学校公開
（会場：幌別西小学校　参加者138名 教育関係者８名）
初任段階教員研修（２年次）Ⅲ期も併せて開催　（初任段階教員　17名参加）
7/10　全体研修を実施し、近隣校を対象に授業を公開（道徳科　３年生）
9/ 4　全体研修を実施し、近隣校を対象に授業を公開（算数科　２年生）
9/18　全体研修を実施し、近隣校を対象に授業を公開（外国語活動　４年生）
11/ 6　全体研修を実施し、近隣校を対象に授業を公開（国語科　１年生）
11/20　全体研修を実施し、近隣校を対象に授業を公開（算数科　５年生）
初任段階教員研修（２年次）も併せて開催　（初任段階教員　８名参加）
11/28　全体研修を実施し、近隣校を対象に授業を公開（算数科　特別支援）

○学校力向上に関する総合実践事業実施報告書(概要)　実践指定校～幌別西小学校

	具体的取組内容	実施内容及び成果	到達目標の結果
学校マネジメント	○ＳＭＡＲＴに基づき目標を設定し、子どもに身に付けさせたい力を明確化した取組の推進 ・学校経営方針の明示 ・学校経営のグランドデザイン配布により教職員、家庭、地域との目指す子ども像の共有 ・知・徳・体の３観点に基づき、重点化を図る項目の焦点化 ・ＳＭＡＲＴに基づいた成果指標（数値目標）の設定と検証方法の明確化 ・学校評価の年間２回（７月、12 月）実施による改善サイクルの迅速化 ・短期、中・長期間での課題改善を図るとともに、保護者、地域との課題の共有 ・学校関係者評価と連動させた学校改善サイクルの実施 ・全国学力・学習状況調査の結果分析に基づき、学力向上プランを改善し、子どもの学力の定着の実現に向けた指導の徹底 ・チャレンジテストによる定着の確認、補充的な指導（宿題、家庭学習）	○成果指標を設定することで、成果や課題を明確にして検証できた。 ○年間４回の家庭学習強調週間を設定し、家庭学習の達成率が 75%を超えた。 ○年間２回の学校評価（教員、保護者、児童）を行い、課題点を洗い出して分掌で検討するなど組織的な改善に努めた。 ○挨拶に係る学校評価は、昨年度より 3.6%上昇した。 ○新体力テストについて、目標を全職員で共有し、全校で実施した。 ○学力向上プランに基づき、チャレンジテストを実施して結果を分析し、指導の改善に努めた。 ○教職員、保護者、児童の評価結果の共通点を分析し、教育活動の改善に努めた。	・標準学力調査において、国語科では３年生が、算数科では３年生と６年生が標準スコア 50P 以上を達成 ・同一集団での経年変化を見ると、４つの学年が前年度を上回る ・家庭学習「学年×10 分」の達成率 56.9% ・「挨拶がよい」 学校評価ＡＢ合算 保護者評価　87.5% ・新体力テストにおいて、８種目のうち３種目が全ての学年で全国平均以上 ・全学年合計 48 種目中、男子は 33 種目、女子は 39 種目が、全国平均以上 ・全国学力・学習状況調査において、国語64%（全国平均以上）算数 66%（全国平均相当）

	○「北海道アクションプラン」に基づいた勤務時間を意識した働き方の推進 ・ＩＣＴを活用した授業準備の支援 ・教職員がアイディアを出し合い主体的に取り組む教育活動の見直し等の業務改善	○働き方改革に関する教職員アンケートを実施し、業務改善を進めた。 ○学校公開を幌別小と合同開催としたことで効率化を図り、業務負担を軽減した。	・「月の超過勤務 60 時間以上０人」という目標を２か月間達成 ・「勤務時間の縮減に努めている職員」65％を達成
人材育成	○重点の明確化及び学校力向上総合実践事業に基づく計画的な研修の実施	○実務担当者や管理職、一般教職員が授業研、模擬授業等に複数回参加し研修を深めた。	・校内研修を年間 18 回実施 ・授業公開年間６回
	○研修の効果を高めるための実務者会議の開催	○校内研修でワークショップ型研修を定期的に実施した。	
	○初任段階教員研修に関わる重点の共有と具体的な実践 １年次　教科指導力、学級経営力 ２年次　学級経営力、生徒指導力 ３年次　地域との連携・対応力、チーム貢献力 ４年次　自己設定	○胆振教育局が主管する初任段階教員研修（２年次）を二度受け入れ、管内の初任段階教員の育成に寄与することができた。 ○西陵中学校の公開研究会に全教員で参加し、研修を深めた。	・初任段階教員研修（２年次）受け入れ２回 （11 月 20 日、１月 29 日）
	○日常的な授業参観とＯＪＴの推進 ○教員育成指標を踏まえた「教員研修計画」の作成 ○自校及び実践校の教員を講師としたテーマ別ミニ研修（現職研修）の実施	○実践校２校によるミニ研修を、実務者同士が情報交換等を密に実施した。内容も、保護者対応や通知表、学習指導、集団づくりなど両校の中堅教諭を中心として、多岐にわたる内容を設定した。実施にあたっては近隣校の初任段階１年次教員の参加も受け入れた。	・幌別小学校との合同ミニ研修を 10 回（うち、自校で５回）実施し、のべ 60 名程度が参加
	○市内実践指定校と連携した学校公開の実施	○幌別小学校との合同学校公開を実施し、幌別西小学校は授業改善分科会を、幌別小学校は人材育成分科会を開催した。両校の成果の共有と資質向上に努めた。	・幌別小学校と合同学校公開を開催（１月 29 日）し、138 名が参集。特設授業３本、公開授業 12 本を公開
教育課程・指導方法等	■各教科の特質に応じた、見方･考え方を働かせた授業改善 ○全学年による標準学力調査の実施と、その効果的な活用 ○３、４年、５、６年での習熟度別少人数指導（算数科）の実施 ○退職人材活用事業講師による算数科のＴＴ指導の実施 ○日常授業の改善～「見通す」「振り返る」学習活動の重視 ○適切な反復による学習指導を実現するための小中連携による家庭学習強調週間の設定	○標準学力調査の結果を同一集団の経年変化で比較しながら授業改善を検証してきた。	・国語科は、４つの学年で昨年度より向上 ・算数科は、すべての学年で昨年度より向上
	■新学習指導要領の趣旨等を踏まえた学校間の円滑な接続を意識した取組 ○登別市小中一貫教育（連携型）研究実践校として、子どもの学校生活への意欲向上に向けた取組の充実 ○小・中学校間の授業参観・交流	○小中一貫教育推進協議会で、小中連携の取組の充実について協議し実践につなげた。 ○中学校区の学校の校内研修に職員を派遣して授業参観を行った。 ○本校教員が西陵中学校の授業を参観し、校内研修に参加した。	・西陵中学校区小中一貫教育推進協議会２回開催 ・小学校から中学校への授業参観３回、中学校から小学校への授業参観１回 ・中学校公開研究会への参加 25 名

	・共通の視点をもった授業参観の実施 ・授業公開への参加、児童生徒の交流 ・子どもの意欲向上を目指した出前授業や乗入れ授業（参観）の実施 ・特別支援学級の相互参観、情報交流及び個別の教育支援計画、指導計画の活用	○小中全体交流会を８月に実施。「望ましい小中連携の在り方」について意見交流を通して考えを共有することができた。	・全体交流会３回（うち、２回は互いの公開研究会や学校公開への参加） ・中学校からの出前授業 ２教科
	○小中９年間の学び方についての系統性の相互理解 ア　小中９年間を見通した学習規律の確立及び学習のきまり系統表の活用 イ　校種間の学習指導に関する相互理解 ・授業を介した全体交流会の実施 ・テーマ別協議 ウ　学力調査の課題共有 ・課題検討委員会による共通題領域抽出と改善	○「小中で習慣化させたい 10 項目」「小中共通の学習規律」を日常の授業や学校だより等で周知するとともに、指導の徹底を図った。	・小中共通の家庭学習強調週間の設定４回
	○家庭と連動した望ましい生活習慣形成 ア　学校と家庭で共に子どもたちに習慣化させたい項目の浸透 イ　９年間の連続性を踏まえた家庭学習の習慣化		
	○豊かな心を育む協働実践の試み ア　心の教育の推進 ・道徳科の授業公開、児童生徒に関する交流 イ　小中協働の子ども主体の取組の推進 ・挨拶運動の実施、交通安全標語作り ウ　小中合同難訓練の実施	○小中合同避難訓練は昨年の反省を生かし、内容を充実させることができた。	・合同避難訓練、合同挨拶運動２回（10日間）
	○学校経営 ア　管理職による学校評価項目の見直し		
地域・家庭との連携	○コミュニティ・スクール事業の全体計画を更新するとともに、学校運営協議会による熟議を通して、学校と学校支援地域本部コーディネーターや教育委員会等との連携による具体的な活動の展開	○学校運営協議会を３回実施し、コミュニティ・スクール事業を推進した。また、そのうち１回は中学校と合同で行った。	・学校運営協議会３回実施
		○地域の青少年育成協議会、ＰＴＡと連携して登下校の見守りを月１回実施し、児童の安全を見守った。	・朝と帰りの見守り活動 朝 13 回、帰り 13 回実施
	○学校運営協議会を年間３回開催	○放課後サポート学習には 10 名のボランティアが集まり、４～６年の 31 名の参加児童に算数科の勉強を教えた。	・放課後学習サポート 13 回実施。出席率トータルで 81.6％
	○登下校時の子どもの見守り活動の実施		
	○地域住民による学習ボランティアを組織し、放課後学習サポートの実施	○地域人材を活用した世代間交流、福祉体験授業、アイヌの人たちや文化に関する授業、スキー学習等を実施した。	・外部講師招聘　全学年１回以上実施
	○地域の専門家を講師とした体験的な活動の実施 ・土曜授業を活用した家庭、地域と一体となった取組	○土曜授業では全クラス道徳科の授業公開やアウトメディア教室、長縄記録会等に多数の保護者が来校した。	・メディア使用３時間以上の児童の割合が 20％を超える学年は２つの学年
		○指導部便り、学校便り等で正しい生活リズムやメディアの使いすぎによる問題点の啓発を複数回行った。	・学校便りでのスマホの使用など生活習慣改善に言及した記事は 14 号中６号
			・ケータイスマホ教室 ５・６年で１回、３・４年で１回（保護者も参加延べ15名程度）

○働き方改革の推進

・「登別市立学校における働き方改革基本方針(平成 30 年 10 月策定・令和 2 年 3 月改定)」に基づき、教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備に努める。

【基本方針の目標】

教育職員の在校等時間から所定の勤務時間等を減じた時間(いわゆる「時間外勤務」)を 1 か月で 45 時間以内、1 年間で 360 時間以内とする。

【目指す指標】

1 部活動休養日(平日週 1 日・休日週 1 日・学校閉庁日の年間合計＝113 日)を完全に実施している。
2 変形労働時間制を活用している。
3 定時退勤日を月 2 回以上実施している。
4 学校閉庁日を年 9 日以上実施している。　※以上 4 指標は、令和元年度中に達成している。

【主な具体的取組】令和元年度中に検討または実施したもの(以前から実施済みの取組は除く)

1 教職員の事務負担を軽減する校務支援システムを導入する(検討)。
2 給食費については、給食費管理システムを導入する(令和 3 年度から導入に向けて検討)。
3 部活動指導員を配置する(令和 2 年度から配置に向けて準備)。
4 在校時間を客観的に計測するシステムを導入する(平成 31 年 4 月から記録を開始)。
5 留守番電話の設定(平成 31 年 4 月から対応を開始)

評　価	学校力向上に関する総合実践事業を継続して取り組む幌別小では、人材育成をテーマに「メンター型人材育成システム」の研究を継続し、日常の授業改善・教師の授業力向上との両輪で学校改善を目指した。もう一つの実践指定校である幌別西小では、子どもが学びを実感できる学習活動を工夫した授業づくり、「北海道における教員育成指標」を踏まえた人材育成の取組を中心として実践を重ねた。それらの成果を両校合同の学校公開で、市内各学校に還元した。 登別市教育実践研究奨励校については、８校が指定を受け、各校の研究の経緯や実態に即した研究主題のもと、６校が学習指導、２校が道徳教育をテーマに取り組んだ。その成果を４校が広く公開し、研究の質を高め合うことができた。
今後の方向性	教職員の指導力の向上については、登別市教育実践研究奨励校を指定し、各校の研究・研修活動を支援するとともに、北海道教育委員会が指定する「学校力向上に関する総合実践事業」を活用し、小学校高学年の教科担任制の在り方を研究していく。 また、学校における働き方改革については、勤務時間の管理や業務の効率化、部活動の適切な活動時間と休養日の設定、部活動指導員の配置を進めるなど、教員が健康でいきいきとやりがいをもって勤務することができる環境の整備に努めていく。

項　目	**6　学校図書館**
点検内容	学校図書館司書や学校図書館担当者が中心となり、本を身近に感じる環境づくりと多様な本に触れる機会の充実に努め、読書習慣の定着と読書意欲の向上が図られるよう促す。

取組状況

○各学校の朝読書と図書ボランティアなどの活動状況

学校名	朝読書	図書ボランティア	その他
幌別小	毎朝10分	読み聞かせ・貸出返却・ＡＬＴ読み聞かせ	図書委員の読み聞かせ

幌西小	毎朝10分	読み聞かせ・飾付・貸出・本の整理	図書だよりの発行
鷲別小	月～水20分	読み聞かせ 環境整備 新刊紹介 図書便り発行	小学生新聞を授業活用
登別小	火金15分	読み聞かせ（年間７回実施）	図書室の環境整備
富岸小	火曜10分	月２回程度、朝の読み聞かせ	図書室環境整備
幌東小	毎朝10分	読み聞かせ・お話会・飾り付け	読書の木・目標設定
若草小	月金10分	読み聞かせ・環境整備・新刊紹介	図書委員読み聞かせ 読書の木
青葉小	月木10分	飾付・環境整備、朝の読み聞かせ	図書委員および異学年の読み聞かせ
幌別中	毎朝10分	週２回程度、読み聞かせ・貸出返却・環境整備・新刊紹介・ﾃｰﾏｺｰﾅｰ・学級文庫入れ替え	委員会補助・図書通信
鷲別中	毎朝10分	読み聞かせ・図書紹介(週火木2回) ３年生への読み聞かせ（臨時休業のため中止）	前後期に分けて本購入 ビブリオトークの実施
登別中	毎朝10分	活動なし	委員会による運営 ビブリオバトル実施（２回）
西陵中	毎朝10分	活動なし	学級文庫入れ替え ビブリオバトルの実施
緑陽中	毎朝10分	週２回環境整備・読書啓発	図書委員会による新刊の紹介

○学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議

1 ねらい　児童生徒の読書への関心を高めるために、友人等の同世代の者とのつながりを生かし、子ども同士で本を紹介したり、話し合いや批評をし合ったりする活動であるビブリオバトルの取組について、学校等に普及・啓発を図るため、研修会を行う。

2 日　時　令和元年６月28日（金）　15時30分～17時

3 参　加　小・中学校教諭８名　司書教諭３名　学校司書４名　学校図書ボランティア・図書館等８名

4 内　容　①説明「北海道における子ども読書活動の推進について」
②演習「ビブリオバトルの実際」
③伝達事項・その他情報提供

○登別市学校司書連絡会議～年４回実施

1 ねらい　市内小学校に配置されている学校司書の連携を図り、互いの知識を共有することにより、さらに有効な学校図書館整備の充実を図る。

2 内　容　活動内容の交流・図書館だよりなどの意見交換・本の整理に関する情報交換・英語の本の読み聞かせに関する情報交換　その他

○長期休業中の学校図書館の開放～小学校のみ　（　　）は30年度

読書活動推進の一環で実施。休業中の日時を設定し児童に対し学校司書による貸し出し業務を行う。また、各校の図書室開放日にＡＬＴ及びＡＬＴ支援コーディネーターを派遣し、英語本の読み聞かせ及び英語を使ったアクティビティ等を実施する。

利用状況～夏休み162名(185名)　貸出冊数207冊(229冊)　ALTイベント参加人数180名(170名)
冬休み114名(138名)　貸出冊数136冊(161冊)　ALTイベント参加人数129名(186名)

○小学校への団体貸出

「わくわく文庫」を除籍処理し、市内小学校全8校に１学年２コンテナ委譲。３学級以上は追加。
実績：85学級に貸し出し。（実施率100％）　提供冊数3,465冊

○小・中学生の読書感想文・感想画コンクール

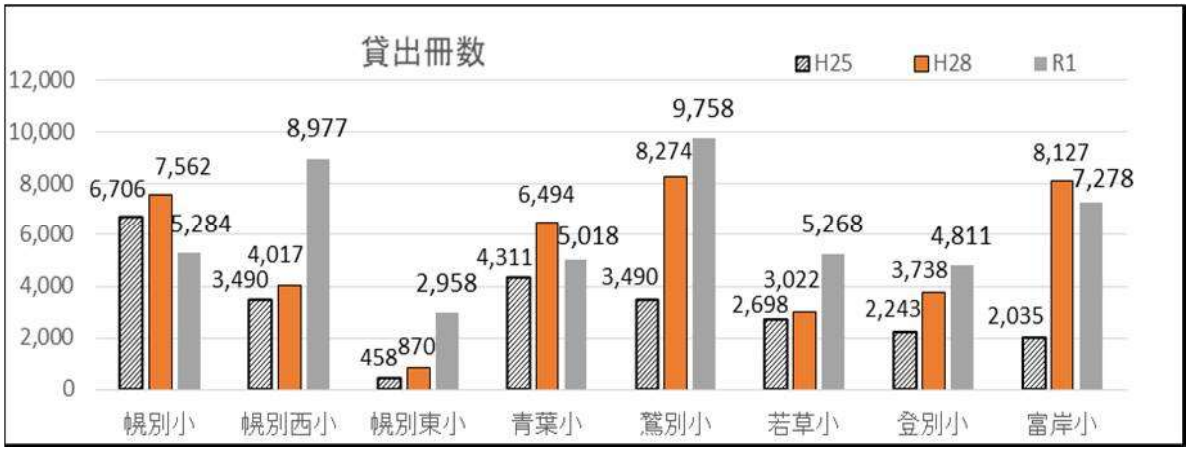
応募件数：感想文679作品（入選49作品）・感想画322作品（入選26作品）

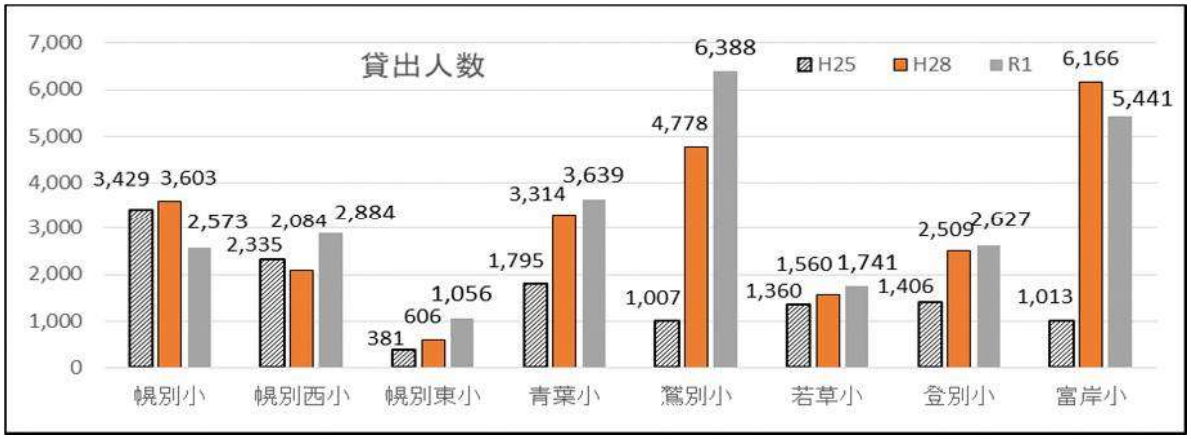
○学校図書館担当職員（学校司書）の小学校への配置

図書館司書等の有資格者を段階的に2校に1人の割合で配置した。

・H25～H26年度　２人を４校に配置（幌別西小、青葉小、鷲別小、若草小）

・H27年度以降　４人を８校に配置（上記に加え、登別小、幌別東小、幌別小、富岸小）





評　価	学校司書の配置は、４小学校で７年目、他の４校では５年目となった。学校図書担当者・学校図書ボランティア連絡会議や学校司書連絡会議を通じ、各校の取組についての情報交換を行うことで、有効な学校図書館整備が図られた。その結果、多くの学校で貸出冊数や貸出人数が増加している。また、今年度も長期休業中の学校図書館利用の機会を設け、各校へＡＬＴを派遣し、英語本の読み聞かせ等をすることで、子どもたちの本への関心を高めることができた。
今後の方向性	学校図書館については、学校司書・司書教諭・図書ボランティアが中心となり、小・中学校が連携した取組や児童・生徒が主体的に取り組む図書委員会の活動など、さらなる読書活動の充実が図られるよう促していく。

項　目	7　豊かな心の育成
点検内容	登別温泉やキウシト湿原、ふぉれすと鉱山など地域資源を活用した体験活動や、道徳教育推進教師を中心とした「特別の教科　道徳」の時間の充実を促し、生命を大切にする心や思いやりの心、郷土を愛する心など、児童・生徒の豊かな情操を育む。

取組状況

○自然体験や社会体験、ボランティア活動等、豊かな心を育む体験活動（◇学校支援地域本部事業によるものや、外部指導者を招いての教室など、各項目に記載の内容と重複するものを含む）

幌別小	通年　全学年による学級園を中心とした栽培活動 3年生による花壇への花の移植、草取り 通年　児童会活動として、リングプル・牛乳パックのリサイクル活動 通年　栄養教諭による食育指導（全学年） 4/12　交通安全青空教室(交通指導員の協力) 4/19　安全指導集会(講師：室蘭警察署員) 5～12月　幌中地区ふるさとふれあい農園活動（地域学校協働本部事業） 5/25 田植え（地域学校協働本部事業） 7/1　ふぉれすと出前講座(5年) 7/3　2年生 世代間交流　昔の遊び体験　13名の地域の方が協力 7/4　室蘭警察署見学（4年） 8/24　スマホ･ケータイ安全教室(5･6年)　講師：携帯電話会社担当者 9/2、3　いじめ防止授業(文化芸術による子供の育成総合事業～芸術家の派遣事業)　3・4年 9/19　パラマラソン伴走者　中田崇志氏　講話　5年 9/20　乗馬体験（地域学校協働本部事業） 9/25　アイヌ文化学習 4年（アイヌ文化活動アドバイザー協力） 9/26　温泉入浴体験 9/21　乗馬体験(学校支援地域本部事業) 10/6　ふれあい農園　稲刈り（地域学校協働本部事業） 10/8　3年社会科見学（ドーピー建設工業見学） 11/29　4年総合　見学学習（銀のしずく記念館） 12/6　5年総合 認知症キッズサポーター養成講座 12/13　邦楽鑑賞会 6年（登別三曲協会協力） 12/21　ふれあい農園　収穫祭（幌小実施）（地域学校協働本部事業） 1/20　サンライバ雪遊び（1・2年） 1/22　5年総合　福祉体験活動(講師来校) 2/4　6年卒業制作（健千窯の協力による陶芸） 2/12　スキー学習（5・6年） プログラミング体験学習（工学院）　12/2～5年、12/16～4年、1/27～6年
幌西小	学級園等での栽培活動（全学年） 4/11　縄文出前講座 6年生対象 4/19　「交通安全教室」（全学年） 5/13　「校外班集会・集団下校」（全学年） 6/11 9/4　ふれあい清掃（3/4も実施予定だったが、新型コロナに係る臨時休校のため中止） 6/18　フォレスト出前講座（5年）

	7/18　世代間交流 昔の遊び講座（2年） 7/12　邦楽鑑賞会 三曲協会による琴や尺八演奏指導（6年） 7/23　キウシト事前学習（２年）（ＮＰＯ法人キウシト） 9/5　「栄養教諭食育授業」（4年） 10/6 第68回全道身体障害者福祉大会登別大会参加（6年） 10/25　アイヌ見学学習(4年) 10/28 アイヌ文化体験学習 10/25　ふぉれすと鉱山学習（3年） 10/24 メグミルク食育プログラム（4年） 11/5　「栄養教諭食育授業」（2年） 10/15 10/25.11/12 「福祉の学習（総合的な学習）」（5年） 11/9 ケータイ安全教室 （ふれあいＤＡＹにて３年生以上で実施：携帯会社及びＥネットキャラバン） 11/21　人権教室（2・4年）　室蘭法務局 12/3　喫煙防止教室（６年）市役所健康福祉グループ 12/8　第15回障害者週間記念事業で体験発表（5年） 1/31　非行防止教室（６年）　室蘭警察署員 2/4 「認知症サポーターキッズ養成講座」（6年） 2/21「スキー学習」（5・6年）（インフルエンザにかかる学級閉鎖のため中止）
鷲別小	4/12　縄文出前講座（6年） 5/14　新入生記念植樹（1年） 5/27　食育指導（3年）栄養教諭 6/12　道新札響コンサート（5,6 年） 6/27　食育指導（4年）栄養教諭 7/8　あさがお育成指導（1年）ソロプチミスト 7/11　世代間交流（1年） 7/25　ボランティア清掃（下校時の地域のゴミ拾い）児童会が企画（全学年） 9/12　温泉入浴体験（3年） 9/20　ふぉれすと鉱山自然体験学習（2年） 9/24　アイヌ文化講座（4年） 10/12 幼保小交流（学芸会に鷲別保育所とリリー文化幼稚園を招待） 10/21 携帯電話・インターネット安全教室（5・6年） 10/24　アイヌ見学学習(4年) 10/23・11/6・11/26・12/20　出前福祉講座（5年）　登別市社会福祉協議会 10/26　食育指導（2年）マクドナルド 10/31　パロマ工場社会科見学（3年） 11/8　邦楽鑑賞会（6年） 12/23　租税教室（6年） 12/25　ひなわしイベント（全校交流） 2/7　郷土資料館での学習（3年） 2/10　スキー学習（5・6年） 【通年】学級園の栽培活動・牛乳パック回収（全学年）
登別小	ベルマーク・リングプル回収（全学年）　7/8　9/2　11/12　2/13　ベル・リン祭り（全学年） 学級園等での栽培活動（全学年）

	4/26　交通安全青空教室(1.2.3.5年)　登別市交通安全協会 5/10　ふるさと農園でジャガイモの植え付け（2年）地域ボランティア参加 5/11　サケの稚魚放流（登別さけ・ます孵化場）地域支援本部事業 7/6　ＯＭＢ地域行事参加（5,6年）　登別わくわく広場→雨天のため中止 8/21　認知症キッズサポーター養成講座（5年） 8/24　ふるさと農園収穫祭（2年）地域ボランティア参加 8/24　ＯＭＢ地域行事参加（5.6年）　地獄まつり→雨天のため中止 7/18　福祉体験学習（4年）登別市社会福祉協議会 10/1　登別中吹奏楽部演奏会参加（全学年） 10/2　文化芸術巡回公演（6年） 10/ 5サケの採卵体験（登別さけ・ますふ化場）地域支援本部事業 10/19 地域行事参加（3年）　登別地区チャリティー市民演芸会 10/26 ものづくり体験教室（モザイクアート教室）地域支援本部事業 11/9　不審者対応訓練・携帯スマホ安全な利用について（全学年）講師：室蘭警察署署員 11/30　福祉体験学習（3年）　登別市社会福祉協議会 12/7 ＯＭＢ定期演奏会5・6年　1～4年・保護者参観 12/14　人権教室（4年）　人権の花運動感謝状贈呈式（2年） 1/31　豆まき集会～いじめ撲滅や交通安全に対する標語作成（全学年） 2/3　世代間交流（1年）　地域ボランティア参加
富岸小	4/23　縄文出前講座　6年 5/7～12 11/１～７　「ケータイ・スマホ３つのルール」強調ウィーク 春～秋 花壇や学年園、生活科での栽培活動 5/17　ひまわり植え（地域のひまわり先生）1年生 5/27 ふれあい農園活動（畑の先生）2年生 通年 玄関ホール・各教室での飼育活動 6・7・11・12月 児童会活動によるいじめ防止のためのあったか富岸小運動 6/20　タイ　バンコク都教育使節団訪問 6/27 世代間交流 1年生　昔の遊び講座 8/27 10/31 キウシト湿原学習 3年生 年2回実施 湿原観察や外来植物の駆除 7/22 8/23 栄養教諭食育授業6年・2年 9/4　郵便局　カントレラ見学（2年） 9/5　芸術鑑賞（音楽鑑賞） 9/10　クリンクルセンター　消防署　浄水場見学 4年生 9/23　親子料理教室（登子連　ガス協会主催） 通年　亀田公園での自然体験活動（理科、生活科） 通年　牛乳パックリサイクル⇒乳アレルギー児童入学により全校的に中止 10/26　携帯スマホ安全教室（ソフトバンク） 11/7　人権教室　4年 11/16　PTA祭り 12/3　新日鉄見学　5年 12/9　がん教室　6年 1/24　租税教室　6年 2/1　親子もちつき大会・和太鼓 ZINKA 演奏鑑賞 2/5　車いす授業4年　認知症サポーター養成講座5年

	2/7　邦楽鑑賞会(6年　三曲協会) 2/13・20　スキー学習 6 年・5 年
幌東小	児童会によるリングプルの回収 児童会による「いじめをなくすための取組」(各委員会 1～2 回実施) 学級園を中心に栽培活動と学級花壇のお世話 (5 月～10 月) ふれあい農園 5/25 田植え 10/6 稲刈り　12/21 収穫祭 郷土芸能「幌別駒踊り」の継承 (全校児童) 　8 月～11 月に月 1 回練習　12 月幌別地区市民演芸会参加 (全校児童) 6/25　マクドナルドによる防犯教室 (1～3 年児童) 6/28　1･2 年世代間交流「ふれあい集会」(地域お年寄りとの交流) 7/26　校外班による校区のクリーン作戦 (清掃活動) 9/27　3 年 ドーピー建設工業やカント・レラ、地獄谷見学 (温泉入浴体験に合わせて) 12/5　4・5 年生認知症サポーター授業 11/3　鉄南地区文化祭参加「東小マーチ」披露・全児童の作品展示
若草小	通年　児童会によるリングプル回収、牛乳パックリサイクル 通年　学級・学年の小動物・昆虫等の飼育を廊下ですることにより他の学年も触れ合える場としている 通年　児童会による「読書の木」の活動において、「読書の木」を職員室前に掲載することにより読書への意欲喚起を図る 2 学期　児童会による「友達をたくさんつくるには」の活動～各自が思いや考えなどを書いた紙を貼り、掲示する (いじめ防止・豊かな心の育成) 4/17　「町会下校指導：出会いのつどい」　月 2 回程度 1・2 年生の下校を引率してくれる地域の方々とのふれあいの場 5/8　自動車学校での交通安全の体験学習(1・2 年生)　5/16 3・5 年　5/9 4・6 年生 5/16　「ふれあい農園」(1・2 年生) 地域の方々とジャガイモ苗植え 9/9 収穫　9/20 収穫祭 5/17　「遠足」(1～4 年生) 5/31 「環境美化 (花植え)」(1 年生) 7/12　「世代間交流」(2 年生)　昔遊びの体験・給食での交流 7/23・24　食育授業 (栄養教諭　1・5 年生) 8/23　食育授業 (マクドナルド　2 年生) 9/4・5 ふれあい合宿 (5 年生) 9/21　若草小地域交流祭り　地域の方々との触れ合いの場 6/13　札響ジュニアコンサート (5・6 年生) 10/17　食育授業 (ヤクルト　3 年生) 10/26　火育 (北海道ＬＰガス協会　5 年生) 10/30 「温泉入浴体験」(3 年生) 11/1　町内会文化展　5 会場(若草・美園・美園南・旭が丘・鷲別地区)に児童の作品出展 11/13　食育授業 (カルビー　4 年生) 11/21　社会科見学 (日本製鉄、室蘭市青少年科学館、室蘭民報社　5 年生) 11/30　もちつき会・消防署見学 12/2　福祉学習 (肢体不自由　4 年生)　12/11　聴覚障害　12/18　視覚障害 車いす・点字の体験、視覚障害者の生活体験 12/24　認知症サポーター養成講座 (5 年生) 1/24　「邦楽鑑賞会」(6 年生)　三曲協会による琴や尺八演奏指導

	2/7　食育授業（メグミルク　6年生）
青葉小	牛乳パックやリングプルの回収・地域の方を講師に招いてのクラブ活動 4/24　交通安全教室（交通指導員の協力）　全学年 5/11　キウシト湿原の会の方による出前授業　4年生 ふれあい農園　2年生種イモ植え　・　9/19 収穫祭（「畑の先生」招いて感想発表） 5/16　ケータイ・スマホ教室　4～6年生 7/18 10/29 キウシト湿原での自然体験学習　4年生 7/23　防犯教室　3年生（薬物の恐ろしさと、犯罪との関係について）　講師：室蘭警察署員 9/4　世代間交流 1年生 昔の遊び体験後、地域の方と給食交流 9/5　地域の施設見学（クリンクルセンター、浄水場） 9/18　芸術鑑賞会（音楽）ムジカトウキョウによる「新感覚のクラシックコンサート」 9/19　温泉入浴体験（3年） 9/20　登別の産業（ドーピー建設）、登別の歴史（郷土資料館）訪問 3年生 10/24 10/31　2年生見学体験学習（バス乗車　図書館・駅） 10/23・24　たたら製鉄　（5年生　室蘭・登別たたらの会指導　出前授業 ⇒　10/31 製鉄体験(火伏せの儀式や鋤出し)　1/28 鉄の精錬体験 11/12　新日鉄住金見学（5年生）現代の製鉄技術　・食育（2年） 11/25　食育（4年） 11/29　クラブ感謝の会　4年生以上　講師の方に代表から感謝の手紙贈呈 1/23　虎杖浜水産工場たらこ詰め体験 、仙台藩白老元陣屋資料館見学　(4年生) 1/28　登別の食産業　3年生　望月製麺・道南食品での見学と体験学習 1/31　陶芸指導(6年生)「健千窯」 2/12　福祉学習　視覚障害者による出前授業　6年生 ⇒　2/19　6年生（車いす体験など）出前授業 2/14　認知症サポート講座(5年生)
幌別中	4/15　携帯スマホ安全教室（全学年） 5/12　登別こいのぼりマラソン手伝い～演奏、給水、タグ受け取り ふれあい農園活動 ①5/25 田植え 45名参加　②10/6 稲刈り 24名参加　③12/21 収穫祭 13名参加 7/8　喫煙防止講座（全学年）　講師：室蘭警察署員 7/3.4　救命救急講座（２年生）　講師：登別消防署員 7/12　ＤＢＡ集会（いじめ撲滅集会） 8/24　介護付有料老人ホーム セ・ジュネス祭（ボランティア局手伝い） 9/20　学校祭行灯行列　社会を明るくする運動 9/24　吹奏楽部演奏会「音楽を楽しむ会」(幌別東小、幌別小) 9/28　幌東小との合同避難訓練 10/16　２年職業体験（三愛病院での社会体験） 11/9　命の大切さを学ぶ教室　講師　前田　敏章 氏 12/14　認知症サポーター養成講座（２年生）講師：登別市地域包括支援センター職員 12/17　薬物乱用防止講座(全学年)　講師：室蘭警察署員 12/25　セ・ジュネスもちつきボランティア　ボランティア局訪問（中止）
鷲別中	通年　生徒会によるペットボトルキャップ、書き損じはがきの回収→海星学院に届けワクチン支援などに協力　全校で不要品を出品、学校祭バザーで販売しダルニー奨学金を捻出

	4/12 3年による通学路清掃 5/26　花壇の土おこし 6/1　　花壇の花苗植え 7/1～10　生徒会生活向上週間 各委員会の取組実施 7/9　「いのちをいただく」の朗読劇（チームいちばん星）による「命の授業」実施 7/25　携帯安全教室（ＮＴＴ） 10/8　「命の大切さを学ぶ教室」実施（交通死亡事故被害者遺族による講演） 1年 9/30　日本工学院北海道専門学校教師の講話（職業観等） 10/23　校区内職場訪問 2年 10/9 市観光振興グループによる講演 10/23 温泉の各施設で職業体験 11/22 認知症サポーター養成講座 12/18　誕生学講話（性教育） 3年 9/26～10/11 3年保育実習（鷲別保育所） ギター・マンドリン演奏 9/16 若草地区敬老会　10/14 鷲六園　11/3 鷲別地区文化祭
登別中	4/12　携帯・スマホ安全教室（KDDI） 6/4　　1年 洞爺湖有珠山ジオパークでの見学学習 7/6～7　　わくわく広場祭典　吹奏楽部演奏 7/1　いじめ撲滅集会 7/8　思春期教室（性教育講座）妊婦体験 7/20　校下の清掃奉仕活動（町内クリーン作戦）による地域の環境美化 通年　熊舞保存会による指導 8/23　ＪＲ登別駅で熊舞披露（外国人観光客向けに英語・中国語で紹介） 8/24　地獄まつり参加　鬼みこし運行、熊舞披露、吹奏楽演奏実施　外国人観光客に向けて英語や中国語で紹介 8/29　2年　救急救命講習 10/24　3年　幼児とのふれあい体験（コロポックル） 10/17～18 2年 職場体験 校区の事業所中心に2日間実施 10/26　土曜授業　1年：職業講話（成田光男氏） 2・3年：認知症サポーター養成講座（地域包括支援センター） 11/15　3年　薬物乱用防止教室（三愛病院　藤田修靖氏） 12/15　熊舞引継ぎ式
西陵中	7/13　校区内清掃活動 7/19　いじめ撲滅集会（生徒会主催） 11/6　海星学院生を招いての震災ボランティア報告会（１年学年道徳） 10/29 2年生職場体験 10/30 2年生認知症サポーター養成講座 11/11 1年生職場訪問～新日鉄住金、室蘭工業大学 11/25 2年生思春期教室～誕生学講座　講師：公益財団法人たん学協会認定講師 【通年】生徒会による書き損じはがきやペットボトルキャップ、リングプルの回収
緑陽中	ボランティア部による富岸子育てひろばでの幼児とのふれあい活動（毎週土曜日） 生徒会によるリングプルの回収　年2回委員会活動強化週間(RSC週間)設定

	7/10　生徒会中心に「いじめ０運動集会」生徒会作成ビデオや寸劇によるいじめについての啓蒙、いじめ撲滅宣言実施 7/5　1年自然体験学習（ふぉれすと鉱山） 7/8～13 11/25～11/29　生活改善週間設定 10/8 2年生思春期教室 7/22 交通安全活動 10/11 2年生職業体験 10/16.31.11/15　３先生　113名保育実習 1/16　2年生認知症サポーター養成講座

○「スキー授業」　　市内の小学校７校の児童、延べ779名が参加。
（幌別西小：新型コロナウィルス感染症の拡大の影響により実施なし）
幌別小90名 2/12　幌東小23名 2/19　青葉小93名 2/3　鷲別小101名 2/10
若草小90名 2/14　富岸小5年76名 2/20　富岸小6年84名 2/13　登別小222名 1/21.24.27　2/4.7

○「温泉入浴体験」　335名参加　市内小学校全8校の3年生対象に実施。
幌別小46名 9/26登別万世閣（ボランティアガイド活用、温泉街、地獄谷、のぼりべつ酪農館）
幌西小47名 9/20登別グランドホテル（ボランティアガイド活用、温泉街、地獄谷、ドーピー建設工業）
幌東小13名 9/27花鐘亭はなや（ボランティアガイド活用、温泉街、カントレラ、地獄谷、ドーピー建設工業）
青葉小44名 9/19ホテルゆもと登別（ボランティアガイド活用、温泉街、地獄谷、鉄泉池、大正地獄、足湯体験等）
鷲別小52名 9/12登別石水亭（温泉街、地獄谷、カント・レラ）
若草小58名 10/30ホテルまほろば（郷土資料館、ドーピー建設工業）
登別小16名 9/30御やど清水屋（ボランティアガイド活用、温泉街、地獄谷）
富岸小59名 9/12第一滝本館（ボランティアガイド活用、温泉街、地獄谷）

○「生命尊重･思いやりの心を育てる人権教室」
6/21 幌東小２・４年　9/20 青葉小５年　11/22 幌西小２・４年　12/8 登別小４年　12/18 若草小４年

評　価	豊かな心を育む体験活動は、主に総合的な学習の時間や道徳科の授業において、各校の目指す児童生徒像や指導目標のもと、本市の豊かな地域資源や人材を生かしながら、実体験を重視した実践を継続、発展させることができた。 「特別な教科　道徳」の実施については、各学校の道徳教育推進教師を中心に校内の組織的な指導体制を構築しながら、教育課程課題検討委員会での共通理解をもとに、各校の取組の充実を図った。
今後の方向性	豊かな心の育成については、これまでも主に総合的な学習の時間や道徳科の授業において、本市の豊かな地域資源や人材を生かしながら、実体験を重視した実践を継続してきたので、今後も自然体験や社会体験、ボランティア活動、外部指導者を招いての講演など、各学校の特色ある教育活動を積極的に支援していく。

項　目	**8　健康・体力づくり**
点検内容	全国体力・運動能力調査の結果に基づく一校一実践の取組を推奨するとともに、スポーツ指導員の派遣を通して運動に親しむ意識が高まるように努める。 また健康教育では、「早寝早起き朝ご飯」の啓発活動や、望ましい食習慣の形成を図る食育の指導、性教育や薬物乱用防止に関する指導などの充実を促す。

取組状況

○令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果と分析（実施時期：令和元年 6～7 月）

小学校　5 年男子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅とび(cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計 (点)
全国	529,295	138.9	34.4	16.4	19.8	33.2	41.7	50.3	9.4	151.5	21.6	53.6
北海道	12,838	139.4	36.0	17.3	19.4	33.5	42.4	47.8	9.7	151.4	22.1	53.4
R1登別	184	138.6	35.0	16.7	19.9	37.2	44.8	53.1	9.6	154.9	21.6	55.1
H30登別	200	139.1	34.7	17.1	21.5	37.8	43.1	55.7	9.6	159.0	22.6	56.4
H29登別	227	139.7	35.7	16.7	21.5	36.3	43.2	53.9	9.7	153.4	23.5	55.2

小学校　5 年女子

全国	508,848	140.1	34.1	16.1	19.0	37.6	40.1	40.8	9.6	145.7	13.6	55.6
北海道	12,335	140.7	35.3	16.9	18.7	37.8	41.0	38.8	9.8	145.8	14.2	55.5
R1登別	186	140.3	35.2	16.3	19.0	41.0	42.1	39.5	9.8	146.7	13.8	56.3
H30登別	182	140.6	34.8	16.8	20.1	42.9	40.8	43.1	9.8	153.3	15.4	58.4
H29登別	171	140.7	35.0	16.1	19.6	39.9	41.2	42.9	9.8	149.6	15.2	56.9

中学校　2 年男子

	実施数	身長 (cm)	体重 (kg)	握力 (kg)	上体起こし(回)	長座体前屈(cm)	反復横とび(点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅とび(cm)	ハンドボール投げ(m)	体力合計 (点)
全国	462,196	160.0	48.8	28.7	27.0	43.5	51.9	399.0	83.5	8.0	195.0	20.4	41.7
北海道	12,346	161.1	50.8	29.6	26.5	42.3	50.9	412.5	79.0	8.2	194.6	20.2	40.7
R1登別	163	161.5	50.6	29.2	24.8	44.5	51.1	424.4	77.1	8.4	198.5	19.2	39.9
H30登別	167	160.5	49.0	28.7	26.5	45.8	51.4	382.3	88.0	8.3	196.4	19.2	42.1
H29登別	223	161.2	50.2	29.1	26.6	44.0	49.3	410.2	85.8	8.2	191.1	19.7	40.6

中学校　2 年女子

全国	441,023	154.9	46.8	23.8	23.7	46.3	47.3	289.8	58.3	8.8	169.9	13.0	50.2
北海道	11,752	155.2	47.4	23.7	22.3	44.6	45.5	304.5	52.0	9.1	165.1	12.5	47.1
R1登別	139	155.3	47.3	23.4	20.1	46.9	45.0	291.3	57.2	9.2	170.5	12.6	47.4
H30登別	153	155.7	47.5	23.3	20.7	47.7	46.0	281.5	56.6	9.1	167.9	12.3	47.8
H29登別	174	154.7	46.7	23.4	20.5	43.8	44.4	331.0	59.2	9.2	164.8	11.8	45.1

小学校男子～体力合計は、６年連続で全国水準以上を維持。種目別では、50ｍ走を除く全てで全国を上回った。下位層は全国・全道と比べて割合は低いが、昨年度よりやや二極化傾向が進んだ。

小学校女子～体力合計は、４年連続で全国水準以上。種目別では、シャトルラン・50ｍ走を除く全てで全国を上回った。割合でみると、上位層が高く下位層が低くなり、全体として改善傾向。

中学校男子～体力合計は、昨年度よりやや低下。種目別では、握力や長座体前屈、立ち幅跳びで全国を上回った。反面、それ以外の種目に係る、筋持久力・走力・投力には課題がみられる。

中学校女子～体力合計は、全国比－2.5p で昨年度並み。ただ、過去５年で最大値となった。種目別では、長座体前屈、立ち幅とびで全国を上回った。下位層の割合がやや減少し、改善傾向。

○体力向上一校一実践内容

幌別小	長縄記録会（全学年 7・12 月）全校で記録会実施 幌小っ子タイム（全学年 6～7 月・10～11 月）学級ごとに目標を設定し長縄にチャレンジ 短縄（全学年 通年）記録カードをもとに練習。 胆振教育局いぶりんピック（12～2 月）ぞうきんがけトライアル、なわとびトライ参加

幌西小	長縄跳び大会（全学年 12/7）学級で休み時間に練習。連続跳躍回数を競う。 （同日に短縄記録会も実施）
鷲別小	全校おにごっこ（全学年4月22～25日）体育委員会主催 マイペースランニング（全学年10月28～31日）グラウンドにコース設定。走った周記録 なわとび記録会（全学年11月29日　前3週間練習）がんばりカードを活用して意欲化。 全校ドッジボール大会（全学年2月13・14・17日）体育委員会主催
登別小	なわとび（全学年 通年）自己目標を設定　体力づくりの時間に取り組む。 前期：９０秒間持久跳び　後期：長縄跳び　※どさんこ元気アップチャレンジ登録 長縄発表会（低：12/14　　高：12/20）　２月全校遊び（リレー） すもう（全学年 5～9 月）体育の時間に実施　夏・秋場所を設定する。 マラソン（全学年 8～9 月）自己目標を設定　体力づくりの時間に取り組む。 スキー（全学年 1～2月）裏山(主に1.2年使用)　スキー場(1.2年1回、他2回)
富岸小	なわとび道場（全学年　通年）毎朝のなわとび実施　　短縄大会（全学年　6月） マイペースマラソン（全学年　9月）　長縄大会（全学年　12月） とんけし運動広場（おにスポ主催）
幌東小	全校児童「新体力テスト」の実施 校内体力づくりの実施～短縄跳び
若草小	なわとび　休み時間に「なわとびカード」の名人を目指して取り組む（5 月～10 月） 「短縄記録会」（9 月）、長縄記録会（12 月）の開催
青葉小	長縄跳び(全学年6～2月)学級ごとに取り組む。 長縄大会実施（2/7）
幌別中	長縄跳び（全学年 5～6月）陸上記録会に合わせた体力づくり　昼休みに時間設定 保体専門委員会による球技交流会（バスケットボール・バレーボール）３学期予定⇒中止
鷲別中	長縄跳び（全学年 12月）体育科で実施。制限時間内で跳んだ回数を学年内で競う ダンス（1・2年　2月）ヒップホップダンスを、講師を招いて実施する
登別中	導入5分間アップ(全学年・通年)授業導入時筋トレ、コーディネーショントレーニング実施 体力アップイベント(全学年)体幹トレーニングなど生徒による企画と実行 ダンス指導（全学年）インストラクターによる指導
西陵中	8/27 ダンス講座（全学年）…文化・スポーツ振興財団「ダンスレッスン派遣事業」 ダンス（全学年9月）学校祭でヒップホップダンスをクラス単位で発表(コンクール形式)
緑陽中	ダンス指導（1・2年生 3学期）クラス単位で発表

○体育コーディネーターの活用による体育授業及び体力向上の支援(子ども健康・体力改善事業)

委託先　ＮＰＯ法人「おにスポ」

市内全小学校にスポーツ指導員を1校あたり授業で年間240時間以上、放課後の運動教室で年間24時間以上派遣。

派遣内容　①「体育の授業」質向上支援～・柔軟性・俊敏性を養う動きを取り入れた準備運動の導入。
②実技の手本を見せ、児童へ体の動かし方やコツ、練習のポイントのアドバイスを実施。
③準備運動で、単位時間の中で行う運動に必要な筋肉を使う体操を導入。
④体力向上を図る取組の支援～・おにごっこや球技を取り入れた遊びへの参加について、積極的に児童に働き掛けることで、運動への意欲の向上を図るとともに、運動不足の解消、持久力、瞬発力を高められるような取組を実施。
⑤新体力テストの実施に関する指導補助。

実績

①授業派遣時間

鷲別小	若草小	富岸小	青葉小	幌別小	幌東小	幌西小	青葉小
217	217	209.25	224.75	217	240.25	224.75	240.25

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各小学校が休校したことに伴い、派遣時間が予定に満たない小学校が発生した。

②放課後の運動教室派遣時間

鷲別小	若草小	富岸小	青葉小	幌別小	幌東小	幌西小	青葉小
26	24	24	24	24	24	24	24

○栄養教諭による食育・給食指導

・勤務校での指導状況

幌別小　1年　11/14・11/15 給食を楽しく食べよう　1/23・1/24 食べ物を大切にしてきちんと食べよう

2年　9/19 何でも食べよう元気に大きくなろう　9/14 はし使いの名人になろう

3年　12/10 すききらいをしないで食べよう（休校のため未実施）

4年　6/25 朝ごはんのよさ、働きを見直そう　12/12 バランスを考えて食べよう

5年　9/20 バランスを考えた食事をしよう　12/14 すすんで運動　しっかり食べよう（明治オリパラ）

6年　7/19 朝ごはんパワーアップ大作戦　12/14 すすんで運動　しっかり食べよう（明治オリパラ）

特別支援学級　7/17　食事のマナーを見直そう　※ 給食指導～毎日学級訪問

幌別東小　1年　7/5　おはし名人になろう

2年　5/21　食事のきまりを守ろう

3年　12/18　早寝・早起き・朝ごはん

4年　2/14　食べものの３つのはたらきを知ろう

5年　8/27　五大栄養素について知ろう　9/6 ご飯とみそしるをつくろう

11/22　家族とほっとタイム

6年　12/23　満点給食メニューを考えよう

1～3年　9/3　元気が出るあさごはん（明治食育教室）

4～6年　9/3　すすんで運動しっかり食べよう（明治オリパラ）

※ 給食指導～毎日学級訪問　食育教室の充実～年間通して児童が学べる空間の確保

・派遣先での指導状況

幌西小　9/5 4年学級活動（食育指導）　11/5 2年学級活動（楽しい食事）

若草小　7/24 1年特別活動（給食を楽しく食べよう）　7/23 5年特別活動（望ましい食生活）

登別小　10/31 5年　栄養素の働きについて　10/29　2年　給食の主な栄養について

青葉小　11/12　2年学級活動（何でも食べよう）　11/14　4年学級活動（カルシウムの働き）

鷲別小　5/27 3年（好き嫌いをしないで食べよう）　6/27　4年（丈夫な身体をつくろう）

富岸小　7/23 6年（食事と健康について考えよう）　8/21 2年（何でも食べよう）

○薬物乱用防止教室

幌別小	12／20　5・6年 危険ドラックも含めた非行の実態について室蘭警察署員による講話
幌西小	1/31 6年 薬物の恐ろしさ等について、室蘭警察署員による講話
鷲別小	6年　シンナーや麻薬の恐ろしさについて、担任による指導

登別小	薬物乱用防止に関する資料等を活用し学級担任が保健の時間に指導
富岸小	2/17　6年 薬物乱用防止教室 室蘭警察署員から薬の恐ろしさと使用は絶対にいけない旨の講話（喫煙も含む）
幌東小	11/5　飲酒や喫煙、薬物乱用の防止について室蘭警察署員による講話
若草小	1/28　薬物乱用防止教室（6年生）　講師：室蘭警察署員
青葉小	7/23　3年 防犯教室（薬物の恐ろしさと、犯罪との関係について）　講師：室蘭警察署員
幌別中	12/19 全学年対象　室蘭警察署生活安全課職員による、薬物全般に関する講話
鷲別中	臨時休業のため中止
登別中	11/15 3学年 三愛病院藤田修靖氏による講話～薬物乱用の危険性
西陵中	11/28 3学年 室蘭警察署員による、薬物全般に関する講話
緑陽中	3/6 警察署員による3年生対象の乱用防止教室を実施　※コロナ臨休のため中止

評　価	全国体力・運動能力調査の結果は、小学校男子で６年連続、女子で４年連続全国水準を上回るとともに、中学校男子で全国水準をやや下回るがほぼ同程度、女子は昨年度並みだが過去５年で最大値となり改善の傾向が見られ、全国平均との差は確実に縮まっている。これは、体育科の授業改善はもとより、一校一実践の取組に加えて、新体力テストに全学年・全教職員で取り組むなど、学校をあげて体力の向上に取り組む気運が高まっていることも大きな要因と考えられる。 また、学校とスポーツ指導員の連携深化により、日常の運動機会が増加している。
今後の方向性	体力の向上については、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、小学校では全国水準を超える結果を維持しており、中学校では全国平均を下回っているものの改善傾向にあるので、体育科のさらなる授業改善やスポーツ指導員の派遣を通して、児童・生徒の体力と運動能力の向上に努めていく。 また、望ましい生活習慣の確立のため、「ノーゲームデー」や「早寝早起き朝ごはん」の取組を啓発していく。

項　目	**9　児童・生徒の安全対策**
点検内容	児童・生徒の安全対策については、登別市通学路交通安全プログラムの進行管理により通学路の安全確保に努めるとともに、家庭や地域、関係機関と連携し、避難訓練や防犯教室、情報モラル教室、消費者教室などの取組を促す。 また、登別市総合防災訓練と、道が主催する一日防災教室を鷲別小学校で実施する。

取組状況

○交通安全指導

小学校～入学前、学校説明会で通学路地図を保護者に手渡し、実際に保護者と歩くことを推奨。新学期に合わせ交通安全教室実施。入学後、教職員による登下校指導や自転車の実地指導実施。

中学校～新学期に合わせ交通安全教室実施。自転車通学を認めている学校ではパンフレット等作成し指導を重ね、安全意識啓発。

○ネットパトロールによる取組

道教委委託から情報提供に基づき、その状況に応じて全体あるいは当事者に指導し、保護者に協力を求めた。令和元年度の情報提供の数は0件。

○通学路の安全

・危険箇所の把握と改善～各校から通学路危険箇所の報告を受け、通学路安全推進協議会協議会で確認。
通学路安全プログラムに基づく危険箇所は26箇所。市HPや各校通学路安全マップ等で周知を図っている。
※ 協議会参加者：北海道開発局室蘭開発建設部・胆振総合振興局室蘭建設管理部・室蘭警察署交通課・登別市都市整備部・市民生活部・登別市教育委員会学校教育グループ

・地域や保護者の協力を得た見守り活動～町内会等地域ボランティアによる見守り活動のほか、保険会社や郵便局など、市が協定を結ぶ企業と情報共有をして進めた。

○防犯教室

幌別小	4/19　安全指導集会(不審者対応等　講師：室蘭警察署員)
幌西小	7/17　不審者対策避難訓練（学校侵入者への対応と児童避難）講師：室蘭警察署生活安全係
鷲別小	7/5　不審者対策避難訓練（学校侵入者への対応と児童避難）講師：室蘭警察署員 対象：全学年2/3～7　放送による非行防止教室（非行防犯に関するインタビュー）講師：室蘭警察署員 対象：全学年
登別小	11/9　不審者対応訓練・携帯スマホ安全な利用について（全学年）講師：室蘭警察署署員
富岸小	5/11　命を守る学習 防犯教室（マクドナルド防災教室）　集団下校
幌東小	6/25　不審者対応避難訓練　地域の人が不審者役を演じスタディちゃんの家（東保育所）に実際に逃げる訓練を行う。
若草小	11/25　不審者が侵入した際の避難訓練を実施　　10/26 ケータイ・スマホ教室（3～6年生） 1/28　薬物乱用防止教室（6年生）　12/2　未成年者喫煙防止教室（6年生）
青葉小	5/16　ケータイ・スマホ教室　ｅネットキャラバン　・　　7/23 防犯教室（薬物等）室蘭警察署 9/25・10/24・11/25・12/17　校内放送を活用した非行防止教室　室蘭警察署
幌別中	7/8　　喫煙防止講座（全学年）　　講師：室蘭警察署員
鷲別中	臨時休業のため中止
登別中	携帯スマホ教室や薬物乱用防止教室等の講話に合わせて講師からお話をいただく
西陵中	11/28 薬物乱用防止教室(３年学年道徳)
緑陽中	10/26 全学年・保護者対象の帯・スマホトラブル防止教室（KDDIから職員を講師として）

○情報モラル教育～インターネット安全教室

幌別小	8/24　スマートフォンや携帯電話の利用方法・マナーについて学ぶ。（対象　４・５・６年児童、全保護者）　　講師：携帯会社契約社員
幌西小	11/9 ケータイ安全教室として5・6年生にはＫＤＤＩ,3・4年生にはEネットキャラバンから講師を招いて携帯やスマホの安全な利用法やネットトラブルなどについて、講演を実施。全校参観日で保護者、学校運営協議会委員も参加。
鷲別小	10/21　5,6年対象 情報モラルについて 講師：ＬＩＮＥ職員
登別小	11/9　携帯スマホ安全な利用について（全学年）講師：室蘭警察署署員　（保護者参加） 実際の被害事例に基づき、危険性と安全な使用の仕方についての講話。
富岸小	5/7～12 11/１～７　「ケータイ・スマホ３つのルール」強調ウィーク 10/26　携帯スマホ安全教室（ソフトバンク） 12/16　警察啓発放送 お昼の放送を使っての啓発（室蘭警察署）
幌東小	5/25　4年生以上対象　スマートフォンやケータイの安全な使い方や、著作権等の指導について　講師：ＮＴＴドコモ職員
若草小	10/21　若草小スマホ・携帯実態調査の実施 10/26　ケータイ・スマホ教室（3～6年生）au、ソフトバンク 11/27　登別市ケータイ・スマホ３つのルール強調週間、全教室掲示

青葉小	5/16　4年生以上対象 携帯・スマホ教室　講師：Ｅネットキャラバン
幌別中	4/15　スマホ携帯安全教室（全学年）　正しい使用の具体例を示した講話
鷲別中	7/25　スマホ等安全な使い方やモラル・マナーについて 全学年 講師：ＮＴＴドコモ職員 12/14 スマホ携帯の危険性について　新入生保護者説明会にて新入学生保護者対象 講師：室蘭警察署員
登別中	4/12　携帯スマホ安全教室（講師：KDDI社員）
西陵中	11/18 携帯スマホ安全教室（全学年対象）講師：お助けネット代表　中谷通恵さん
緑陽中	4/21　PTA総会時に学校長より保護者へのスマホ・携帯使用の指導について確認 10/26 保護者・生徒対象スマホ、SNSトラブル防止教室（KDDIから職員を講師として）

○インターネット使用に関わる指導や啓発の取組

①小4から中3まで、ゲーム機やスマートフォン等インターネット機器に関する調査を年1回(5月)実施。

②結果を受け、市P連・市校長会・市教委で話し合い、市全体での指導の方向性を確認。各学校では「ケータイ・スマホ3つのルール」に基づき、児童生徒への指導や保護者への啓発を強化。学校運営協議会で協議する場面も多く見られた。

③幼稚園・保育所関係者と協議を重ね、リーフレット「乳幼児期のお子様を持つ保護者の皆様へ」を作成し、子どもを幼稚園や保育所に通わせている保護者に小・中学校の「3つのルール」を周知するとともに、親子関係や健康面での悪影響を理解してもらい、親にスマホの使い方を考えさせる下記の内容を加え、８月に市内４保育所と４幼稚園に配布した。

「親のスマホの使い方は、子どものお手本。親自身がスマホの使い方に気をつけましょう」

「子どもは親のまねをします。子どもにルールを守ってもらうには、親自身がスマホの使い方に気をつける必要があります」

※「自分専用のインターネットが使用できる機器の所有率」　令和元年5月調査結果

小4　80.6%　小5　80.9%　小6　85.7%　中1　90.2%　中2　88.4%　中3　90.2%

※「スマホ所持率」　令和元年5月調査結果　※（　）は昨年度

小4　23.8%　小5　26.0%　小6　35.8%　中1　52.0%　中2　63.4%　中3　73.4%

（14.7%）　（22.5%）　（29.5%）　（47.8%）　（65.1%）　（63.1%）

※「1日の使用時間が3時間以上の割合」　令和元年5月調査結果　※（　）は昨年度

小4　9.0%　小5　15.1%　小6　13.7%　中1　14.3%　中2　14.8%　中3　19.6%

（11.3%）　（15.6%）　（20.2%）　（13.2%）　（17.5%）　（19.6%）

○避難訓練

学校名	取　組　内　容
幌別小	避難訓練(地震・火災)　5/7 教室から避難　　7/16 休み時間の避難 簡易避難訓練(8/24　12/10)　地震・火災等を想定した初期動作の確認 集団下校訓練　学期１回　校外班ごとによる下校訓練 9/5　津波発生時の避難訓練実施 幌別中まで一斉避難
幌西小	5/24　火災想定避難訓練 9/28　町会及び小中合同避難訓練　大地震を想定し、西小グラウンドから望洋公園までの１㎞を中1と小2、小1と小6が手をつないで避難。(町会も合同で実施)
鷲別小	6/21　小中合同避難訓練（地震による津波想定） 7/20　一日防災学校（登別市総合防災訓練） 火災想定避難訓練(9/9予告あり　9/12予告なし)
登別小	5/4　火災避難訓練　7/18　立ち止まり訓練（中休み） 9/19 地震津波避難訓練(高台避難：時代村社宅まで)　12/18 立ち止まり訓練(中休み)

富岸小	4/19　地震・火災時の避難経路確認　　5/12 不審者侵入を想定した避難訓練 6/26 中休み避難訓練 8/31　小中一貫・ 地域連携避難訓練(津波避難) 亀田公園まで避難 富岸町内会による避難誘導協力
幌東小	4/25　火災避難訓練　6/19　不審者対応避難訓練（室蘭警察署、地域の方の協力） 9/12　鉄南連合町内会・幌別中と連携した地区避難訓練を実施 10/16 地震・津波を想定した避難訓練　幌中まで避難 2/7　津波を想定した避難訓練　工学院女子寮ドミトリーまで避難
若草小	5/13 火災避難訓練　8/26　若草町内会と合同津波避難訓練 9/6　北海道シェイクアウト参加　11/8・11/13 立ち止まり避難訓練
青葉小	5/9 火災対策避難訓練　8/31 地震・津波想定避難訓練(地域合同)
幌別中	5/29　火災避難訓練 9/28　幌東小と合同で地域による大津波避難訓練を実施　幌別中が避難場所
鷲別中	6/21　 避難訓練(地震･津波)　登別市立鷲別小学校屋上まで避難（小中同日避難訓練実施） 10/4　避難訓練(地震･火災)
登別中	5/7　 火災を想定した避難訓練　9/26 地震津波を想定した保育所との合同高台避難訓練
西陵中	9/28　地震・津波を想定した避難訓練を幌別西地区連合町内会、幌別西小と合同で実施。 大地震と大津波を想定した避難行動。小中合同での高台避難と事後指導を実施した。 10/10 火災想定の避難訓練
緑陽中	5/8　火災避難訓練 8/31　 小中・地域合同避難訓練（津波）各町内会の避難場所の確認

○学校施設

・幌別西小学校校舎の耐震改修工事（Ⅱ期）・旧校舎解体・渡り廊下改築工事

１．内部耐震補強壁　13 箇所

耐震性の判定基準は、構造耐震指標　Is≧0.70　　校舎１　Is　改修前 0.40　→　改修後 0.71

校舎２　Is　改修前 0.57　→　改修後 0.70

校舎４　Is　改修前 0.49　→　改修後 0.91





・登別小学校校舎の耐震改修工事・大規模改造（外壁・屋根）工事

１．外部耐震ブレース設置　２構面　　２．耐震スリット　10 箇所　　３．西側玄関庇先端撤去

耐震性の判定基準は、構造耐震指標　Is≧0.70　　校舎１　Is　改修前 0.57　→　改修後 0.73

校舎２　Is　改修前 0.68　→　改修後 0.72





・幌別東小学校校舎の耐震改修の実施設計

１．校舎耐震改修工事

・幌別中学校校舎の耐震改修の実施設計

１．校舎耐震改修工事　　２．校舎大規模改造（外壁）工事　　３．校舎大規模改造（屋根）工事

評　価	防犯教室は、近年の不審者通報や実際の被害の増加に伴い、各学校が警察署等の協力を得て、身を守るための具体策を講話や訓練によって学ぶ機会を設定することができた。 携帯・スマホの所持率増加を受け、生活リズムの乱れや人間関係のトラブルに対応するため、全ての学校において、携帯電話会社やＮＰＯ法人の協力を得て、情報モラルモラルに関する教室・授業を行った。さらに、携帯・スマホ利用による健康被害については、市Ｐ連や校長会の代表と協議を重ね、積極的に情報提供を行った。 通学路の安全については、通学路安全推進協議会を開催、報告のあった危険箇所について、関係部署に情報提供した。学校施設の耐震化については、幌別西小学校及び登別小学校校舎の耐震改修工事と幌別東小学校及び幌別中学校校舎耐震改修の実施設計を計画通り実施した。
今後の方向性	安全教育については、地域や小・中学校が合同で行う避難訓練や一日防災学校をはじめ交通安全指導や防犯教室、情報モラル教室・薬物乱用防止教室など、児童・生徒が状況に応じて適切に判断し、行動する力を身に付ける取組を引き続き支援していく。 学校施設については、幌別東小学校と幌別中学校校舎の耐震改修工事を実施する。学校の耐震化は令和二年度をもって完了となるので、今後は「教育施設等長寿命化計画」を基に、修繕や改修を行いながら、安全・安心な施設整備に取り組んでいく。

項　目	**10　不登校・いじめ対策**
点検内容	引き続き教育指導専門員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員の配置による相談体制の充実と、適応指導教室での登校支援に努めるとともに、登別市不登校・いじめ等対策会議を活用し、問題の未然防止や、早期発見・早期対応に取り組む。

取組状況

〇いじめの起きない環境づくりや不登校に対する体制づくり

・第1回登別市不登校･いじめ等対策会議

日時：令和元年5月15日（水）14：30

参加：校長会代表・教頭会代表・各小中学校担当・教育委員会

内容：報告～平成30年度本市不登校の状況・いじめ認知数等・教育相談状況、平成31年4月現在の状況

協議～平成31年度各種事業・各校取組の情報交流・指導専門員からの資料提供
研修～小中別交流会

第2回登別市不登校・いじめ等対策会議
日時：令和2年2月12日（水）15：00
内容：報告～令和元年度本市不登校状況・いじめ認知件数・教育相談状況、令和2年1月現在の状況
協議～令和2年度各種事業・各校取組の情報交流・資料提供
研修～中学校区別交流会

・第1回ふれあいサポート懇談会
日時：令和元年7月3日（水）14：30
参加：校長会代表、教頭会代表、不登校児童生徒を抱える学校の教職員、
不登校児童生徒が皆無の中学校区は校区内から教職員1名、教育委員会関係者
内容：令和元年5月末不登校児童生徒状況、第1回学校訪問報告、
不登校・不登校傾向及び長欠児童生徒に関する情報交流、鷲別岳登山について連絡

第2回ふれあいサポート懇談会
日時：令和元年10月11日(金)14：30
内容：令和元年９月末不登校児童生徒の状況、第２回学校訪問報告、情報交流
研修（講話）「不登校を考える」　講師：鷲別中学校　校長　鴫原　洋二　氏

・教職員研修会（講演）
日時：令和元年11月15日(金)15：00　参加：市内小中学校教職員・教育委員会関係者 参加人数218名
演題　「集団に馴染めない子どもと環境調整の在り方～ＳＳＴを中心に～」
講師　星槎大学大学院教育実践研究科　准教授　岩澤　一美　氏

・体験教室「陶芸教室」（健千窯）水曜午前　学校の申し出で協議し随時実施　6名通級(昨年度6名)
・適応指導教室「スタディ広場」週一回　学校の申し出で協議し随時実施　8名通級(昨年度3名)
・自然体験　8月9日(金)　鷲別岳登山　中学生3名参加(昨年度1名)　※外国語指導助手も参加
・教育指導専門員による相談(電話・来室)　9件(昨年度6件)
・教育指導専門員による学校訪問　年2回（6月中旬・9月中旬）
・不登校等支援関係者情報交流懇談会　2月12日(水)　ＳＣ・ＳＳＷ・心の教室相談員
・保護者相談～希望により随時開催
・いじめ関係　アンケート調査(年２回)　取組状況調査(年２回)　対応状況調査(年３回)

○不登校出現件数・いじめ認知件数の推移　（単位：件数）

不登校出現件数の推移
（病欠以外の欠席累計30日以上）

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
小	5	4	1	2	1	1
中	23	22	18	19	21	29
計	28	26	19	21	22	30

いじめ認知件数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R1
小	9	22	14	3	11	17
中	11	3	7	11	5	7
計	20	25	21	14	16	24

○ＳＣ・ＳＳＷ・心の教室相談員の支援
・ＳＣ（スクールカウンセラー）の相談内容　※(　)は昨年度

相談者	不登校	いじめ	暴 力	友人関係	教師との関係	親子関係	心身健康	発達障害	学業進路	合 計
児童生徒	23(64)	0(0)	0(0)	7(30)	0(0)	4(2)	7(1)	1(17)	0(0)	42(114)
保護者	23(59)	0(0)	0(0)	2(16)	0(0)	1(0)	0(0)	1(7)	0(1)	27(84)
教職員	39(30)	0(0)	0(0)	4(9)	0(0)	3(0)	3(1)	1(6)	0(0)	50(47)
その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

・ＳＳＷ（スクールソーシャルワーカー）～２名配置　活動状況　全学校を訪問　※(　)は昨年度

活動時間	10:30～16:15
対　　象	支援児童生徒　保育所0(0)人　小学校9(3)人　中学校14(7)人　その他0(0)人
問 題 別	家庭環境5(2)件 不登校12(6)件　児童虐待2(2)件 発達障害1(2)件
訪問回数	学校27(35)件　関係機関2(14)件　家庭11(4)件

・心の教室相談員　※(　)は昨年度

勤務日数　鷲別中 75(88)日・幌別中 81(83)日・緑陽中 97(101)日・西陵中 73(80)日・登別中 102(86)日

相談件数　計 54(119)件

評　価	登別市不登校・いじめ等対策会議や教育指導専門員による学校訪問、アンケート調査等を通して、不登校・いじめの実態把握に努めるとともに、具体的手だての共有を図り、福祉部局等の関係機関との連携により効果的な指導を展開した。不登校・いじめ出現率はやや増加しており、家庭支援が必要な事案も増えていることから、ＳＳＷへの相談件数が増加傾向にある。 また、利用者数は少ないものの、陶芸教室や適応指導教室では登校への意欲を高めるために、きめ細やかな支援を行うことができた。支援を必要とする児童生徒が効果的に利用することができるよう、引き続き学校・保護者への適切な働き掛けをする必要がある。
今後の方向性	不登校・いじめ対策については、引き続き学校と教育委員会が連携を密にしながら、情報交流や教職員研修により教員の生徒指導力の向上を図るとともに、教育指導専門員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員による相談、適応指導教室における登校支援の充実を図るなど、不登校解消といじめ根絶に努めていく。

項　目	**11　特別支援教育**
点検内容	各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に、個別の教育支援計画・指導計画に基づく適切な指導がなされるよう支援する。 また、登別市特別支援教育振興協議会が取り組む指導内容の研究や交流事業などの活動を支援する。

取組状況

○市内小中学校の特別支援学級の状況

	小　学　校	中　学　校
知的障害学級	8学級23名 (8学級24名)	5学級 14名 (5学級 18名)
自閉･情緒学級	9学級36名 (9学級39名)	5学級 16名 (5学級 13名)
肢体不自由学級	3学級 4名 (3学級4名)	設置なし (1学級 1名)

担当教員	45名(44名)
介助員	9名(7名)
学習支援補助員	20名(20名)

担当教員はハーフ勤務４人含む

○登別市教育支援委員会の取組

①就学前からの教育相談や就学指導

	担 当	内　　容
パートナーティーチャー派遣事業	学教G	特別支援学校教員による小中学校の発達障がいを含む障害のある児童生徒に対する指導・支援 活用校～幌西小3名 幌東小2名 富岸小4名(1名聾学校) 登別小3名
教育支援委員会	学教G	適正就学に向けた取組

9月～12月		・委員の幼稚園･保育所訪問観察･検査、担当者との懇談 ・諮問：11/11　答申：12/16（全委員出席） ・総合検査：11/14　検討審査：12/3～12/6
教育支援委員の学校訪問	学教G･対象校	9～11月実施
１日体験入学	全小学校	1～2月各学校で実施
新入学児童合同引き継ぎ	幼･保･小	3/26.27 幼保･小実務担当者会議(合同引き継ぎ会)

②その後の一貫した支援

・各種研修会

登別市特別支援教育振興協議会第1回研修会　8/8 登別中学校　20名参加

講師：胆振教育局教育支援課義務教育指導班指導主事　但田 寛和 氏　内容：発達検査の解釈と活用

登別市特別支援教育振興協議会第2回研修会　1/8　登別中学校　30名参加

講師：登別市児童デイサービスセンターのぞみ園　有澤　恵美 氏

内容：支援が必要な児童生徒への具体的な対応

・特別支援学級作品展 10/26（土）～11/1（金） 主催者：登別市特別支援教育振興協議会

内容：作品を通した交流により間接的に思いを感じたり伝えようとしたりする態度を育成し、コミュニケーション能力の向上を図る。

・関係部局との連携

５歳児相談（保健福祉部健康推進グループ）

・子供の状況を早期から把握し、学教教育にスムーズにつながるよう、市内の小・中学校での特別支援の状況の説明や子供の様子に不安のある保護者との教育相談を実施する。

５月２３日　初就学に向けた説明会１０名　　教育相談０名
８月３０日　初就学に向けた説明会１９名　　教育相談１名
１１月　１日　初就学に向けた説明会１３名　　教育相談２名
２月１３日　初就学に向けた説明会　９名　　教育相談１名

評　価	教育支援推進専門員を中心に、各学校の特別支援教育コーディネーターや関係機関、保護者とのきめ細やかな連携に努め、教育相談や就学指導を適切に実施し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実を図るとともに、就学後も必要に応じて支援を継続した。 校長会・教頭会において、支援ファイル「ふくはうち」の利用促進を周知したり、保健師（保健福祉部健康推進グループ）が行う５歳児相談での入学に向けた講話や同障がい福祉グループが行う就学説明会での講話をしたりするなど、教育と福祉が連携した取組を進めた。 平成 30 年度からの言語障害通級指導教室の２校体制（幌別小・鷲別小）も軌道に乗り、児童の成長を支援する体制が強化されている。
今後の方向性	特別支援教育については、一人一人のニーズに応じた教育の充実を図るため、介助員や学習支援員を適切に配置するとともに、各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に、義務教育九年間の連続性を配慮し、きめ細やかな教育相談や就学指導が行われるよう努めていく。

※登別市支援ファイル「ふくはうち」とは…障がいのある方や発達に心配のある方の情報を保健・福祉・医療･教育･就労などの関係機関で共有することで、地域の中で一貫した継続的な支援が受けられるよう、本市保健福祉部障がい福祉グループが作成したもの。

項　目	12　学校の適正配置
点検内容	学校の適正配置については、登別市学校適正配置基本方針をもとに、これまでも学校運営協議会などで意見交換をしてきたが、保護者や地域との意見交換の機会を設け、今後の方向性を検討していく。

取組状況

○「子どもの教育の在り方に係る意見交換会」を２中学校区で開催した。

1　期日　　令和元年 10 月 1 日(火)：西陵中学校区　　10 月 2 日(水)：幌別中学校区

2　会場　　各中学校体育館

3　内容

(1)情報提供…地区別児童生徒数の現状と予想推移について

(2)登別市学校適正配置基本方針(平成 26 年 5 月)の説明

(3)文部科学省の手引(平成 27 年 1 月)の説明

(4)意見交換…1 グループ 7～8 名程度に分かれて行った（西陵中校区 3・幌別中校区 4 グループ）

4　参加対象

各中学校区の校長・教頭、学校運営協議会委員、ＰＴＡ役員、地域住民（町内会から２名）

5　教育委員会出席者

教育長、部長、参与、次長、学教総括主幹、学務主幹

6　参加人数

西陵中学校区 28 名　幌別中学校区 30 名

評　価	本市学校適正配置基本方針を基に、今後、児童生徒の教育環境に課題が生じると考えられる校区での意見交換会の開催により、保護者や地域住民と将来的な課題に係る共通認識をもつことができた。引き続き、児童生徒数の推移や地区の課題を話題に、地域や保護者の思いに寄り添いながら、子どもたちにとっての良好な教育環境整備に向けた議論を進めるため、まちづくりを観点に、市長部局との連携による学校の適正配置に係る協議や協働を進める。
今後の方向性	学校の適正配置については、児童・生徒にとって望ましい教育環境を整備するため、令和元年度は幌別中学校区と西陵中学校区において、保護者や地域との意見交換会を開催するなど、具体的な教育上の課題を整理してきた。 令和二年度は、登別中学校区において意見交換の機会を設け、丁寧な議論を進めるとともに、これまでの進捗状況を踏まえ、「登別市学校適正配置基本方針」に基づき、取組を推進する。

項　目	13　生涯学習社会の実現
点検内容	さらに体制を強化するため、地域の実情に応じて、全小中学校にサブコーディネーターを段階的に配置していく。

取組状況

○「第 5 次社会教育中期計画」に基づいた主な各種施策

・人づくり①青少年世代～これからのまちづくりを担う青少年の健全な育成と地域教育力の向上

地域学校協働本部事業	各中学校区	コーディネーターを配置し体験活動を実施　◇P49～参照
少年の主張大会	幌別中	中学生による意見発表大会　市内6校12名出場　6/5

放課後子ども教室	鷲小・東小	放課後に子どもが安心して活動できる居場所づくり ひなわしメート＝108名登録　はまなすメート＝43名登録
成人祭	市民会館	市と実行委員による企画、運営　出席者333/507人　R2.1.12
通学合宿	ネイチャーセンター	小学5・6年生対象に共同生活を通し生活習慣の向上を図る

（◇放課後子ども教室や通学合宿の詳細はP49を参照）

・人づくり②成人世代～学習意欲の向上の奨励と地域活動の担い手の発掘・育成

・人づくり③高齢者世代～学習機会の充実と地域の模範となる高齢者の活動による地域教育力の向上

登別ときめき大学	66名登録	市教委の基礎コースと各団体の講座を連携コースとした生涯学習 基礎コース8講座～受講者210名、連携コース183講座
市民マイプラン講座	市内各所	サークル等が企画した講座や学習会を支援する 申請団体＝15団体（うち2団体事業中止）（文化・福祉団体等）
胆振女性リーダー養成研修	1名派遣	女性リーダーの資質向上と地域づくりのための団体活動の活性化が目的　8/28～31　国立女性教育会館（埼玉県）

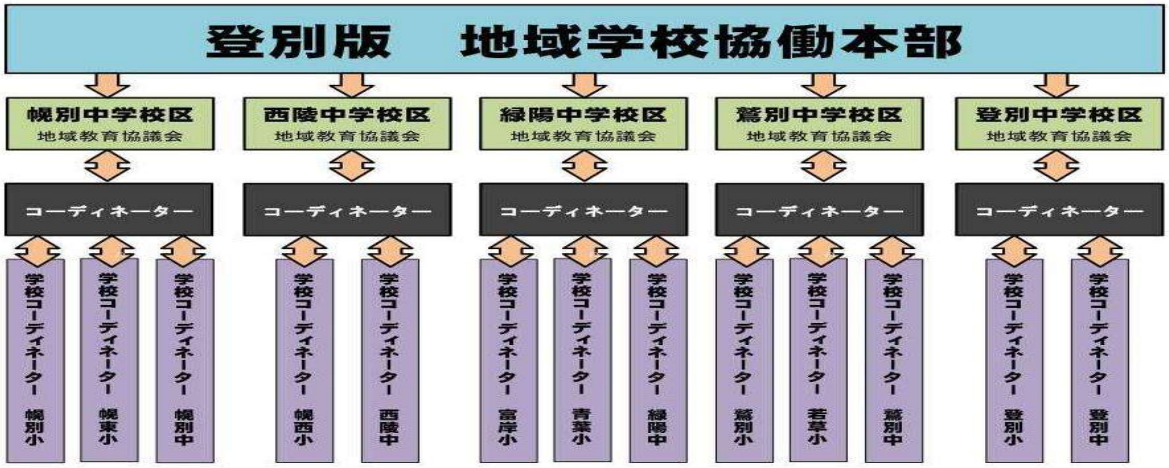
（◇「家庭教育」→P48を参照　「文化活動」「健康づくり・スポーツ」→P53を参照）

・「学習環境の整備」　生涯学習人材バンク　登録者84名（平成30年度83名）82団体（平成30年度81団体）
新規登録1名～料理

○「学校支援地域本部」から「地域学校協働本部」への発展について

・これまで「学校支援地域本部」として推進してきた体制を基盤とし、令和元年度より「地域学校協働本部」へと移行した。

・令和元年度から３年間を目途に「学校コーディネーター」を各学校に１名配置することを目指し、段階的に体制整備を進める。



評　価	市民一人ひとりが生きがいを持って自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、人づくりという観点から各世代に応じた事業を展開することができた。しかし、長年実施している事業については、市民のニーズの把握に努め、事業の実施方法などを検討する必要がある。 また、「学校支援地域本部」を「地域学校協働本部」へ改組し、５つの中学校区に配置されているコーディネーターを中心に、学校コーディネーターの配置など体制の強化に努めた。
今後の方向性	「第五次社会教育中期計画」に基づき、市民一人一人が、健康で安心できる生活の中で、生きがいを持って自分らしさを追い求めることができる生涯学習社会の実現に向け、各種施策の推進に努めていく。

項　目	14　ふるさと教育
点検内容	登別の歴史や文化、自然などを活用し、全ての市民が郷土への関心と愛着を深めながら心豊かに暮らすことができるよう、学びの機会の充実を図る。 また、アイヌ文化に関しては、登別アイヌ協会を中心に市内関係団体の連携強化が図られるよう努めるとともに、刺しゅうなどの文化講座や各種講演会などの活動を通して、伝承と普及に努める。

取組状況

○郷土の歴史や文化に関する各種講座開催の奨励

○アイヌ文化の伝承や普及・啓発～登別アイヌ協会や関係ＮＰＯ法人等の取組支援

アイヌ文化講座（制作）の講師を登別アイヌ協会に依頼したほか、知里真志保を語る会及びＮＰＯ法人知里森舎主催事業の周知等で支援を行った。

(公財)北海道アイヌ協会主催事業に係る経費の一部を補助した。

アイヌ政策推進交付金を活用して、市内の公共施設５施設にアイヌ民族の伝統的な刺しゅうや切伏を施したタペストリーを展示したほか、市公式ウェブサイトにアイヌ文化を紹介するサイトを開設した。また郷土資料館のアイヌ文化関連資料の保存処理や、登別小学校にある知里真志保の碑の看板を設置した。

◇縄文出前講座　4月　市内小学校5校で実施（6年生11クラス 293名参加）

◇古文書教室　2/9・16　古文書解読の実践2回(実践1回・見学1回中止)。延べ35名参加

◇アイヌ文化講座（制作）8/2～10/11　登別アイヌ協会の会員を講師にアイヌ文様の刺しゅうを施したミニトートバッグ制作　全10回　15名参加

（講演）12/22 北海道大学大学院教授 小内　透 氏より「現代アイヌの生活と地域」と題して講演いただき、市民にアイヌ文化を学ぶ機会を提供した。参加者31名

◇歴史交流事業　2/1　姉妹都市白石市の文化財担当職員~~が~~による歴史交流講演会を行った。
「開湯1428年　鎌先温泉の歴史」50名参加

◇郷土資料館特別展　10/1～12/26「公文書にのこる地域の歴史」　見学者555名
3/14～4/12「はじめまして！ー令和元年度新資料ー」を実施する予定でいたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により休館したことから中止

◇郷土資料館企画展　4～5月「五月武者人形展」5～6月「さくら写真展」2～3月「おひなさま人形展」
（期間中、休館となり中止となる）

◇体験学習事業

・郷土資料館事業　5/19 わんぱくサムライ体験265名

・文化伝承館事業　通年　ボランティアSLGによるべこもちづくりなどの体験　17回　230名参加

・のぼりべつ文化交流館　5～10月の間に8事業を実施　248名参加

◇各種講演等

4/4　「登別市の歴史」（平成31年度登別市新規採用職員研修）

1/18　「福祉で見てみる登別の歴史」（令和２年登別市社会福祉協議会・登別市民生委員児童委員協議会合同研修会）

◇登別市指定文化財の指定　１件　幌別村役場文書

評　価	登別市アイヌ施策推進地域計画に基づき、公共施設へのアイヌ文様タペストリーの設置やウェブの作成など新たな事業を実施し、市民のアイヌ文化への理解が深まるよう取組を進めた。また、新たな市指定文化財の指定とあわせ、郷土資料館で特別展を開催したほか、姉妹都市の宮城県白石市との歴史交流事業をはじめとする学習会などを通じて、ふるさと教育の基となる文化財の保存、普及・活用の取組を進めた。

今後の方向性	ふるさと教育については、郷土に誇りと愛着を持ち、積極的に地域社会と関わる人材の育成を図るため、関係機関や団体と連携し、郷土の歴史や文化を学ぶ機会の充実に努める。 また、アイヌの歴史や文化に触れ、理解が一層深まるよう、市内公共施設にアイヌ文様のタペストリーを展示するとともに、郷土資料館の展示をリニューアルするなど、アイヌ文化に対する興味・関心が高まるよう努めていく。

項　目	**15　家庭教育**
点検内容	家庭教育学級を通して情報提供や学習機会の充実に努めるとともに、登別市ＰＴＡ連合会や登別市校長会と連携を図りながら、家庭におけるメディアとの関わり方や有効な時間の過ごし方などについて啓発する。

取組状況

○家庭教育学級で取り組まれている実技講習会や講演会の支援　参加者1,439名

リリー文化幼稚園	10/1親子果物狩り　1/10ヤマハミニコンサート 2/3ツボ押しリンパ流し、すっきり小顔講習会
登別カトリック聖心幼稚園	8/23ヨガ　9/13アクセサリー作り　10/30ハーバリウム作り
白雪幼稚園	6/27ふれあいまつり　10/31ハロウィンパーティー　12/10おもちつき
白菊幼稚園	5/30アウトドア（ジンギスカン）　7/10ミニバレー　10/16子ども達の安全の食事について　11/25ピアスを作ろう！！　12/18「親子で作って楽しく食べよう！」～野菜を楽しくいただきます～
登別小学校	11/9携帯・スマホの安全な使い方などを含めた情報モラルに関する研修
幌別東小学校	12/5栄養満点！簡単手作りおやつ、給食試食会　2/15親子でそば打ち体験
幌別小学校	5/21アクセサリー作製、給食試食会　7/23簡単な「耳つぼ療法」について、体験し学ぼう　9/4バス研修旅行（苫小牧～支笏湖～白老）　10/16「簡単なパーティー料理について学ぶ」　3/4誰でも簡単にできるピアス作成、給食試食会（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
幌別西小学校	5/22学習会計画　8/21キウシト湿原でヒンメリ作り　12/11ヨガ教室
青葉小学校	7/19アイシングクッキー作り　9/5バス研修旅行（キリンビール千歳工場）
富岸小学校	9/11足育講座
若草小学校	7/8スポーツ交流会スポンジテニス　10/16バス研修（千歳市防災学習交流センター見学）　2/13ジェルキャンドル教室
鷲別小学校	12/20　アクセサリー作り　3/9ハンドエステ講座（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
市教委主催	8/4家庭でできる現代っ子の体づくり 講師：ＮＰＯ法人おにスポ　理事長　磯田　大治氏、橋本　光氏 12/12親子で考えよう！冬休みの過ごし方 講師:北海道教育庁胆振教育局教育支援課　永堀　善之　氏

・家庭教育活動展　各学級施設　２学級

○「通学合宿」　みんなで学ぶ「子ども村」　場所：ネイチャーセンター「ふぉれすと鉱山」
目的～基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせるとともに、協調性や責任感を育む。

対象～小学5・6年生対象　2地区に分け、4泊5日、年3回実施（平日は施設から登校）計117名参加
運営～地域ボランティアの協力や北海道の学校サポーター派遣事業を活用して実施。
幌別小・幌別西小・幌別東小・登別小グループ 5/14～18 35名参加
青葉小・富岸小・若草小・鷲別小グループ 5/21～25 41名参加
全校 11/12～16 41名参加　※11/15・16は暴風雨のため中止

○「放課後子ども教室」～放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすことができる活動拠点づくり
活動日時～平日2日間、4～9月午後5時まで　10～3月午後4時まで
運営～コーディネーターや教育活動サポーターなど地域の方々による実行委員会が主体。
鷲別地区放課後子ども教室「ひなわしメート」 計85日間実施　計2,837名
幌別東小学校区放課後子ども教室「はまなすメート」 計82日間実施　計1,746名

○「地域学校協働本部事業」　参加者数 計6,989名（大人・児童・生徒とも）

【鷲別中学校区】

鷲別小学校	事業内容
4/5	五月人形飾り（26日片づけ）
4月中旬	新1年生の付添登下校
5～3月	鷲別子ども見守り隊による登下校の見守り 放課後子ども学習塾　5・6年
7/11	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
11/3	ふれあい活動（餅つき　消防署見学）
2/10	5・6年スキー授業の指導、補助
7月下旬	夏季学習サポート（国語・算数）　2回
12月下旬	冬季学習サポート（国語・算数）　2回
2/3	ひな人形飾り（3月片づけ）
若草小学校	事業内容
5～9月	ふれあい農園（いも植付け・いも掘り・収穫祭）
7/12	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
2/14	5・6年スキー授業の指導、補助
6～2月	放課後子ども学習塾（算数）4～6年　11回
鷲別中学校	事業内容
4月中旬(2回) 9月中旬(3回)	夜間パトロール（新学期・学校祭前下校生徒のため）

【緑陽中学校区】

富岸小学校	事業内容
5/27・8/31	ジャガイモの植え付け・収穫
6/27	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
7月下旬	5・6年学習サポート（国語・算数）　2回
12月下旬	5・6年学習サポート（国語・算数）　2回
2/13・20	5・6年スキー授業の指導、補助
4～3月	放課後サポート　5・6年　10回
青葉小学校他	事業内容
9/4	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
9/28	茶道教室（青嶺高茶道部による指導）
2/1	餅つき会（ＰＴＡ、親父の会、地域の協力による）

2/2	青葉冬祭り（3本綱引き大会）
5月から	放課後サポート　5・6年　12回

【幌別中学校区（幌別小・幌別東小・幌別中）】

実施時期	事業内容
5月	ふれあい農園　米作り準備
5/25	ふれあい農園　田植え
6月～9月	ふれあい農園　管理
10/6	ふれあい農園　稲刈り・脱穀
12/21	ふれあい農園　収穫祭
6/28・7/3	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）（幌別東小・幌別小）
9/24	ふれあい広場　乗馬・餌やり体験
2/19	5・6年スキー授業の指導、補助（幌別東小）
5～3月	放課後学習塾（幌別小:10回・幌別東小:8回）
週3回	図書ボランティア～図書の整理修理等（幌別東小）

【西陵中学校区（幌別西小・西陵中）】

実施時期	事業内容
6～2月	放課後学習サポート　幌別西小4～6年　14回
7/18	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）
11/9	親子ふれあいスポーツ大会
2/26	5・6年スキー授業の指導、補助

【登別中学校区（登別小・登別中）】

実施時期	事業内容
4～3月	放課後学習　5・6年
5～7月	ふるさと農園準備・花壇整備
8/24	ふるさと農園収穫祭
5/11・10/5	サケの放流・採卵体験
10/26	モザイクアート教室（小物入れ等作成）
1～2月	スキー授業の指導、補助　5回
2/3	世代間交流（昔の遊び・給食で交流）

評　価	家庭教育学級では、さまざまな取組を通して、家庭の教育力の向上を図ることができた。一方で、保護者のライフスタイルが多様化する中、参加者の固定化が生じていることなどから、事業の見直しが必要である。家族の時間づくりプロジェクトの後継事業である「家族の週間」において、協賛団体を利用する児童生徒の割合は前年度とほぼ同様となり、一定程度の成果が継続しているものと思われる。通学合宿や放課後子ども教室、地域学校協働本部事業においては、地域ボランティアの協力のおかげもあり、子どもたちに豊かな学びの場を提供することができた。
今後の方向性	家庭教育については、「家庭教育学級」を開設し、保護者を対象とした子育てに関する情報提供や活動支援の充実に努める。 また、家庭や地域の協力を得て実施している「通学合宿」や「放課後子ども教室」、「家族の週間」などの事業については、子供たちが集団の中で基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けるとともに、地域社会の中でのびのびと健やかに成長するように取り組んでいく。

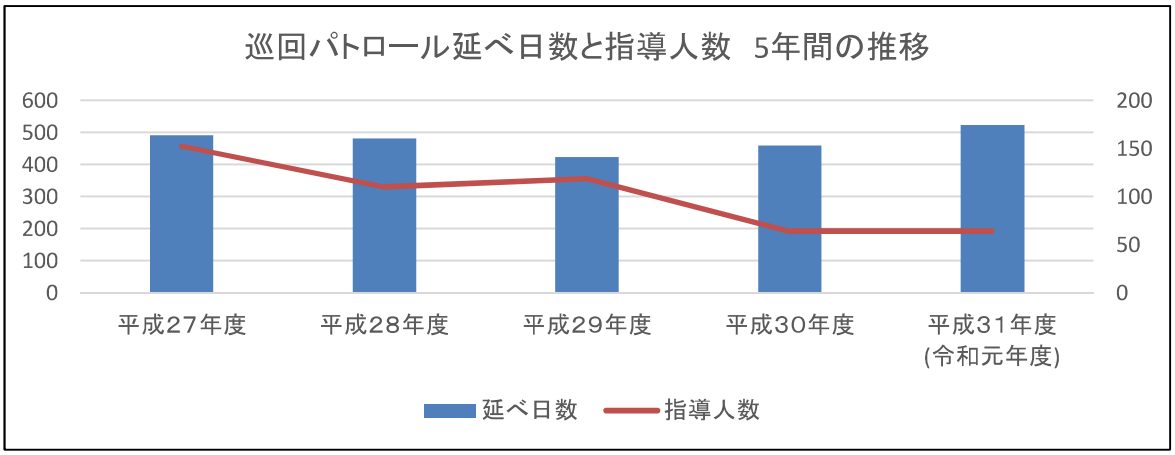
項　目	16　青少年の健全育成
点検内容	学校・家庭・地域の連携のもと、登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導に取り組むとともに、学校や関係機関と情報を共有し、良好な環境づくりに努める。 メール配信システムは、各学校において加入率が高まっている。全小中学校の導入に向けて支援していく。

取組状況

○登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導

・市内巡回パトロール（通常・特別）実施状況

	通常巡回		特別巡回	合　計
	鷲別・緑陽　中校区	登別・幌別・西陵・明日　中校区	（列車添乗・祭典その他）	
延べ日数	212日	215日	98日	525日
延べ巡回数	385回	432回	138回	955回
延べ人員	582人	638人	184人	1,559人
指導人数	39人	57人	13人	109人



※指導の内訳（その他にはゲームコーナーを含む）　　（単位：件数）

	自転車等			危険な行為			その他			合　計		
	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1	H29	H30	R1
13歳未満	21	9	27	71	33	46	0	8	4	92	50	77
13歳	4	1	0	3	0	5	0	0	0	7	1	5
14歳	7	5	0	0	0	1	4	0	0	11	5	1
15歳	0	0	0	0	0	7	0	2	0	0	2	7
16歳	0	2	3	0	0	3	0	0	0	0	2	6
17歳	5	2	2	0	0	2	0	0	0	5	2	4
18歳	0	2	0	4	0	0	0	0	0	4	2	0
19歳	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9
合計	37	21	32	78	33	73	4	10	4	119	64	109

指導内容と推移(前年度比)

「自転車等」急な飛び出し11件(＋9件)　車道逆走9件(＋6件)　二人乗り6件(＋6件)　　他

「危険な行為」危険な道路横断24件(＋14件)　スケートボード13件(＋6件)

遊泳禁止区域水遊び12件(＋12件)　道路遊び9件(＋5件)　他

・万引き状況　(調査を依頼し報告を受けたもの)　　(単位：件数)

	小学生	中学生	高校生	小中高以外	合計
28年度	10	0	0	6	16
29年度	10	0	0	9	19
30年度	1	6	1	4	12
元年度	3	1	0	10	14

※市内大型店3店舗、市内コンビニ20店舗、その他25店舗、計48店舗の協力による。

・不審者・変質者出没状況　　(単位：件数)

	温泉地区	登別地区	幌別地区	鷲別地区	その他	合計
28年度	0	0	14	16	0	30
29年度	0	0	4	8	0	12
30年度	0	1	2	8	0	11
元年度	0	0	9	5	0	14

○子ども110番の家　地域住民・商店の協力による子どもの駆け込み場所　420件設置
内訳：鷲中校区97件 緑中校区105件 幌中校区118件 西中校区43件
登中校区57件

○情報の共有

・登別市青少年指導委員連絡会～学校教員と一般の指導員による交流、状況や指導の重点を確認。

・登別市小学校・中学校合同生徒指導担当者連絡会議～小学校・中学校他代表教諭による現状や課題などについての情報交流、協議、問題行動の早期発見や未然防止を図る。

・不審者出没状況調書、巡回パトロール活動及び街頭指導等状況調書による情報発信。

・メール配信システム
室蘭市や伊達市など、西胆振6市町の定住自立圏連携事業が進める、保護者向けのもの。
学校から保護者に災害･不審者情報、臨時休業のお知らせ等をいち早く確実に伝える。
参加校～小学校7校、中学校5校。他、小学校1校は他のシステムを利用。

評　価	巡回パトロールでは、突発的な事案発生に伴う特別巡回の実施など、状況に応じた対応を執ることができた。不審者の出没状況は漸増傾向だが、防犯意識の高まりによる通報と思しき案件もある。
今後の方向性	青少年の健全育成については、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域・関係機関との連携・協力のもと、登下校時の見守り活動や街頭指導、巡回指導、「こども一一〇番スタディちゃんの家」の取組など、多くの目で子供を見守る環境の整備に努めていく。

項　目	**17　文化・スポーツの振興**
点検内容	登別市文化・スポーツ振興財団や登別市文化協会、登別市体育協会と連携し、市民の文化活動への参加促進や芸術を鑑賞する機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ大会などの活動の充実に努める。 また、東京 2020 オリパラで夢を育むスポーツ推進事業は、平成 31 年度、登別市水泳協会、JSS 登別スイミングスクールの協力のもと水泳競技のオリンピアンを招き、講演会や実技講習会を開催する。

取組状況

○西いぶり定住自立圏文化事業

公演「劇団四季ミュージカル　ＥＶＩＴＡ」　10/10　819名　主管：伊達市

○学校での郷土芸能の伝承

鷲別小学校～鷲別子ども獅子舞　神社の祭典で披露

幌別東小学校～駒踊り　学校行事や市民演芸会で披露

登別中学校～熊舞　地獄まつり（外国人観光客向けの解説あり）

熊舞引継ぎ式（地域や保護者に公開）で披露

○市民へ文化活動の発表の場を提供

・市民会館サークル展　11/26～29　市民会館を中心に活動しているサークルの活動紹介と作品展示

12団体出展

○東京オリンピック・パラリンピック開催に向けてのスポーツの振興

オリンピック選手などによる講演会や実技指導等

講師：リオデジャネイロ五輪競泳日本代表　瀬戸大也　氏　9/29 トークショー、実技指導

○一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団が実施する文化・スポーツ事業への補助

・文化振興事業

（１）主催事業

初心者英会話教室　1回目	6/3･6･10･13･17･20　6名	一般の方を対象に市民会館にて実施
2回目	11/7･14･18･25･28･12/2　8名	
ハーブ教室	7/24・9/18　32名	一般の方を対象に2日日程で市民会館にて実施
筆ペン習字教室	6/26・7/3･10･17･31･8/7　8名	一般の方を対象に6日日程で市民会館にて実施
ビーズアクセサリー教室	9/24　4名	一般の方を対象に市民会館にて実施
燻製作り体験	10/25　22名	一般の方を対象に市民会館にて実施
スイーツデコ教室	8/4　8名	小学生を対象に市民会館にて実施
楽しい工作教室	8/3　8名	小学生を対象に日本工学院にて実施
陶芸教室	7/1･22　11名	一般の方を対象に市民会館にて実施
美味しいコーヒーの淹れ方教室	11/27　25名	一般の方を対象に市民会館にて実施
絵手紙教室	6/20・27　4名	一般の方を対象に市民会館にて実施
道新ジュニアクラシック「登別市小・中学生のための札響コンサート」	6/13　621名	令和元年度については鷲小・若草小・鷲別中・明日中等教育学校の児童及び生徒を対象に市民会館にて札響コンサートを開催
八神純子　君の街へ	11/17　584名	一般の方を対象に市民会館にて実施
春風亭一之輔独演会	中止（3/10）	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止

（２）共催事業

市民文化祭	8/24～11/29	各地区において実施
文化講演会（白井一幸講演会）	11/24　300名	市民会館にて、白井一幸さんの講演会を実施
小中学生書初展	2/7･8･9　421名	市民会館にて小・中学生の書き初めの展示

・スポーツ振興事業

初心者レディースゴルフ教室	6/26～7/17　9名	シーサイドゴルフセンターにて一般の方を対象に実施
温泉散策ウォーキング	5/25・10/12　79名	登別温泉にて一般の方を対象に実施
ジュニアソフトテニス教室	7/30～8/15　3名	岡志別の森運動公園にて小学生以上を対象に実施
ファミリーフィッシング	中止	悪天候により中止
初心者卓球教室	11/6～28　3名	総合体育館にて一般の方を対象に実施
初心者スノーボード教室	2/1･8･15　2名	サンライバスキー場にて小学生以上を対象に実施
キッズHIPHOP教室	1/9･16　13名	市民プールにて幼児を対象に実施
ダンスレッスン派遣事業	8/27・9/2･2/25　411名	令和元年度は西陵中・登別中・鷲別中に派遣
スポーツテーピング講習会	1/10　8名	市民プールにて中学生以上を対象に実施
北海道コンサドーレサッカー教室	7/21　111名	川上公園にて小学生を対象に実施
軽スポーツ指導者派遣事業	なし	令和元年度は派遣依頼なし
市民ソフトボール大会（夏）	中止（6/16）	悪天候により中止
市民ソフトボール大会（秋）	9/22　72名	岡志別の森運動公園にて一般の方を対象に開催
市民ボウリング大会（シニア夏）	8/29　15名	室蘭グランドボウルにて一般の方を対象に開催
市民ボウリング大会（シニア秋）	10/30　24名	室蘭グランドボウルにて一般の方を対象に開催

（２）共催事業

市民ミニバレー大会	12/1　89名	総合体育館において一般の方を対象に開催

○健康づくり、スポーツ振興

市民ラジオ体操会	7/27　172名	スポーツ推進委員を中心に、幌別東小・富岸小で実施
西胆振6市町小学生スポーツ交流会	5/25　395名	西胆振3市3町の小学生を対象としたスポーツ大会（陸上競技） 会場：室蘭市入江運動公園陸上競技場
市民スポーツ・健康フェスティバル	9/22　624名	市内体育施設を会場とした市民スポーツ大会 岡志別の森運動公園：パークゴルフ･ソフトボール･駅伝・ドッジボール・ノルディックウォーキングに187名参加 市民プール：パン食い競争・水中玉入れ競争・水中障害物競争・水中宝探しゲーム・個人水泳タイム計測・トレーニングマシン体験・ボッチャ・ゲーリング体験に437名参加
学校体育施設開放事業	通年	10施設(小8校、登中、旧温泉中体育館)を開放 延べ開放日数1,059日　延べ利用団体1,431団体 延べ利用人数20,233名
2019北海道コンサドーレ札幌サッカー教室in登別	7/21　95名	北海道コンサドーレ札幌の選手及びコーチが教える市内小学生を対象としたサッカー教室 会場：川上公園多目的広場 選手：宮澤　裕樹（背番号10）・チャナティップ（背番号18）・中野　嘉大（背番号23）

「トヨタ車体クインシーズ」バレーボール合宿受入	8/18～8/23	Ｖリーグ所属の女子バレーボールチーム 「トヨタ車体クインシーズ」強化合宿 ・中学生バレーボール教室 会　場：西陵中学校体育館　　参加者：42名 （西陵・緑陽・幌別・明日中のバレーボール部） ・チーム対抗公開紅白試合 会　場：日本工学院北海道専門学校体育館 観覧者：309名
中田　崇志さん講演会	9/19	全盲ランナーの伴走者として、パラリンピック出場経験のある中田　崇志さんの講演会 演　題：全盲ランナーと共に走り、共に戦う 会　場：市民会館２階視聴覚室　参加者：40名

評　価	年度末には、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止を余儀なくされた事業もあったが、各種事業を通じて、市民一人ひとりの豊かな感性や創造性を育み、心豊かな生活を送ることができるとともに、生きがいを感じることができるような文化活動を進めることができた。 また、４年目となる東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた講演会・実技指導で、競泳日本代表　瀬戸大也氏を迎えたほか、コンサドーレ札幌市町村サッカー教室やトヨタ車体クインシーズ強化合宿に伴う中学生バレーボール教室などを通じて、一流選手を身近に感じてもらい、子どもたちの夢と希望を育む貴重な機会となった。
今後の方向性	文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や関係団体と連携して、市民の文化活動への参加や芸術の鑑賞機会の提供、各種スポーツ教室・大会の開催などの取組を推進するとともに、本市の歴史や文化が継承されるよう、市民意識の醸成に努めていく。 令和二年度は、三市三町で実施する西いぶり定住自立圏文化事業において、日本の伝統文化に触れるため、「上方落語」の公演を本市で開催する。 また、令和二年は東京オリンピック・パラリンピックの開催年であるため、障がい者スポーツへの理解が深まるよう、パラリンピックの車いすテニスの元日本代表選手や陸上競技の伴走者を招き、市民や児童・生徒を対象とした講演会や実技講習会を開催する。

項　目	**18　学校給食**
点検内容	近年の食材の高騰により給食の栄養基準の確保が困難になるので、平成 31 年 4 月より給食費を改定する。今後も、安全で安心な給食の提供と衛生管理の徹底に努める。

取組状況

○地元の食材を積極的に取り入れた献立づくり（使用回数９０回　使用率４７．３６％）

毎日提供している「のぼりべつ牛乳」や富浦産だし昆布、鮭のダイスカット、のぼりべつ豚等、地場産品の積極的な活用。年１回開催する学校給食展での地場産品を活用した給食メニューの提供。地場産品の使用内容を献立表やランチメール等に記載し各学校や保護者に配布したほか、野菜等についても、入札規格等において近隣市町村産品または道産品を指定し広域な地産地消の取組も実施。

○発達期にある児童生徒に豊かでおいしい給食の提供

文部科学省の学校給食摂取基準等に基づき、学校栄養教諭が献立を作成するなど、児童・生徒の栄養価やエネルギーなどバランスの摂れた給食を提供。児童生徒の体力不足を補い丈夫な体をつくるため、学校教育Gと連携して各小学校に栄養教諭を派遣し、食育授業を年12回実施。

○「和食」を伝えるための給食の実施

月	和食の献立名
4月	さつま汁
5月	ひっつみ汁
6月	きりたんぽ汁
7月	ピリ辛味噌汁
8月	みそけんちん汁
9月	豚汁

月	和食の献立名
10月	さつま汁
11月	大根となめこの味噌汁
12月	せんべい汁
1月	雑煮
2月	飛鳥鍋
3月	―

○第10回登別市学校給食展

目的　　学校給食の意義・役割等について、市民の理解と関心を高め、学校給食のより一層の充実、発展を図ることを目的とする。

期間・場所　令和元年10月4日(金)　登別市民会館大会議室

内容　①試食会　　・地場産品を活用した学校給食メニューを提供

②食育相談所　　・栄養教諭による食育相談

③食品業者紹介コーナー・安全・安心な食品を届けてくれる給食物資納品業者による各種展示

④給食展スタンプラリー

提供内容　地場産品の「登別鮭」を使用した「登別鮭の石狩汁」

○食におけるアレルギー対応

①情報の共有

・学校や関係機関（医療関係や消防機関等）と、給食センターのアレルギー対応や各学校におけるアレルギーを有する児童生徒の状況、緊急時の対応、その他研修内容等を交流し連携を図った。

・学校や保護者から連絡等があった場合は、一層きめ細やかな対応等に努めた。

②実際の対応～学校から提出される「給食申込書」により対応。

牛乳アレルギー：小学校24名→緑茶に変更　　中学校（明日中等含む）16名→緑茶に変更

③給食センターからの情報発信

各学校に対し食物アレルギーの児童・生徒用（学校等配布）　予定献立表（小中学校・児童生徒へ配布）

予定献立（主な材料名：小中学校へ配布）、使用品目のアレルゲン表示一覧表（小中学校へ配布）

ランチメール（小中学校へ配布）

評　価	献立に地元食材及び近隣や道産品を活用し周知を図ることにより、児童・生徒が地域の食に対する関心を高め、郷土愛を育むことに貢献することができた。 また、各小学校に栄養教諭を派遣して実施する食育授業が定着し、栄養学的視点からの授業に偏ることなく、児童・生徒の健康維持・増進及び体位の向上に寄与することができた。
今後の方向性	郷土を実感できる食材を取り入れた献立づくりや栄養教諭による食育指導を通して、食に対する関心を高めるとともに、衛生管理の徹底を図るなど、安心・安全な給食の提供に努める。 また、給食管理システムを導入し、効率的な給食事業の運営に努める。

項　目	19　図書館
点検内容	平成30年3月策定の「登別市立図書館のめざすもの」に基づき、郷土資料や行政資料の収集・整理に取り組み、登別に関する資料の充実に努める。また郷土資料のデジタル化について調査・研究を行い実施に向けて取り組む。さらに、アイヌ関連の資料の収集と展示に努める。

取組状況

○令和元年度

図書館での貸出冊数 166,503 冊　移動図書館車での貸出冊数 18,497 冊　購入冊数 5,759 冊

○図書ボランティアとの連携・協働。

おはなし会（10 回）、わらべうたと手遊び（2 回）、本の書評合戦「ビブリオバトルの夕べ」(6 回)
おはなしぽけっと主催「はじめての油絵」講座（全 2 回、12/26･1/18）、おはなしぽけっとの工作(5/2)
おはなしポケットのクリスマス（12/15）、「学校図書担当者･学校図書ボランティア連絡協議会」(6/28)、
図書館サポーター主催事業「プログラミング教室」（全 5 回）

○市民との協働事業

郷土文化講座「たたら製鐵講座」講師：室蘭・登別たたらの会(2/22)、「アイヌ講座」講師：富樫利一氏(4/20)、「国連世界食糧デー特別展」(10/23～11/3

○ブックスタート・ライブラリースタート事業や図書館講座などを通して、利用者の増加を図る。

・ブックスタート（４か月児を対象に、絵本３冊とアドバイス集などを配布。実施数 236 人）
・ライブラリースタート（３歳児と保護者を対象に図書館で本１冊を選び送付。実施 95 人）

○図書館講座「初めてのデータベース：データベースを使って調べものをする。」(11/16)

○主なイベント等の事業　（◇は「ふるさと学習」と関連）

4/20	◇ アイヌ講座「近代化の中の金成太郎」講師：富樫利一氏
4/18-5/18	「絵本作家 松田奈那子　作品展とワークショップ」
6/15	図書館市民活動サポーター　発足の集い
6/28	「学校図書担当者･学校図書ボランティア連絡会議」
	講義と演習「ビブリオバトルの実際」講師：須藤秀紹氏（共催：北海道教育委員会）
7/20～	図書館サポーター主催事業「プログラミング教室」（全５回）
7/12-28	北海道みんなの日記念展示「小説のなかの北海道展」
7/27	「夏休み工作」
8/1-25	「図書を使った調べる学習コンクール入選作品展」
9/1～14	「年長児の読書感想画展」対象：市内幼稚園と保育所の年長児　応募 246 作品
9/18-10/5	「自殺を予防するための展示」共催：健康推進グループ
10/26	工作「おりがみで作ろう！ハロウィンピック」（主催：アーニス分館）
11/3	◇郷土史講座「初めてふれるアイヌ語教室」アイヌ民族文化財団アドバイザー派遣事業
11/11	「初めてのデータベース データベースを使って調べものをしましょう」
11/16	「室工大サイエンススクール in 登別　チャレンジ『ビブリオバトル』」
	（共催：北海道教育委員会、室蘭工業大学）
12/14	「クリスマス工作」
12/15	おはなしぽけっとのクリスマス
12/21	小･中学生の読書感想文･読書感想画コンクール入賞者表彰式

読書感想文応募：小学校 585 名･中学校 94 名　入選：小学校 35 名･中学校 14 名
読書感想画応募：小学校　322 名 入選：小学校 26 名

12/26･1/18 「はじめての油絵」（全２回）講師：おはなしぽけっと高木三千子氏

2/9 ブックスタート講座「赤ちゃんに絵本を開いたら」講師：桐生通子氏

2/22 ◇地域文化講座『たたら製鉄講座』　講師：石崎勝男氏（室蘭・登別たたらの会）

○新規事業

・北海道教育委員会「チャレンジ！ビブリオバトル」モデル市指定事業(6 月、11 月)
・アイヌ政策推進交付金事業「アイヌ文献収集事業」(9 月)
・「図書館市民活動サポーター」発足（6 月）
・図書館３階防火壁設置(7 月)
・西いぶり広域図書館情報システム更新(1 月)、PC 機器更新(1 月)、利用者カード 10 桁化更新(1 月)
・国立がん研究センター『がん情報ギフト』事業(9 月)

評　価	図書資料などの整備については、施設の狭隘による資料の飽和という課題について、片倉町の教職員住宅を書庫として活用することで、解消に努めた。また３階防火壁設置に伴い、防音など閲覧席における利用者の読書環境の改善が図られた。 アイヌ資料の充実については、アイヌ政策推進交付金を活用した「アイヌ文献収集事業」として、登別市関連を中心に古書を含めた資料収集を行った。 市民が主体的に図書館活動に関わることのできる体制づくりについては、６月に「図書館市民活動サポーター」を立ち上げ、図書館事業などへ協力・参画をしていただいた。 今年度はこのほかに、西いぶり広域図書館のシステム更新事業や、北海道教育委員会の「チャレンジビブリオバトル事業」のモデル市指定を受け、その関連事業を実施した。
今後の方向性	ボランティアとの協働による郷土資料の収集とデジタル化、郷土史関連講座の開催、アイヌに関する文献収集を進めるとともに、引き続きブックスタートやライブラリースタート、おはなし会、「ビブリオバトルの夕べ」を実施するなど、読書や文化に親しむ環境づくりを推進していく。

３ 重点施策の評定結果

	項　　目	点　検　内　容	評定
1	地域とともにある学校づくり	これまで本市においては、コミュニティ・スクールと学校支援地域本部事業を導入し地域の教育力を活用した学校づくりを進めてきた。こうした学校支援の取組を通して、学校・家庭・地域の連携はさまざまな形で展開され、地域づくりにも大きな成果を上げている。 今後は、さらにコーディネート機能の拡充などを図り、地域と学校が連携、協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働活動に発展するよう努める。	B
2	幼保・小・中連携 小中一貫教育	幼保・小・中連携については、引き続き相互参観や合同研修などを通してそれぞれの教育活動への理解を深めるとともに、子ども一人一人が安心して学校生活を始めることできるよう、幼保・小協働による小学校からのスタートカリキュラムの作成、修正を目指す。 また、小中一貫教育については、登別市小中一貫教育基本方針を踏まえ、系統的、継続的な指導が推進されるよう促していく。	A
3	確かな学力の向上	学力の向上については、全国学力・学習状況調査の結果から算数・数学などに課題が見られるので、引き続き教育課程課題検討委員会を中心に、学習指導の工夫・改善を図っていく。また、プログラミング教育では、登別市情報教育推進協議会や日本工学院北海道専門学校と連携し、各学校における具体的な取組が進められるよう支援していく。	B
4	英語教育	引き続き登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、ＡＬＴの活用を図りコミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進に努める。 また、小学校4年生全員に英検ジュニアを実施するとともに、英検三級を受験する中学生生徒に対し検定料の半額を補助し、児童・生徒の英語学習に対する意欲を支える。	A
5	教職員の指導力の向上	教育実践研究奨励校を指定し、各校の研究・研修活動を支援するとともに、幌別小学校と幌別西小学校が取り組む学校力向上に関する総合実践事業の成果が、市内各学校に還元されるよう促す。 また、登別市立学校における働き方改革基本方針に基づき、部活動指導に関わる負担の軽減や、勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実を促し、教職員が健康でやりがいを持って働くことができる環境整備に努める。	B
6	学校図書館	学校図書館司書や学校図書館担当者が中心となり、本を身近に感じる環境づくりと多様な本に触れる機会の充実に努め、読書習慣の定着と読書意欲の向上が図られるよう促す。	A
7	豊かな心の育成	登別温泉やキウシト湿原、ふぉれすと鉱山など地域資源を活用した体験活動や、道徳教育推進教師を中心とした「特別の教科　道徳」の時間の充実を促し、生命を大切にする心や思いやりの心、郷土を愛する心など、児童・生徒の豊かな情操を育む。	A
8	健康・体力づくり	全国体力・運動能力調査の結果に基づく一校一実践の取組を推奨するとともに、スポーツ指導員の派遣を通して運動に親しむ意識が高まるように努める。 また健康教育では、「早寝早起き朝ご飯」の啓発活動や、望ましい食習慣の形成を図る食育の指導、性教育や薬物乱用防止に関する指導などの充実を促す。	A

9	児童生徒の安全対策	児童・生徒の安全指導については、登別市通学路交通安全プログラムの進行管理により通学路の安全確保に努めるとともに、家庭や地域、関係機関と連携し、避難訓練や防犯教室、情報モラル教室、消費者教室などの取組を促す。 また、登別市総合防災訓練と道が主催する一日防災教室を鷲別小学校で実施する。	A
10	不登校・いじめ対策	引き続き教育指導専門員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員の配置による相談体制の充実と、適応指導教室での登校支援に努めるとともに、登別市不登校・いじめ等対策会議を活用し、問題の未然防止や、早期発見・早期対応に取り組む。	B
11	特別支援教育	各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に、個別の教育支援計画・指導計画に基づく適切な指導がなされるよう支援する。 また、登別市特別支援教育振興協議会が取り組む指導内容の研究や交流事業などの活動を支援する。	A
12	学校の適正配置	学校の適正配置については、登別市学校適正配置基本方針をもとに、これまでも学校運営協議会などで意見交換をしてきたが、保護者や地域との意見交換の機会を設け、今後の方向性を検討していく。	A
13	生涯学習社会の実現	さらに体制を強化するため、地域の実情に応じて、全小中学校にサブコーディネーターを段階的に配置していく。	B
14	ふるさと教育	登別の歴史や文化、自然などを活用し、全ての市民が郷土への関心と愛着を深めながら心豊かに暮らすことができるよう、学びの機会の充実を図る。 また、アイヌ文化に関しては、登別アイヌ協会を中心に市内関係団体の連携強化が図られるよう努めるとともに、刺しゅうなどの文化講座や各種講演会などの活動を通して伝承と普及に努める。	A
15	家庭教育	家庭教育学級を通して情報提供や学習機会の充実に努めるとともに、登別市ＰＴＡ連合会や登別市校長会と連携を図りながら、家庭におけるメディアとの関わり方や有効な時間の過ごし方などについて啓発する。	A
16	青少年の健全育成	学校・家庭・地域の連携のもと、登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導に取り組むとともに、学校や関係機関と情報を共有し、良好な環境づくりに努める。 メール配信システムは、各学校において加入率が高まっている。全小中学校の導入に向けて支援していく。	A
17	文化・スポーツの振興	登別市文化・スポーツ振興財団や登別市文化協会、登別市体育協会と連携し、市民の文化活動への参加促進や芸術を鑑賞する機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ大会などの活動の充実に努める。 また、東京2020オリパラで夢を育むスポーツ推進事業は、平成31年度、登別市水泳協会、JSS登別スイミングスクールの協力のもと水泳競技のオリンピアンを招き、講演会や実技講習会を開催する。	A
18	学校給食	近年の食材の高騰により給食の栄養基準の確保が困難になるので、平成31年4月より給食費を改定する。今後も、安全で安心な給食の提供と衛生管理の徹底に努める。	A
19	図書館	平成30年3月策定の「登別市立図書館のめざすもの」に基づき、郷土資料や行政資料の収集・整理に取り組み、登別に関する資料の充実に努める。また郷土資料のデジタル化について調査・研究を行い実施に向けて取り組む。さらに、アイヌ関連の資料の収集と展示に努める。	A

Ⅳ 点検・評価に関する学識経験者の意見等

1　地域とともにある学校づくり

○　コーディネーターの後継者育成、担い手探しは大変だと思うが、まずは、コーディネーターの役割や地域学校協働本部事業の目指す方向性を地域住民にしっかりと説明することが必要である。自分の地域で何ができるかを考える材料を提供することにより、地域住民は自らの役割を自覚することができる。市教委は、先進地の事例を参考にしたり、学校運営協議会との連携を図ったりしながら、本市独自の地域学校協働活動を支援してほしい。

4　英語教育

○　中学卒業までに英検３級程度の英語力を身に付けた生徒が５０％を超えることを目標にしているとのこと。合否判定のない小学４年生の英検ジュニア受験は、英語学習に対する意欲の向上につながるものである。中学生の英検３級受験者に対する半額補助とあわせて引き続き、支援をしていただきたい。

5　教職員の指導力の向上

○　教職員の時間外勤務が長時間に及んでいるとのことだが、教職員は時代の変化に対応すべく、一生懸命に働いている。外部や地域に依頼できるものは依頼するなど、多忙な教職員を支えていくことができるような支援を行っていただきたい。

○　学校の働き方改革により何が変わったのか、しっかりと検証することが必要である。児童生徒のために全力を尽くすことが自分の役割と自負している教職員の声を大いに聞いてほしい。働き方改革に関する保護者・地域の考えや思いを把握することも必要である。

6　学校図書館

○　貸出冊数・貸出人数の増加は、小学校への学校司書導入の効果によるものであり、小・中学生の読書意欲の向上に結びついている。

8　健康・体力づくり

○　体育コーディネーターの活用による体育授業及び体力向上の支援は、大変有意義である。子どもたちが群れて遊べる場を提供することは、学校にとっても地域にとっても相乗効果の高い支援となる。

１０　いじめ・不登校対策

○　不登校出現件数、いじめ認知件数の推移は大変わかりやすい。数字の増減を把握することに終始することなく、具体的で適切な働き掛けにより、きめ細やかな支援を行っていただきたい。

○　世の中にはいろんな人がいる。これから日本にも、いろんな国の人たちが入国してくる。多くの人と接し、多様性を認めることが、いじめをなくす大切な鍵となるのではないか。

１７　文化・スポーツの振興

○　スポーツで汗を流す市民が多くいることは大変好ましいことであるが、運動したいと思っている市民はもっと多くいると思う。小学校体育館の開放事業に加えて、今後さらに、中学校の開放などで場の提供をしていただければ、市民は喜ぶと思う。

１９　図書館

○　図書館での貸出冊数、移動図書館車（こぐま号）での貸出冊数などは増えていないが、図書館に行かなくても本を読める時代に、様々に工夫を凝らした取組や市民が求める話題や資料を提供することで、地域に根ざした魅力ある図書館づくりをしている。

Ⅴ 評価のまとめ

平成31（令和元）年度の登別市教育委員会の重点施策として、点検・評価で取り上げた19項目の評定結果は、

Ａ：達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４項目
Ｂ：おおむね達成しているもの・・・・・・・・・・・・・・・　５項目
Ｃ：おおむね達成しているものの一部課題があるもの・・・・　０項目
Ｄ：達成に向け困難な課題があるもの・・・・・・・・・・・・　０項目

であり、教育行政執行方針に沿っておおむね適切な教育行政の執行がなされたと考えております。今後も、この点検・評価の効果を高めるために、各種基本計画の内容を再確認するとともに、目標に向かってより多くの具体的な改善策が提示されるようにしなければならないと考えております。また、ＰＤＣＡ（計画・実行・確認・改善）のマネジメントサイクルを生かしたシステムづくりに心がけ、登別市の教育行政の推進に役立ててまいります。

Ⅵ 参 考 資 料

１　平成 31 年度教育行政執行方針

平成三十一年第一回登別市議会定例会にあたり、教育委員会所管の行政執行に関する基本方針を申し上げます。

現在我が国では、生産年齢人口の減少や急速な技術革新、グローバル化の進展などにより、社会構造や雇用環境、価値観等の変化が私たちの予測を超えて一層加速していく時代を迎えております。

こうした中、国は昨年、第三期教育振興基本計画を策定し、十数年先の社会の変化を見据えた教育政策に関する基本的な方針や、今後五年間の教育政策の目指すべき方向性を示しました。

教育委員会としましては、この計画を参酌しながら、本市教育の新たな指針となる登別市教育振興基本計画が、「登別の教育推進に関する検討会議」との協議を経て平成三十一年三月に策定となりますので、今後はこの計画に沿って、登別市の教育目標である「豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成」の実現を目指し、各種施策を総合的、計画的に推進してまいります。

以下、平成三十一年度の重点項目について申し上げます。

はじめに地域とともにある学校づくりについてであります。
これまで本市においては、コミュニティ・スクールと学校支援地域本部事業を導入し、地域の教育力を活用した学校づくりを進めてまいりました。こうした学校支援の取組を通して、学校・家庭・地域の連携はさまざまな形で展開され、地域づくりにも大きな成果をあげておりますので、今後はさらにコーディネート機能の拡充などを図り、地域と学校が連携、協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働活動に発展するよう努めてまいります。

次に学校教育についてであります。

幼保・小・中連携については、引き続き相互参観や合同研修などを通してそれぞれの教育活動への理解を深めるとともに、子ども一人一人が安心して学校生活を始めることができるよう、小学校からのスタートカリキュラムの作成に取り組んでまいります。
また、小中一貫教育については、登別市小中一貫教育基本方針を踏まえ、系統的、継続的な指導が推進されるよう促してまいります。
キャリア教育においては、市内の小中学校が登別青嶺高等学校や登別明日中等教育学校との連携を図り、社会的、職業的自立に向けて必要な能力や態度が育成されるよう支援してまいります。

学力の向上については、全国学力・学習状況調査の結果から算数・数学などに課題がみられますので、引き続き教育課程課題検討委員会を中心に、学習指導の工夫・改善を図ってまいります。
また、プログラミング教育では、登別市情報教育推進協議会や日本工学院北海道専門学校と連携し、各学校における具体的な取組が進められるよう支援してまいります。

英語教育については、引き続き登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づき、外国語指導助手の活用を図り、コミュニケーション能力の育成と国際理解教育の推進に努めてまいります。
また、小学校四年生全員に英検ジュニアを実施するとともに、英検三級を受験する中学校生徒に対し検定料の半額を補助し、児童・生徒の英語学習に対する意欲を支えてまいります。

教職員の指導力の向上については、教育実践研究奨励校を指定し、各校の研究・研修活動を支援するとともに、幌別小学校と幌別西小学校が取り組む学校力向上に関する総合実践事業の成果が、市内各学校に還元されるよう促してまいります。
また、登別市立学校における働き方改革基本方針に基づき、部活動指導に関わる負担の軽減や、勤務時間を意識した働き方の推進と学校運営体制の充実を促し、教職員が健康でやりがいを持って働くことができる環境整備に努めてまいります。

学校図書館については、学校図書館司書や学校図書館担当者が中心となり、本を身近に感じる環境づくりと多様な本に触れる機会の充実に努め、読書習慣の定着と読書意欲の向

上が図られるよう促してまいります。

豊かな心の育成については、登別温泉やキウシト湿原、ふぉれすと鉱山など地域資源を活用した体験活動や、道徳教育推進教師を中心とした「特別の教科　道徳」の時間の充実を促し、生命を大切にする心や思いやりの心、郷土を愛する心など、児童・生徒の豊かな情操を育んでまいります。

健康や体力づくりについては、全国体力・運動能力調査の結果に基づく一校一実践の取組を推奨するとともに、スポーツ指導員の派遣を通して運動に親しむ意識が高まるよう努めてまいります。
また健康教育では、「早寝早起き朝ごはん」の啓発活動や、望ましい食習慣の形成を図る食育の指導、性教育や薬物乱用防止に関する指導などの充実を促してまいります。

次に、児童・生徒の安全対策については、登別市通学路交通安全プログラムの進行管理により通学路の安全確保に努めるとともに、家庭や地域、関係機関と連携し、避難訓練や防犯教室、情報モラル教室、消費者教室などの取組を促してまいります。
また、登別市総合防災訓練と、北海道が主催する一日防災学校を鷲別小学校で実施いたします。

不登校・いじめ対策については、引き続き教育指導専門員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員の配置による相談体制の充実と、適応指導教室での登校支援に努めるとともに、登別市不登校・いじめ等対策会議を活用し、問題の未然防止や、早期発見・早期対応に取り組んでまいります。

特別支援教育については、各学校の特別支援教育コーディネーターを中心に個別の教育支援計画・指導計画に基づく適切な指導がなされるよう支援してまいります。
また、登別市特別支援教育振興協議会が取り組む指導内容の研究や交流事業などの活動を支援してまいります。

学校の適正配置については、登別市学校適正配置基本方針をもとに、これまでも学校運営協議会などで意見交換をしてまいりましたが、今年度は保護者や地域の皆さんとの意見交換の機会を設け、今後の方向性を検討してまいります。

次に、社会教育についてであります。

人生一〇〇年時代の到来が予測される中、今まで以上に、市民一人一人が学び続け、学んだことを活かして活躍することができる活力ある生涯学習社会の実現を目指して、第五次社会教育中期計画に沿った各種施策を推進してまいります。
また、郷土資料館、ふぉれすと鉱山、カント・レラ等の社会教育施設においては、指定管理者やボランティア団体との協働により、効果的な学習活動が提供されるよう努めてまいります。

ふるさと教育については、登別の歴史や文化、自然などを活用し、全ての市民が、郷土への関心と愛着を深めながら心豊かに暮らすことができるよう、学びの機会の充実を図っ

てまいります。
　また、アイヌ文化に関しては、登別アイヌ協会を中心に市内関係団体の連携強化が図られるよう努めるとともに、刺しゅうなどの文化講座や各種講演会などの活動を通して、伝承と普及に努めてまいります。

　家庭教育については、家庭が全ての教育の出発点であることを基本に、親子の育ちを支えていくことが重要ですので、引き続き家庭教育学級を開設し、啓発資料の提供や学習機会の充実に努めてまいります。
　また、市内小学生が集団生活を体験する通学合宿や、子どもたちの居場所づくりを進める放課後子ども教室は、子どもの望ましい生活習慣や、社会性、協調性を育む上で大きな成果をあげておりますので、引き続き地域ボランティア団体の協力を得て実施してまいります。

　青少年の健全育成については、学校・家庭・地域との連携のもと、登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導に取り組むとともに、学校や関係機関と情報を共有し、良好な環境づくりに努めてまいります。

　文化・スポーツの振興については、登別市文化・スポーツ振興財団や登別市文化協会、登別市体育協会等と連携し、市民の文化活動への参加促進や芸術を鑑賞する機会の提供、各種スポーツ教室やスポーツ大会などの活動の充実に努めてまいります。
　また、東京二〇二〇オリパラで夢を育むスポーツ推進事業は、平成三十一年度、登別市水泳協会の協力のもと水泳競技のオリンピアンを招き、講演会や実技講習会を開催してまいります。
　本事業は、オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されている本市にとっては、子どもたちがスポーツ活動への意欲を高めることはもとより、世界に目を向けるきっかけづくりや国際理解を深める機会になるととらえております。

　学校給食については、近年の食材の高騰により給食の栄養基準の確保が困難になりますので、平成三十一年四月より給食費を改定することといたします。
　今後とも、安全で安心な給食の提供と衛生管理の徹底に努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

　図書館については、図書館活動を支援するサポーター制度を設置し、市民が主体的に図書館活動に関わることのできる体制の構築と活躍できる場の創出に努めてまいります。
　また、郷土の歴史や文化に関する資料の収集と整理、保存に努め、市民が学ぶことのできる環境づくりに取り組んでまいります。

　以上、平成三十一年度の重点について申し上げましたが、教育委員会としましては、未来を拓く人材の育成は、本市が持続的な発展を遂げていくために極めて重要であるという認識のもと、総合教育会議を通して市長との連携を深めながら、教育行政の推進に努めてまいります。
　市民の皆さん並びに議会議員の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

教育に関する具体的な計画とその点検・評価の流れ

